This manual includes an English abridgement

# Vodafone 802SE

## 取扱説明書

## User guide



# はじめに

このたびは、「Vodafone 802SE」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 802SEをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.29-17）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

802SEは、W-CDMA方式とGSM方式に対応しております。

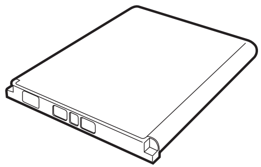
**ご注意**

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 基本機能に関して、一部日本では提供していないサービスがあります。
  Be related with basic functions, in part, there is service which is not offered in Japan.
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.29-17）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

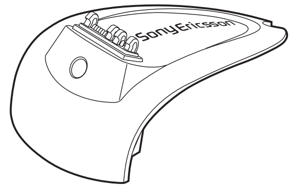
JA/LZT 108 7162 R1A

# お買い上げ品の確認

**電池パック**（SEBA01）

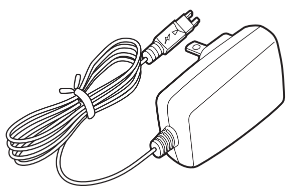


**卓上ホルダー**（SEEA01）

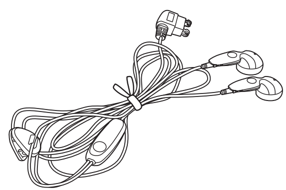



**USBケーブル**
**“メモリースティック Duo”（試供品）**
**メモリースティック Duo アダプタ**
**クリーニングパッド**
**CD-ROM**

**急速充電器**（SECA01）



**ステレオイヤホンマイク**（SELA01）



- 付属品やオプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.29-17）までご連絡ください。

# 目次



## 基本操作編

## 1 ご利用になる前に



## 2 基本的な操作のご案内

## 3 マナーモード



## 4 文字の入力方法



## 5 電話帳



## 6 TVコール

## 7 カメラ



## 8 ディスプレイの設定



## 9 音の設定



## 10 マルチメディア機能

## 11 “ メモリースティック Duo ”



## 12 データ管理



## 13 通信



## 14 セキュリティ



## 15 その他の機能

## 16 オプションサービス



# Vodafone live!編

## 17 Vodafone live!



## 18 メール受信



## 19 メール送信

## 20 メールボックス



## 21 メールサーバ



## 22 メールのその他設定



## 23 ウェブの基本操作

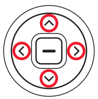
## 29 付録

# 本書の見かた

この「Vodafone 802SE 取扱説明書」の本文中においては「Vodafone 802SE」を「802SE」と表記しています。

## ■ ナビゲーションボタンについて

カーソルを移動するときや画面をスクロールするときは、ナビゲーションボタンを使用します。



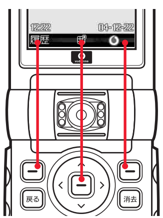
**本書での表記**

上ボタン：　　右ボタン：

下ボタン：　　左ボタン：

## ■ セレクトボタンについて

選択した項目の決定やサブメニュー、情報機能の表示など、画面下部（ガイド表示エリア）に表示されている項目を実行するときは、セレクトボタンを使用します。



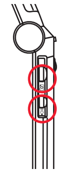

**本書での表記**

セレクトボタン（左）：

セレクトボタン（中央）：

セレクトボタン（右）：

## ■ カメラ／シャッターボタンとライトボタンについて



**本書での表記**

カメラ／シャッターボタン：

ライトボタン：

## ■ 操作手順の表記について

本書では、操作手順を次のように表記しています。

**1 ❶メインメニューから［（設定）］→❷［（音設定）］→❸［着信音選択］を選択**

❶ 待受画面でを押してメインメニューを表示させ、でを選択し、を押す操作を示しています。

❷ でを選択し、タブメニューを表示させる操作を示しています。

❸ で［着信音選択］を選択し、を押す操作を示しています。

## ■ 画面表示について

本書で記載されている画面は、登録状況や設定状況などにより実際の画面と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

# 安全上のご注意

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。 |
| ⚠警告 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠注意 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。 |

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

| | |
|---|---|
| 禁止 | 「禁止」<br>禁止（してはいけないこと）を示します。 |
| 分解禁止 | 「分解禁止」<br>分解してはいけないことを示す記号です。 |
| 水ぬれ禁止 | 「水ぬれ禁止」<br>水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないことを示す記号です。 |
| ぬれ手禁止 | 「ぬれ手禁止」<br>ぬれた手で扱ってはいけないことを示す記号です。 |

| | |
|---|---|
| 指示 | 「指示」<br>指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。 |
| 電源プラグを抜く | 「電源プラグを抜く」<br>電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。 |

## ⚠危険

### 802SE、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

**802SEに使用する電池パックおよび充電器は、ボーダフォンが指定したものを使用してください。**
指定品以外のものを使用した場合は、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック SEBA01、卓上ホルダー SEEA01、急速充電器 SECA01、シガーライター充電器 SEJA01

指示

**ぬらさないでください。**
水やペットの尿などの液体が入ると発熱や感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。

水ぬれ禁止

**分解、改造をしないでください。**
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

分解禁止

### 電池パックの取り扱いについて

■**電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認してください。**

| 表示 | 電池の種類 |
|---|---|
| Li-ion | リチウムイオン電池 |

## ⚠危険

**火の中に投下しないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

**釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

**電池パックを802SEに接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

**火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

**端子を針金などの金属類で接続しないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

**電池パック内部の液が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の診療を受けてください。**
失明の原因となります。

指示

## ⚠警告

### 802SE、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

**電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、802SEや充電器を入れないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、802SE、充電器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させたりする原因となります。

禁止

**強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。**
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

**直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となったりします。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

禁止

**ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。**
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

禁止

## ⚠警告

### 802SEの取り扱いについて

**自動車などを運転中に使用しないでください。**
安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてから使用してください。
また、走行中の使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

禁止

**高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、802SEの電源を切ってください。**
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※注意していただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響について確認してください。

指示

**ライトの発光部を人の目に近づけて点灯しないでください。**
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

**歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、ヘッドホンの音量を上げないでください。また、周囲の交通、路面状態には気をつけてください。**
事故の原因となります。

禁止

## ⚠警告

**航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、802SEの電源を切ってください。**
電子機器や医用電気機器に影響をおよぼす場合があります。また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

指示

**医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。**
802SEを医用電気機器などの近くで使用すると、電波の影響で医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

**心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。**

指示

**赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。**
目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止

## ⚠警告

### 充電器の取り扱いについて

**充電器のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。**
感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

**充電中は、充電器および卓上ホルダーを安定した場所においてください。**
**また、充電器および卓上ホルダーを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。**
802SEが外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となったりします。

指示

**充電器や卓上ホルダーは、風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。**
感電の原因となります。

禁止

**ぬれた手で充電器のコード、コンセントに触れないでください。**
感電の原因となります。

ぬれ手禁止

**指定の電源、電圧で使用してください。**
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
急速充電器：AC100V～240V
シガーライター充電器：
DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

## ⚠警告

**雷が鳴り出したら、802SE、充電器には触れないでください。**
落雷、感電の原因となります。

指示

**コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

**シガーライター充電器はマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。**
火災の原因となります。

禁止

**充電器をコンセントに差し込むときは、針金などの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。**
感電、ショート、火災の原因となります。

指示

**長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
感電や火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

## ⚠警告

**シガーライター充電器のヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。**
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書で確認してください。

指示

**万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。**
感電や発煙、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

**プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
火災の原因となります。

指示

## 電池パックの取り扱いについて

**所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

**電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

## ⚠警告

**電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、802SEから取り外し、使用しないでください。**
そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

**電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。**
皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

### 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■**本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会〔旧不要電波問題対策協議会〕）に準拠したものです。**

**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から携帯電話（送信出力0.8W）は22cm以上、自動車電話およびショルダーホン（ともに送信出力2.0W）は30cm以上離して携行および使用してください。**
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

## ⚠警告

**医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。**

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には携帯電話を持ち込まないでください。
- 病棟内では、携帯電話の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、携帯電話の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

**満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るようにしてください。**
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

**自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。**

指示

## ⚠注意

### 802SE、電池パック、充電器の取り扱いについて(共通)

**湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。**
故障の原因となります。
禁止

**乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。
指示

**子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかを注意してください。**
けがなどの原因となります。
指示

### 802SEの取り扱いについて

**自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。**
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。
指示

**ストラップなどを持って802SEをふり回さないでください。**
本人や他の人などにあたったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
禁止

## ⚠注意

**着信音が鳴っているときや、802SEでメロディを再生しているときなどはスピーカーに耳を近づけないでください。**
難聴になる可能性があります。
禁止

**ヘッドホンを使用するときは音量に気をつけてください。**
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音がでて耳をいためたりする原因となります。
禁止

**お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**
802SEで使用している各部品の材質は次のとおりです。
指示

| 部位 | 使用材質 | 表面処理 |
|---|---|---|
| 外装ケース(メインディスプレイ側) | マグネシウム | — |
| 外装ケース(その他) | PC樹脂／ABS樹脂 | UV塗装処理 |
| ディスプレイ部 | アクリル樹脂 | — |
| 電池パック外装 | PC樹脂 | UV塗装処理 |
| 操作ボタン(メッキボタン以外) | PC樹脂 | UV塗装処理 |
| 操作ボタン(メッキボタン) | ABS樹脂 | クロムメッキ |
| 外部接続端子カバー | エラストマー樹脂 | — |
| ラウドスピーカープレート | ステンレス | — |
| スピーカーラバー | ポリウレタン | — |

## ⚠注意

**屋外で使用中に雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。**
落雷、感電の原因となります。
指示

**磁気カードやフロッピーディスクなどを802SEに近づけたり、はさんだりしないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
禁止

**カメラのレンズに太陽光などの強い光を長時間あてないでください。**
レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。
禁止

**万一ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどに触れないでください。**
ディスプレイ部やカメラのレンズはガラスが飛び散りにくい構造となっていますが、誤って割れた切断面などに触れるとけがの原因となります。
禁止



## ⚠注意

### 充電器の取り扱いについて

**充電器のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。**
感電や火災の原因となります。
禁止

**お手入れの際は、コンセントやソケットから抜いて、行ってください。**
感電の原因となります。
電源プラグを抜く

**充電器をコンセントやソケットから抜く場合は、充電器コードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。**
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因となります。
指示

**ぬれた電池パックを充電しないでください。**
発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。
指示

### 電池パックの取り扱いについて

**一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからボーダフォンショップにお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。
禁止

# お願いとご注意

## ご利用にあたって

- 事故や故障などにより802SEや"メモリースティック Duo"に登録したデータ（電話帳・画像・サウンドなど）が消失・変化したときの損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 802SEは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 802SEを公共の場所でご利用いただくときは、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。
- 802SEは電波法に定められた無線局です。従って、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  802SEは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときは第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  **傍受（ぼうじゅ）とは**
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

## 自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながら802SEをご使用になると危険ですので、おやめください。
- 802SEをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 802SEを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

## 航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

## お取り扱いについて

- 802SEの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 802SEは温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。

- 使用中や充電中は802SEが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 802SEを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。
  また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- 802SEは精密部品で作られた無線通信装置です。
  絶対に分解、改造はしないでください。
- 802SEのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけたりしないようご注意ください。
- 802SEを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- ステレオヘッドホンの中には開放型のものがあり、音が外にもれることがあります。周囲の方の迷惑にならないように注意してください。
- **802SEは防水仕様にはなっていません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。**
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩いたりしないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめると、洗面所に落としたり、水でぬらしたりする原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、バッグなどに入れて、海水がかかったり、直射日光があたらないようにしてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。手や身体の汗が802SEの内部に浸透し、故障の原因になることがあります。
- **802SEに無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。**
  - 802SEをズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  - 荷物のつまった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 銘板をはがさないでください。修理をお受けできないことがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず802SEの電源を切ってから取り外してください。急速充電器を接続して充電しているときは、必ず急速充電器を取り外したあと、802SEの電源を切ってから取り外してください。
  また、データの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
- 連続通話中や充電中には、電源ボタン、ダイヤルボタンなどの操作部や電池パックの温度が上昇しますが、故障ではありません。
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますのであらかじめご了承ください。

## 著作権などについて

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされるときは、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
  また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

## 携帯電話機の比吸収率(SAR)について

**この機種802SEの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。**
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
この携帯電話機802SEのSARは、0.517W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご覧ください。

---

総務省のホームページ
　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
　http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※: 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

---

# ご利用になる前に

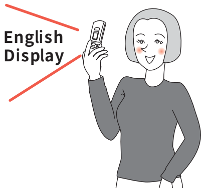
# 機能一覧

**国際ローミング対応**
W-CDMA方式とGSM方式に対応しています。日本国内、海外を問わず1つの電話番号でご利用いただけます。



P.2-16

**Language／言語選択**
画面の表示や入力する言語を英語など他の言語に切り替えられます。




P.8-5

**カメラ**
静止画や動画を撮影できます。撮影した画像は壁紙にしたり送信したりできます。



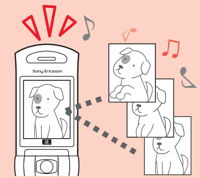
P.7-2

**TVコール**
相手の映像を見ながら通話できます。



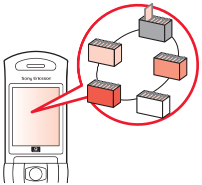
P.6-2

**音楽／映像プレイヤー**
802SEで録画した動画やサウンド、音声を再生できます。



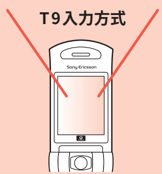
P.10-2

**データフォルダ**
いろいろなデータを一括で管理できます。



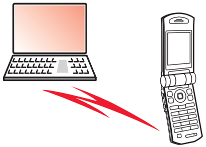
P.12-2

**文字変換（T9™）**
少ないボタン操作で文字を入力できる入力方式を搭載しています。



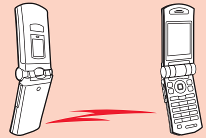

P.4-3

**Bluetooth™通信**
Bluetooth通信対応機器と接続できます。



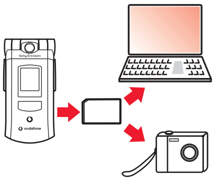
P.13-4

**赤外線通信**
赤外線を利用してデータのやりとりができます。



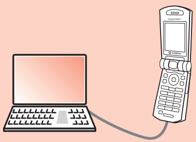
P.13-2

**“メモリースティック Duo”**
いろいろなデータを“メモリースティック Duo”に保存できます。



P.11-2

**USB**
USBケーブルでUSB対応機器と接続できます。



P.13-8

**SMS／MMS**
ボーダフォン携帯電話どうしやE-mail対応携帯電話などと文字メッセージや画像、サウンドなどのやりとりができます。



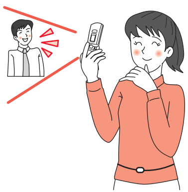
P.18-2、19-2

**オリジナル着信音／音色**
MusicDJ™で作成したメロディを着信音として利用できます。



P.9-4

**サウンド録音**
音声を録音できます。



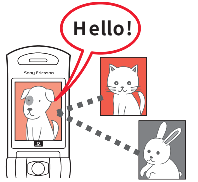
P.10-4

**マナーモード**
音が鳴らないようにするなど、周囲に迷惑がかからないよう設定できます。



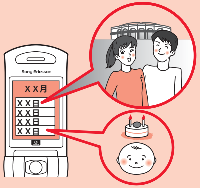
P.3-2

**壁紙／アニメーション／スキン**
待受画面やウェイクアップ画面に表示される画像などを設定できます。



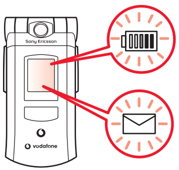

P.8-2、8-3

**カレンダー機能**
802SEに予定を登録し、指定した日時にお知らせできます。



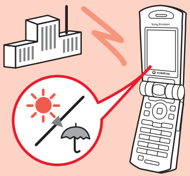

P.15-10

**サブディスプレイ**
本体を閉じているとき、802SEの情報や日時、電池残量などを確認できます。



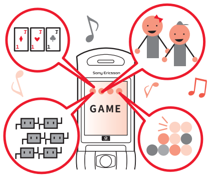
P.1-9

**ウェブアクセス**
インターネットに接続して、いろいろなコンテンツにアクセスできるサービスです。



P.23-2

**Vアプリ**
ウェブからゲームなどのソフトを入手し、利用できます。



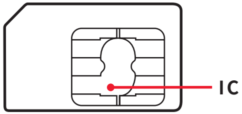

P.26-2

# USIMカードのお取り扱い

## USIMカードをご利用になる前に

USIM（ユーシム）カード（以下、USIMカード）は、電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話に取り付けて使用します。USIMカードが取り付けられていない場合、電話の発着信やメール、ウェブなどのネットワーク接続ができません。

- USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書をご覧ください。
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のボーダフォン携帯電話でも利用できます。
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを取り付けて故障した場合、お客様ご自身の責任となり、当社では責任を負いかねますのでご注意ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。




USIMカード

**その他のご注意**

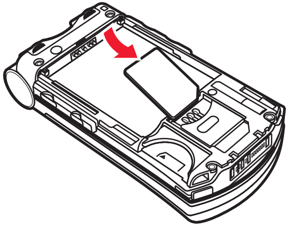
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約・休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録された情報内容が消失した場合でも、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## USIMカードを取り付ける／取り外す

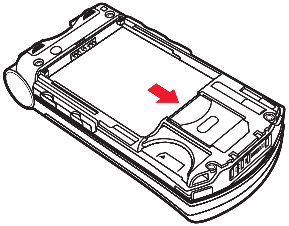
USIMカードの取り付けや取り外しは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います(☞P.1-12)。

### ■ 取り付ける

**1 金色のIC部分を下側にして、取り付け口にUSIMカードを差し込む**

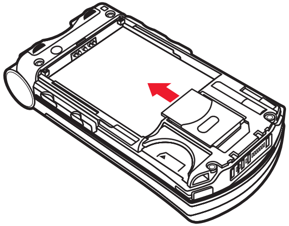


**2 ゆっくりと奥まで押し込む**



### ■ 取り外す

**1 USIMカードをスライドさせ、ゆっくりと引き抜く**



注意
- USIMカードの取り付けや取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。

## PINコード

USIMカードには、「PIN1コード」と「PIN2コード」という2種類の暗証番号があります。

### ■ PIN1コード

第三者によるボーダフォン携帯電話の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時は「9999」に設定されています。
- PIN1コードは変更できます（☞P.14-2）。
- USIMロック（☞P.14-3）が[ON]に設定されているときは、電源を入れるたびにPIN1コードを入力する必要があります。

### ■ PIN2コード

通話料金の各設定（☞P.15-2、15-3）に使用する暗証番号です。

- お買い上げ時は「9999」に設定されています。
- PIN2コードは変更できます（☞P.14-2）。

### ■ PINロック解除コード（PUK）

PIN1コードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINコードがロックされます。PINロックは「PINロック解除コード（PUK）」を入力すると解除できます。

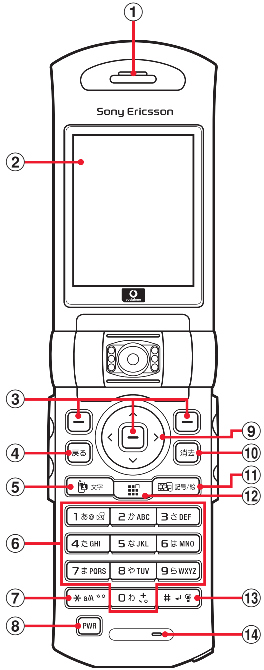
- PINロック解除コード（PUK）については、お問い合わせ先（☞P.29-17）までご連絡ください。

**注意**

- PINロック解除コード（PUK）の入力を10回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、802SEが使用できなくなります。PINロック解除コード（PUK）は、お忘れにならないようご注意ください。
- USIMカードがロックされたときは、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（☞P.29-17）までご連絡ください。

# 各部の名称と機能

## 本体




① **スピーカー**

② **ディスプレイ**
入力した電話番号や機能などを表示します。

③ **セレクトボタン**
ガイド表示エリアに表示されている項目を実行します。

④ **戻るボタン**
1 つ前の画面に戻ります。長く（1 秒以上）押すと、待受画面に戻ります。

⑤ **TV コール／文字ボタン**
TV コールをかけるときに使用します。文字入力画面で押すと、文字入力モードを切り替えられます。

⑥ **ダイヤルボタン**
電話番号や文字を入力できます。

⑦ **＊ボタン**
電話番号入力時に長く（1 秒以上）押すと、ポーズを入力できます。

⑧ **電源ボタン**
長く（1 秒以上）押すと、電源を入れたり切ったりできます。

⑨ **ナビゲーションボタン**
項目の選択や決定、カーソルを移動するときに使用します。また、ショートカットを割りあてて機能を呼び出します。

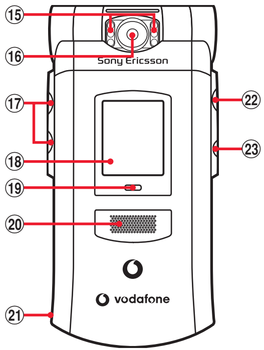
⑩ **消去ボタン**
入力した文字を消去します。また、画像やサウンドなどのデータを選択しているときに押すと消去できます。

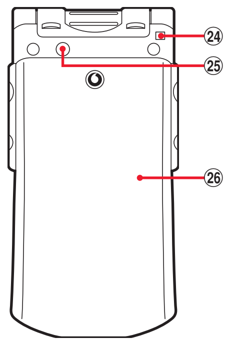
⑪ **メディアプレイヤー／記号／絵文字ボタン**
メディアプレイヤーを利用するときに使用します。また、文字入力画面で記号や絵文字を入力するときに使用します。

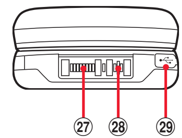
⑫ **メニューボタン**
メインメニューを表示します。通話中に押しても表示します。

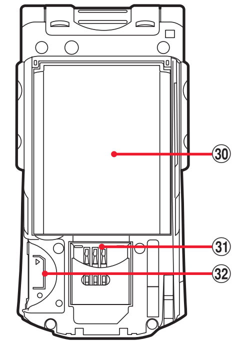
⑬ **＃／マナーボタン**
長く（1秒以上）押すと、マナーモードを設定したり解除したりできます。

⑭ **マイク（送話口）**




⑮ **ライト**
TV コールやカメラ機能で使用します。

⑯ **カメラ**
ここから撮影した画像が画面に表示されます。

⑰ **音量ボタン**
着信音量やサウンドなどの再生音量を調節できます。

⑱ **サブディスプレイ**
802SE の情報や時刻、電池残量などを確認できます。

⑲ **充電ランプ**
充電中に点灯します。また、圏内では緑色に点滅します。

⑳ **ラウドスピーカー**
着信音やサウンド、音声などの再生音がここから聞こえます。

㉑ **赤外線ポート**
赤外線通信でデータをやりとりするときに使用します。

㉒ **カメラ／シャッターボタン**
長く（1 秒以上）押すと、カメラが起動します。

㉓ **ライトボタン**
ライトが点灯します。

㉔ **ハンドストラップ取り付け口**

㉕ **外部アンテナ端子（RF端子）**

㉖ **電池パックカバー**

㉗ **ハンズフリー端子**
付属のステレオイヤホンマイクを接続する端子です。

㉘ **充電端子**
急速充電器やオプション品のシガーライター充電器を接続する端子です。

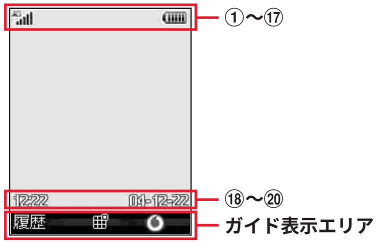
㉙ **外部接続端子（USBポート）**
付属の USB ケーブルを接続する端子です。

㉚ **電池パック**

㉛ **USIM カード取り付け口**

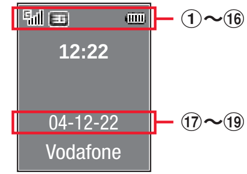
㉜ **“ メモリースティック Duo ” 挿入口**

## ディスプレイ




① GPRSエリア電波受信状態（5段階）
RSSIエリア電波受信状態（5段階）
GPRSエリア外
RSSIエリア外
② 3Gネットワーク圏内
③ 通話中
④ 不在着信あり
⑤ 伝言メッセージあり
⑥ 着信制限設定中
転送電話設定中（呼出なし）
⑦ スピーカON
⑧ マナーモード設定中
⑨ メディアプレイヤー再生中
⑩ 赤外線通信ON
⑪ Bluetooth通信ON
⑫ ストップウォッチ実行中
⑬ モード設定中
⑭ 新着メール（SMS）あり
新着メール（MMS）あり
新着メール（SMS）あり（受信メールボックスがいっぱい）
新着メール（MMS）あり（受信メールボックスがいっぱい）
⑮ ウェブ接続中
⑯ Vアプリ起動中
⑰ 電池レベル（5段階）
⑱ 通話中（日付表示が通話時間表示に変更）
通話終了
⑲ アラームON
⑳ タイマ実行中（日付表示がタイマ表示に変更）

## サブディスプレイ




① GPRSエリア電波受信状態（5段階）
RSSIエリア電波受信状態（5段階）
GPRSエリア外
RSSIエリア外
② 3Gネットワーク圏内
③ 通話中
④ 不在着信あり
⑤ 伝言メッセージあり
⑥ 着信制限設定中
転送電話設定中（呼出なし）
⑦ スピーカON
⑧ マナーモード設定中
⑨ 赤外線通信ON
⑩ Bluetooth通信ON
⑪ ストップウォッチ実行中
⑫ モード設定中
⑬ 新着メール（SMS）あり
新着メール（MMS）あり
新着メール（SMS）あり（受信メールボックスがいっぱい）
新着メール（MMS）あり（受信メールボックスがいっぱい）
⑭ ウェブ接続中
⑮ Vアプリ起動中
⑯ 電池レベル（5段階）
⑰ 通話中（日付表示が通話時間表示に変更）
通話終了
⑱ アラームON
⑲ タイマ実行中（日付表示がタイマ表示に変更）

# 電池パックと充電器のお取り扱い



## 電池パックと充電器をご利用になる前に

初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してからご使用ください。その際、電池アイコンが画面に表示されるまで30分程度かかることがあります。

### 充電時間と利用可能時間の目安

| 充電時間 | 約120分(W-CDMA) |
|---|---|
| 連続通話時間 | 約120分(W-CDMA) |
| 連続待受時間 | 約240時間(W-CDMA) |

- 連続通話時間とは、新品の充電済みの電池パックを取り付けて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 連続待受時間とは、新品の充電済みの電池パックを取り付けて、802SEを閉じた状態で通話や操作をせず、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。電波の届きにくい場所(ビル内、車内、カバンの中など)や圏外では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境(充電状態、気温など)によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。

### ■ 電池パックの寿命について

- 極端な高温や低温の状態では、使用したり保存したりしないでください。劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度:5℃～35℃
- 指定以外の充電器で充電しないでください。電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態(発火、発熱など)となる可能性があります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

### ■ 充電を行うときは

- 電池パック単体で充電することはできません。802SEに電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。
- 電源を入れた状態でも充電できますが、充電時間は長くなります。
- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分(充電端子)を針金などの金属類でショートさせると、大電流が流れて発熱したり破損したりしますので取り扱いにはご注意ください。
- 充電中に充電器や電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。また、充電中に温度が高くなると、充電を一時中断することがあります。
- 充電器を使用中、テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器を雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

### ■ 使用時のご注意

- 電池パックや802SE、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できなくなったりすることがあります。汚れたら乾いたきれいな綿棒などで清掃をしてからご使用ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管や放置はしないでください。電池パックが使用できなくなることがあります。長期間の保管や放置をされる場合には、半年に1回程度電池パックの補充電を行ってください。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、端子がショートしないように袋などに入れてください。

### ■ 電池パックの持ちについて

- 次のような場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。
  - 極端な高温や低温の状態で使用したり保存されているとき
  - 802SEや電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき
  - 電波の弱い場所で通話しているときや圏外で待受しているとき
- 次の機能を設定すると、電池パックの消耗を軽減することができます。
  - パワーセーブを設定したとき（☞P.15-18）
  - スクリーンセーバーを[なし]に設定したとき（☞P.8-3）

### ■ 電池が切れると

- 警告画面が表示され警告音が鳴ります。そのままにしておくと、電源が切れます。充電してください（☞P.1-13）。

### ■ 不要になった電池パックは

- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
  端子にテープを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

## 電池レベルについて

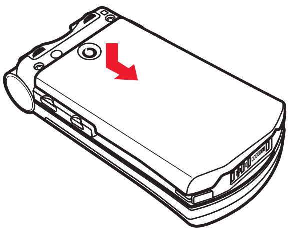
電池レベルはディスプレイやサブディスプレイで確認できます。

：十分
：約半分
：なし

# 電池パックを取り付ける／取り外す

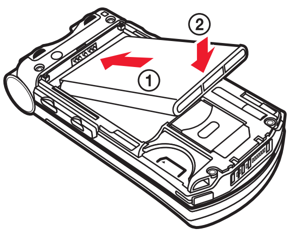
## 取り付ける

**1** **電池パックカバーを押しながら矢印の方向にスライドさせて取り外す**



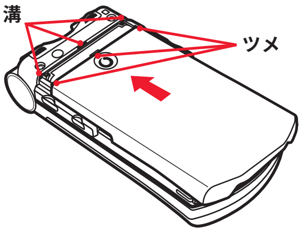
**2** **電池パックを取り付ける**

- 印刷面を上にして、本体と電池パックの端子を合わせてはめ込みます。



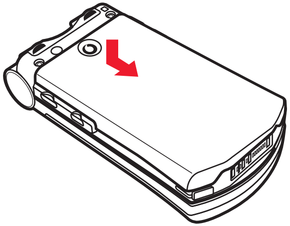

**3** **電池パックカバーを矢印の方向にスライドさせて取り付ける**

- 本体の溝に電池パックカバーのツメを合わせてスライドさせます。

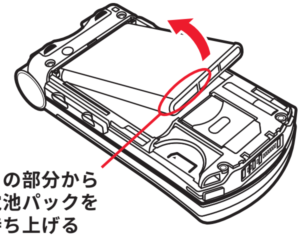



## 取り外す

**1** **電池パックカバーを押しながら矢印の方向にスライドさせて取り外す**



## 2 電池パックを持ち上げて取り外す




注意 • 電池パックを取り外すときは、電源を切ってから行ってください。

補足
• この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。




- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、分解したり、ショートさせないようにご注意ください。火災や感電の原因となります。

# 急速充電器を利用して充電する

## 1 802SEの充電端子に急速充電器のコネクターを差し込む

• ⚡印のある面を上にして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。

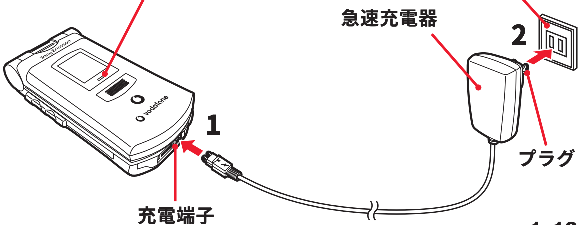
## 2 急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントに差し込む

充電が開始されると充電ランプが点灯します。

| 状態 | 充電中 | 充電完了 |
|---|---|---|
| 電源ON | 緑色に点灯 | 緑色に点灯 |
| 電源OFF | 赤色に点灯 | 緑色に点灯 |

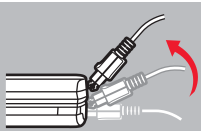
また、電池アイコンのレベル表示が動いて充電中であることをお知らせします。

• 充電が完了すると、電池アイコンは「▮▮▮▮」の状態になります。
• 電源OFFの状態で充電すると、充電が完了しても画面に「充電中」と表示されたままになりますので、電池アイコンが「▮▮▮▮」の状態になっていることを確認してください。



注意

- 急速充電器のコネクターは、右図のように上に持ち上げて取り外します。
  急速充電器のコードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因になります。



- 急速充電器本体はAC100V～240Vの家庭用電源以外では使用しないでください。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

補足

- 海外での充電には、渡航先に対応した変換プラグをお買い求めのうえ、ご使用ください。

## 卓上ホルダーを利用して充電する

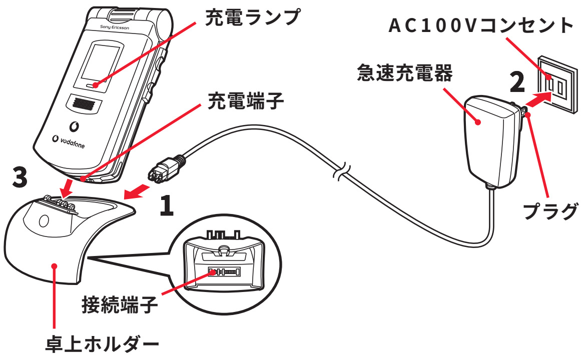
**1** **卓上ホルダーの接続端子に急速充電器のコネクターを差し込む**

- ➘印のある面を下にして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。

**2** **急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントに差し込む**

**3** **802SEの充電端子と卓上ホルダーの端子を合わせ、しっかりと差し込む**

充電が開始されると充電ランプが点灯します(☞P.1-13)。



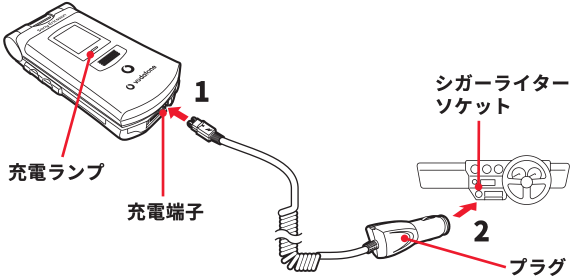
## シガーライター充電器を利用して充電する

**1 802SEの充電端子にシガーライター充電器のコネクターを差し込む**

- ⚡印のある面を上にして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。

**2 シガーライターソケットにプラグを差し込む**

充電が開始されると充電ランプが点灯します（☞P.1-13）。




注意
- シガーライター充電器はマイナスアース車専用です（12V、24V両用）。
- シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。また、自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。

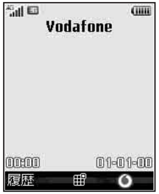
補足
- シガーライター充電器の操作方法などについては、シガーライター充電器の取扱説明書をご覧ください。

# 電源を入れる／切る

## ■ 電源を入れる

**1 PWRを長く（1秒以上）押す**

効果音が鳴りアニメーションが表示されたあと、待受画面が表示されます。




待受画面

補足

- 電源を入れたときに必ずPIN1コードを入力するよう設定できます（☞P.14-3）。
- 802SEを開いたまま何も操作せずに一定時間が経過すると、電池の消耗を抑えるため、自動的にスリープモードに切り替わります。（画面が暗くなります。）待受画面に戻るときは、いずれかのボタンを押します。
- スリープモード画面にデジタル時計を表示するよう設定することもできます（☞P.8-4）。

### セットアップウィザードが完了していないときは

初めて802SEをご利用になるときやセットアップウィザードで設定を行っていないときは、802SEの電源を入れるとセットアップウィザードが表示されます。セットアップウィザードでは次の設定を行えます。

- 画面表示言語の設定（☞P.8-5）
- 時刻の設定（☞P.1-17）
- 日付の設定（☞P.1-17）
- USIMカードの電話帳データのコピー

補足

- セットアップウィザードはメインメニューからも表示できます。
  ① 待受画面で●（メニュー）を押す
  ② ◎で[（設定）]を選択し、━（**選択**）を押す
  ③ ◎で[（全般）]を選択する
  ④ ◎で[セットアップウィザード]を選択し、━（**選択**）を押す

## ■ 電源を切る

**1 PWRを長く（1秒以上）押す**

アニメーションが表示されたあと、画面が消灯します。

# 日付／時刻の設定

## 日付を設定する

お買い上げ時　表示形式：YY-MM-DD

**1　[日付]を呼び出す**

❶ 待受画面で◉（▦）を押す

❷ ◎で[ （設定）]を選択し、[−]（**選択**）を押す

❸ ◎で[ （全般）]を選択する

❹ ◎で[日時設定]を選択し、[−]（**選択**）を押す

❺ ◎で[日付]を選択し、[−]（**選択**）を押す

日付入力画面が表示されます。

**2　ダイヤルボタンで日付を入力する**

- ボタンを押し間違えたときは、◎で点滅表示を移動し、正しい数字を入力してください。

**3　[−]（保存）を押す**

日付が設定されます。

**■ 日付の表示形式を変更するには**

日付入力画面で[−]（**表示形式**）を押します。表示形式を選択し、[−]（**選択**）を押します。

## 時刻を設定する

お買い上げ時　表示形式：24時間表示

**1　[時刻]を呼び出す**

❶ 待受画面で◉（▦）を押す

❷ ◎で[ （設定）]を選択し、[−]（**選択**）を押す

❸ ◎で[ （全般）]を選択する

❹ ◎で[日時設定]を選択し、[−]（**選択**）を押す

❺ ◎で[時刻]を選択し、[−]（**選択**）を押す

時刻入力画面が表示されます。

**2　ダイヤルボタンで時刻を入力する**

- ボタンを押し間違えたときは、◎で点滅表示を移動し、正しい数字を入力してください。

**3　[−]（保存）を押す**

時刻が設定されます。

**■ 時刻の表示形式を変更するには**

時刻入力画面で[−]（**表示形式**）を押します。表示形式を選択し、[−]（**選択**）を押します。

# 時差／サマータイムを設定する

## 時差を設定する(タイムゾーン)

| お買い上げ時 | タイムゾーン:GMT+9.00時<br>自動タイムゾーン設定:OFF |
|---|---|

現在の時刻表示から最大で12時間45分まで時刻を進めたり、最大で12時間まで時刻を遅らせることができます。また、自動で時差を調整するよう設定することもできます。

- お買い上げ時に設定されている「GMT+9.00時」とは、世界標準時(GMT)に9時間を加えた日本標準時のことです。

### 1 [タイムゾーン]を呼び出す

❶ 待受画面で●(▦)を押す

❷ ◎で[(設定)]を選択し、[ー](**選択**)を押す

❸ ◎で[(全般)]を選択する

❹ ◎で[日時設定]を選択し、[ー](**選択**)を押す

❺ ◎で[タイムゾーン]を選択し、[ー](**選択**)を押す

タイムゾーン設定画面が表示されます。

### 2 ◎で時差を選択し、[ー](選択)を押す

確認画面が表示されます。

### 3 [ー](はい)を押す

時差が設定されます。

### ■ 自動で時差を設定するには

日時設定画面で[自動タイムゾーン設定]を選択し、[ー](**選択**)を押します。[ON]を選択し、[ー](**選択**)を押します。

## サマータイムを設定する(サマータイム)

| お買い上げ時 | 標準時間 |
|---|---|

サマータイムを設定すると、1時間進んだ時刻表示になります。

### 1 [サマータイム]を呼び出す

❶ 待受画面で●(▦)を押す

❷ ◎で[(設定)]を選択し、[ー](**選択**)を押す

❸ ◎で[(全般)]を選択する

❹ ◎で[日時設定]を選択し、[ー](**選択**)を押す

❺ ◎で[サマータイム]を選択し、[ー](**選択**)を押す

サマータイム設定画面が表示されます。

### 2 ◎で[サマータイム]を選択し、[ー](選択)を押す

確認画面が表示されます。

### 3 [ー](はい)を押す

サマータイムが設定されます。

### ■ サマータイムを解除するには

サマータイム設定画面で[標準時間]を選択し、[ー](**選択**)を押します。

# 機能の呼び出しかた

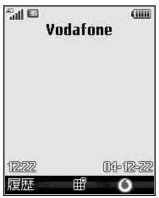


802SEは、いろいろな方法で機能を呼び出せます。よく使う機能はショートカットに登録しておくと、すばやく呼び出せます(☞P.2-14)。また、情報機能(☞P.1-20)やサブメニュー(☞P.1-21)も利用できます。

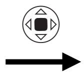
- 項目が薄く表示されているときは、その項目を選択できません。

## メインメニューから機能を呼び出す

待受画面でを押すと、メインメニューが表示されます。メインメニューからいろいろな機能を呼び出せます。




待受画面






メインメニュー

| メインメニュー | 概要 | 参照ページ |
|---|---|---|
| Vアプリ | Vアプリを利用できます。 | 17-2、26-2 |
| Vodafone live! | Vodafone live!トップメニューに接続します。 | 17-2 |
| メディアプレイヤー | 音楽や動画の再生ができます。 | 10-2 |
| カメラ | 静止画や動画の撮影ができます。 | 7-2 |
| メール | SMSやMMSの作成、送受信、設定などができます。 | 18-2、19-2、22-2 |
| データフォルダ | 画像やサウンドなどの保管ができます。 | 12-2 |
| ツール | アラームやメモ、カレンダーなどの機能があります。 | 15-8、15-10、15-14 |
| 電話帳 | 電話帳の機能が使えます。 | 5-2 |
| リンク | 便利なウェブのリンク一覧が表示されます。 | – |
| 接続 | Bluetooth通信や赤外線通信などができます。 | 13-2、13-4 |
| 発着信履歴 | リダイヤル(発信履歴)や着信履歴などが確認できます。 | 2-10 |
| 設定 | 音や画面、通話などの設定ができます。 | 8-2、9-2、15-2、16-3 |

例：[メモ]を呼び出す場合

**1 待受画面で◉（ ）を押す**

メインメニューが表示されます。




**2 ◎で[ （ツール）]にカーソルを移動し、[－]（選択）を押す**

ツールメニュー画面が表示されます。




**3 ◎で[メモ]にカーソルを移動し、[－]（選択）を押す**

メモ画面が表示されます。




**補足**

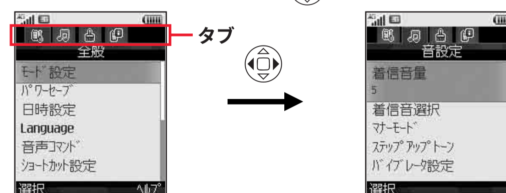
- ガイド表示エリアに[情報]が表示されているときに[－]を押すと、機能の説明が表示されます。
- [戻る]を押すと1つ前の画面に戻ります。[戻る]を長く（1秒以上）押すと待受画面に戻ります。

**カーソルについて**

- 項目を選択するときに表示される▬や[ ]を「カーソル」と呼びます。◎または◎を押して移動させます。カーソルが表示されているときに[－]（**選択**）を押すと、次の操作へ移行します。
- 文字を入力するときに表示される**|**も「カーソル」と呼びます。◎を押して移動させます。文字はカーソルの左側に入力されます。

## ■ タブメニューを切り替える

メインメニューの設定メニュー画面や電話帳の新規登録画面などではタブメニューが表示されます。◎で表示を切り替えます。



## メインメニューから番号で機能を呼び出す

ダイヤルボタンを使って、すばやく機能を呼び出せます。画面に表示される項目の順番にダイヤルボタンの 1(1番目)、2(2番目)・・・*(10番目)、0(11番目)、#(12番目)が割りあてられています。

例：[メモ]を呼び出す場合

**1 待受画面で●(■)を押す**

メインメニューが表示されます。

**2 7を押す**

ツールメニュー画面が表示されます。

**3 4を押す**

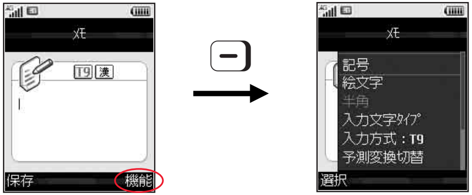
メモ画面が表示されます。

## サブメニューを利用する

各機能を補助する機能がサブメニューにまとめられています。

**1 ガイド表示エリアに[機能]が表示されているときに−を押す**

サブメニューが表示されます。

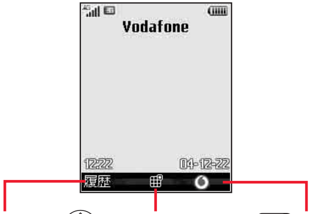



**2 ○で項目を選択し、−(選択)を押す**

サブメニューが利用できます。

## ソフトキーの使いかた

メニュー画面や操作画面では、画面下部（ガイド表示エリア）にセレクトボタンの操作を示すガイドが表示されることがあります。




［－］を押したときの動作を示します。

［◉］を押したときの動作を示します。

［－］を押したときの動作を示します。

# 暗証番号

802SEのご使用にあたっては、「操作用暗証番号」と「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」の3種類の暗証番号が必要になります。

## 操作用暗証番号

802SEの各機能を操作するときに使用する4桁の暗証番号です。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

## 交換機用暗証番号

お客様がご契約時に申し込み書に記入された4桁の暗証番号です。オプションサービスを一般電話から操作する場合や、ウェブの有料情報を申し込みの際に使用します。

## 発着信規制用暗証番号

ご契約時にお決めいただいた4桁の暗証番号です。802SEで発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先(☞P.29-17)までご連絡ください。

注意

- 「操作用暗証番号」や「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先(☞P.29-17)までご連絡ください。
- いずれの暗証番号も、他の人に知られないようご注意ください。他の人に知られ悪用された場合、その損害について当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# 基本的な操作のご案内

## ネットワークモードを切り替える

お買い上げ時 ドメスティックモード

802SEは日本国内だけでなく、海外でも使用できます。ご使用になる国や地域で利用可能なネットワークモードに切り替える必要があります。

- 日本国内で使用する場合は、お買い上げ時に設定されている[ドメスティックモード]を利用してください。

**1 [ネットワークモード]を呼び出す**

❶ 待受画面で◉(▦)を押す

❷ ◎で[ (接続)]を選択し、[ー](**選択**)を押す

❸ ◎で[ネットワーク設定]を選択し、[ー](**選択**)を押す

❹ ◎で[ネットワークモード]を選択し、[ー](**選択**)を押す

**[3Gモード]**:GSMとW-CDMAのネットワークを検索
**[GSMモード]**:GSMネットワークのみ検索
**[ドメスティックモード]**:W-CDMAネットワークのみ検索

**2 ◎でネットワークモードを選択し、[ー](選択)を押す**

ネットワークが検索されて設定されます。

## 日本国内で電話をかける

**1 802SEを開き、電源が入っていることを確認する**

画面に「 」または「 」が表示されているときは圏外のためご利用になれません。

**2 ダイヤルボタンで電話番号を入力する**

- 同一市内へかける場合でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号を押し間違えたときは、[消去]を押すと最後に入力した数字から順に消えます。[消去]を長く(1秒以上)押すと順に数字が消え、待受画面に戻ります。

**3 [ー](発信)を押す**

電話がかかります。通話中は通話時間が表示されます。

**4 通話を終了するときは[ー](通話終了)を押す**

- 802SEを閉じても通話を終了できます。

■ **相手がお話し中のときは**

[ー](**中止**)を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

■ **通話を保留するには**

通話中に[ー](**保留**)を押します。相手に保留音が鳴り、互いの声が聞こえなくなります。[ー](**解除**)を押すと通話に戻ります。

- 通話中の保留をご利用になるには、割込通話サービス(☞P.16-6)または多者通話サービス(☞P.16-7)のお申し込みが必要です。

補足
・802SEには緊急電話番号(110／119／118)があらかじめ登録されています。
① 待受画面で◉(▦)を押す
② ◎で[ (電話帳)]を選択し、[－](選択)を押す
③ ◎で[ 機能]を選択し、[－](選択)を押す
④ ◎で[電話番号(その他)]を選択し、[－](選択)を押す
⑤ ◎で[緊急電話番号]を選択し、[－](選択)を押す
⑥ ◎で緊急電話番号を選択し、[－](発信)を押す

## 日本から国際電話をかける

| お買い上げ時 | Vodafone 0046010 |
|---|---|

あらかじめ登録した国際電話会社接続番号＋国際電話識別番号(010)を使って国際電話をかけられます。
・「国際電話プリフィックスを登録する」(☞P.15-2)

**1 ダイヤルボタンで国番号を入力し、市外局番の「0」を除いた相手の電話番号を入力する**

・イタリア(国番号39)にかける場合は、「0」を付けて入力してください。

**2 [－](機能)を押す**

サブメニューが表示されます。

**3 ◎で[プリフィックス選択]を選択し、[－](選択)を押す**

**4 ◎で[Vodafone]を選択し、[－](選択)を押す**

入力した電話番号の先頭に登録されている番号が付加されます。

**5 [－](発信)を押す**

## 海外で電話をかける

ダイヤルボタンで「+」と国番号を入力して電話をかけます。

**1 待受画面で[0 わ ゛゜]を長く(1秒以上)押す**

「+」が表示されます。

**2 ダイヤルボタンで国番号を入力し、市外局番の「0」を除いた相手の電話番号を入力する**

・イタリア(国番号39)にかける場合は、「0」を付けて入力してください。

**3 [－](発信)を押す**

電話がかかります。通話中は通話時間が表示されます。

**4 通話を終了するときは[－](通話終了)を押す**

・802SEを閉じても通話を終了できます。

**■ 滞在国内の一般電話／携帯電話へかけるときは**

相手の一般電話番号または携帯電話番号をそのままダイヤルします。

## 発信者番号通知／非通知を設定する

**お買い上げ時 ネットワーク初期設定（通知する）**

自分の電話番号を相手に通知する／通知しないを設定できます。

**1 ［発信者番号通知設定］を呼び出す**

❶ 待受画面で◉（▦）を押す
❷ ◎で［（設定）］を選択し、［ー］（**選択**）を押す
❸ ◎で［（発着信通話設定）］を選択する
❹ ◎で［発信者番号通知設定］を選択し、［ー］（**選択**）を押す

**［発信者番号通知］**：電話番号を通知
**［発信者番号非通知］**：電話番号を非通知
**［ネットワーク初期設定］**：ボーダフォンが指定した設定

**2 ◎で［発信者番号通知］／［発信者番号非通知］を選択し、［ー］（選択）を押す**

発信者番号通知／非通知が設定されます。

**補足**

- ダイヤルボタンでも発信者番号通知／非通知を設定できます。次の数字を電話番号の前に付けて発信します。
  - 日本国内のみ：
    186（発信者番号通知）／184（発信者番号非通知）
  - 日本、海外の両方：
    ＊31#（発信者番号通知）／#31#（発信者番号非通知）

## 以前かけた電話番号にもう一度かける（リダイヤル）

以前かけた電話番号は「発信履歴」に記録されます。発信履歴を使って電話をかけられます。

**1 ［発信履歴］を呼び出す**

❶ 待受画面で［ー］（**履歴**）を押す
❷ ◎で［（発信履歴）］を選択する

新しいものから順に表示されます。

**2 ◎で電話番号を選択し、［ー］（発信）を押す**

電話がかかります。

**補足**

- 日時設定（☞P.1-17）をしていない場合は、正確な日時が表示されません。
- 同じ電話番号に2回以上電話をかけたときは、最後に電話をかけた日時のデータのみ記録されます。
- 相手の電話番号が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
- 発信前に電話番号を編集してからかけることもできます。発信履歴画面で［ー］（**機能**）を押し、［発番号編集］を選択します。

**オートリダイヤルについて**

相手につながらなかったときは、最大10回まで続けてリダイヤルできます。オートリダイヤルは次のいずれかの状態になるまで有効です。

- 電話がつながったとき
- ［ー］(**中止**)を押したとき
- 電話がかかってきたとき

**1 画面に「再試行しますか?」と表示されたら、［ー］(はい)を押す**

再び、呼び出しを開始します。

注意

- 電話がつながったときに大きな音が鳴ることがあります。オートリダイヤル中は耳元に802SEを近づけすぎないでください。

補足

- オートリダイヤルは音声通話以外ではご利用になれません。

# 電話を受ける



**1 電話がかかってきたら、802SEを開く**

「応答しますか?」と表示されます。電話番号が通知されている場合は、相手の電話番号も表示されます。

- 電話帳に登録している相手からかかってきた場合は、登録した内容が表示されます。
- 電話番号が通知されていない場合は「非通知」と表示され、相手の電話番号や名前は表示されません。
- 着信中に[+]または[-]を押すと、着信音を鳴らさないようにできます（ミュート機能）。[+]または[-]を2回続けて押すと、着信を拒否しますのでご注意ください。

**2 [ー]（はい）を押す**

通話できます。通話中は通話時間が表示されます。

**3 通話を終了するときは[ー]（通話終了）を押す**

- 802SEを閉じても通話を終了できます。

**802SEを開いただけで電話を受けるには**

お買い上げ時 ON

**1 [オープン応答設定]を呼び出す**

1. 待受画面で（）を押す
2. で[（設定）]を選択し、[ー]（**選択**）を押す
3. で[（発着信通話設定）]を選択する
4. で[オープン応答設定]を選択し、[ー]（**選択**）を押す

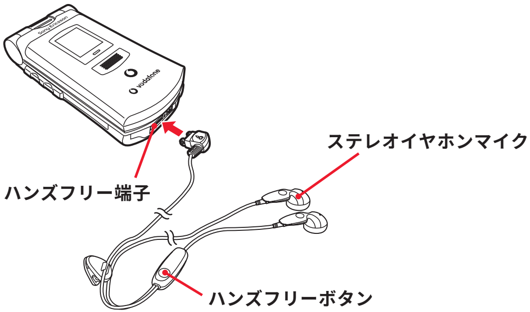
**2 で[ON]を選択し、[ー]（選択）を押す**

[OFF]：オープン応答設定を解除

**不在着信について**

電話に出なかったときは、画面に「不在着信: X 表示しますか?」（Xは件数）と表示されます。[ー]（**はい**）を押すと不在着信履歴が表示され、不在着信を確認できます。未確認の不在着信がある場合は画面に「」が表示されます。

### ステレオイヤホンマイクを使ってハンズフリーで電話を受けるには




**1 ステレオイヤホンマイクを802SEのハンズフリー端子に差し込む**

**2 電話がかかってきたら、ステレオイヤホンマイクのハンズフリーボタンを押す**

補足
- ハンズフリーボタンを押さなくても自動的に電話に出られるようにしたり、ハンズフリーボタン以外のボタンを押しても電話に出られるようにしたりできます（☞P.15-3）。

## かけてきた相手にかけ直す

かかってきた電話の日時は「着信履歴」に記録されます。電話番号が通知されている場合は、着信履歴を使って電話をかけられます。

**1 [着信履歴]を呼び出す**

❶ 待受画面で[ー]（**履歴**）を押す
❷ (◎)で[ (着信履歴)]を選択する
新しいものから順に表示されます。

**2 (◎)で電話番号を選択し、[ー]（発信）を押す**

電話がかかります。

補足
- 日時設定（☞P.1-17）をしていない場合は、正確な日時が表示されません。
- 同じ電話番号から2回以上電話がかかってきたときは、最後に電話がかかってきた日時のデータのみ記録されます。
- 相手の電話番号が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
- 発信前に電話番号を編集してからかけることもできます。着信履歴画面で[ー]（**機能**）を押し、[発番号編集]を選択します。

2 基本的な操作のご案内

# 着信を拒否する

**1 電話がかかってきたら、802SEを開く**

「応答しますか?」と表示されます。電話番号が通知されている場合は、相手の電話番号も表示されます。

**2 [－](いいえ)を押す**

着信が拒否されます。

注意
- オープン応答設定(☞P.2-6)を[ON]に設定している場合は、802SEを開くと電話を受けてしまいますのでご注意ください。

補足
- [＋]または[－]を2回続けて押しても着信を拒否できます。
- 着信を拒否して、設定した転送先へ転送することもできます(☞P.16-3)。

## 受話音量を調節する

お買い上げ時 5

スピーカーから聞こえる相手の声の大きさ（受話音量）を調節できます。

**1 通話中に［＋］／［－］を押す**

- 通話終了後も設定した音量になります。

## マイクミュートを設定する

通話中にこちらの声を相手に聞こえないようにします。相手の声はこちらに聞こえます。

**1 通話中に［#］を長く（1秒以上）押す**

画面に「OFFにしました」と表示されます。解除するには［－］（**マイクON**）を押します。

補足
- 通話中に［◉］（［メニュー］）を押し、［マイクOFF］を選択して［－］（**選択**）を押しても設定できます。

## 通話中に機能を呼び出す

通話中でもメインメニューから機能を呼び出して利用できます。

**1 通話中に［◉］（［メニュー］）を押す**

**［メインメニュー］**：メインメニューを表示

**［録音］**：音声を録音（☞P.10-4）

**［キー操作音ON］／［キー操作音OFF］**：
プッシュトーンの有効／無効を設定（☞P.15-4）

**［音声転送］**：
Bluetooth通信対応のハンズフリー機器を接続している場合、音声がハンズフリー機器から聞こえるように設定（☞P.13-7）

**［スピーカON］／［スピーカOFF］**：
スピーカーから音声が聞こえるようにする／しないを設定

**［通話呼切断］**：
切替通話中、通話している相手の電話を切る（☞P.16-7）

**［通話追加］**：別の相手に電話をかける（☞P.16-7）

**［マイクOFF］**：マイクミュートの設定

**2 ［○］で［メインメニュー］を選択し、［－］（選択）を押す**

メインメニューが表示されます。

**3 ［○］で機能を選択し、［－］（選択）を押す**

補足
- 通話中画面に戻る場合は、［戻る］を長く（1秒以上）押します。

## 通話中にメモを登録する

通話中に相手から聞いた電話番号をメモできます。通話中にダイヤルボタンで入力した数字は、通話終了後も待受画面に残り、［－］（**発信**）を押すとそのまま電話をかけられます。［戻る］を押すとメモは消えます。

# リダイヤル(発信履歴)/着信履歴の確認



リダイヤル(発信履歴)や着信履歴、不在着信履歴を確認できます。すべての履歴の合計で30件まで記録されます。

**1 待受画面で[ー](履歴)を押す**

[ (発着信履歴)]:すべての履歴
[ (着信履歴)]:着信履歴
[ (発信履歴)]:リダイヤル(発信履歴)
[ (不在着信履歴)]:不在着信履歴

**2 ◎で履歴の種類を選択し、◎で履歴を選択する**

発信または着信した日時が確認できます。

補足
- 発信者番号が非通知の場合は着信履歴には記録されません。

## 履歴を消去する

例:着信履歴を1件消去する場合

**1 [着信履歴]を呼び出す**

❶ 待受画面で[ー](**履歴**)を押す
❷ ◎で[ (着信履歴)]を選択する

**2 ◎で電話番号を選択し、[ー](機能)を押す**

サブメニューが表示されます。

**3 ◎で[1件消去]を選択し、[ー](選択)を押す**

確認画面が表示されます。

**4 [ー](はい)を押す**

■ **着信履歴をすべて消去するには**

着信履歴画面で[ー](**機能**)を押します。[全件消去]を選択し、[ー](**選択**)を押します。

補足
- 電源を切ってもリダイヤル(発信履歴)や着信履歴、不在着信履歴は消えません。
- リダイヤル(発信履歴)と着信履歴、不在着信履歴が合計で30件を超えたときは、古いものから消去されます。
- メインメニューから[ (発着信履歴)]を選択しても履歴を表示できます。

# 通話時間表示

前回の通話時間、累積通話時間、電話をかけた場合の累積通話時間を確認できます。

**1 [通話時間]を呼び出す**

❶ 待受画面で◉(▦)を押す

❷ ◎で[ (設定)]を選択し、[ー](**選択**)を押す

❸ ◎で[ (発着信通話設定)]を選択する

❹ ◎で[通話データ]を選択し、[ー](**選択**)を押す

❺ ◎で[通話時間]を選択し、[ー](**選択**)を押す

**[最終通話]**:前回の通話時間を表示

**[累積通話時間]**:累積通話時間を表示

**[累積発信時間]**:802SEから発信した累積通話時間を表示

**2 確認を終了するときは[ー](OK)を押す**

**■ 累積通話時間をリセットするには**

通話時間画面で[ー](**機能**)を押します。[通話時間リセット]または[発信時間リセット]を選択して[ー](**選択**)を押し、確認画面で[ー](**はい**)を押します。

補足

・電源を切っても通話時間の記録は消えません。

・表示される通話時間は目安です。

# 通話料金表示

前回の通話料金、合計通話料金を確認できます。

**1 [通話料金]を呼び出す**

❶ 待受画面で(ボタン)(メニュー)を押す
❷ (ボタン)で[(設定)]を選択し、(ボタン)(**選択**)を押す
❸ (ボタン)で[(発着信通話設定)]を選択する
❹ (ボタン)で[通話データ]を選択し、(ボタン)(**選択**)を押す
❺ (ボタン)で[通話料金]を選択し、(ボタン)(**選択**)を押す

**[リミット]**:通話料金の利用上限金額を表示(☞P.15-2)
**[料金表]**:料金表に設定した通貨単位と値(換算レート)を表示(☞P.15-3)
**[最終通話]**:前回の通話料金を表示
**[合計通話料金]**:合計通話料金を表示

**2 確認を終了するときは(ボタン)(OK)を押す**

**■ 合計通話料金をリセットするには**

通話料金画面で(ボタン)(**機能**)を押します。[合計料金リセット]を選択して(ボタン)(**選択**)を押し、確認画面で(ボタン)(**はい**)を押します。

**補足**

- 電源を切っても通話料金の記録は消えません。
- 表示される通話料金は目安です。
- 海外で使用した場合は通話料金が表示されないことがあります。
- 多者通話サービスをご利用になった場合は合算した通話料金を表示します。
- 通話料金に通貨単位を表示させるには、あらかじめ料金表設定で通貨を設定する必要があります(☞P.15-3)。

# 自分の電話番号の確認

お客様ご自身の802SEの電話番号を確認します。また、FAX番号やデータ通信番号を登録したり変更したりできます。802SEの電話番号は変更できません。

**1 [ご自分の電話番号]を呼び出す**

❶ 待受画面で◉( )を押す
❷ ◎で[ (電話帳)]を選択し、[ー](**選択**)を押す
❸ ◎で[ 機能]を選択し、[ー](**選択**)を押す
❹ ◎で[電話番号(その他)]を選択し、[ー](**選択**)を押す
❺ ◎で[ご自分の電話番号]を選択し、[ー](**選択**)を押す

**[携帯]**:802SEの電話番号
**[FAX]**:FAX番号
**[データ通信]**:データ通信番号

**2 ◎で[携帯]/[FAX]/[データ通信]にカーソルを移動する**

電話番号/FAX番号/データ通信番号が確認できます。

・FAX番号やデータ通信番号を登録/変更するときは操作3に進みます。

**3 [ー](編集)を押す**

FAX番号/データ通信番号入力画面が表示されます。

**4 ダイヤルボタンで番号を入力する**

**5 [ー](保存)を押す**

FAX番号やデータ通信番号が登録/変更されます。

**補足**
・オーナー情報を利用すると、自分の電話番号以外にE-mailアドレスなどの情報も登録できます(☞P.5-8)。

**802SEの状態を確認するには**

メモリの空き容量など802SEの状態を確認できます。確認できる内容は次のとおりです。

- 日付
- モード
- 機種
- ご自分の電話番号
- 空きメモリ

**1 [本体ステータス]を呼び出す**

❶ 待受画面で◉( )を押す
❷ ◎で[ (設定)]を選択し、[ー](**選択**)を押す
❸ ◎で[ (全般)]を選択する
❹ ◎で[本体ステータス]を選択し、[ー](**選択**)を押す

# 簡単な操作で機能を呼び出す

ナビゲーションボタンによく使う機能をショートカットとして登録できます。上ボタンには複数のショートカットをよく使う順にメモリ番号を付けて登録できます。最大で95個まで登録できます。右、下、左ボタンにはそれぞれ1つずつショートカットが登録されており、変更できます。
各ボタンにあらかじめ登録されている機能は次のとおりです。
上ボタン：マナーモードON、モード選択、Bluetooth、赤外線通信、着信音選択、アラーム、バックライト
右ボタン：カレンダー
下ボタン：電話帳
左ボタン：新規作成（メール）

## ショートカットを登録する

上ボタンにショートカットを登録します。

**1** **待受画面でを押す**

**2** **で［ショートカット設定］を選択し、（選択）を押す**
ショートカット画面が表示されます。

**3** **で［ナビゲーションキー上］を選択し、（編集）を押す**

**4** **で［新規ショートカット］を選択し、（追加）を押す**

**5** **で登録する機能を選択し、（ショートカット）を押す**
メモリ番号入力画面が表示されます。

**6** **メモリ番号を入力し、（OK）を押す**
- 2桁までの数字で入力します。

選択した機能がショートカットに登録され、メモリ番号順に表示されます。

## ショートカットを利用する

待受画面で／／／を押して機能を表示させます。

## ショートカットを変更する

**1 待受画面で◎を押す**

**2 ◎で[ショートカット設定]を選択し、[ー](選択)を押す**

ショートカット画面が表示されます。

**3 変更するキーを選択し、[ー](編集)を押す**

**[ナビゲーションキー上]**：ショートカットリストを変更
**[ナビゲーションキー右]**：右ボタンのショートカットを変更
**[ナビゲーションキー下]**：下ボタンのショートカットを変更
**[ナビゲーションキー左]**：左ボタンのショートカットを変更

**4 ◎で登録する機能を選択し、[ー](ショートカット)を押す**

新しく選択した機能がショートカットに登録されます。

- 上ボタンのショートカットの場合は、さらにメモリ番号を入力してください。

### ■ 上ボタンのショートカットを消去するには

「ショートカットを変更する」操作1〜3を行ったあと、ショートカットリストから消去するショートカットを選択し、[ー](**消去**)を押します。

### ■ 右、下、左ボタンのショートカットを解除するには

ショートカット画面で解除するキーを選択して[ー](**機能**)を押します。[無効]を選択して[ー](**選択**)を押します。

- 解除したあと[有効]に設定すると、ショートカットが登録されていない状態(<なし>)になります。

# 海外での利用(国際ローミング)

802SEは、日本以外の国や地域に行っても、日本国内と同じように音声通話などが利用できます。

- 国際ローミングのご利用には、別途お申し込みが必要です。ご利用可能なエリアや国際ローミングについては、『国際ローミングサービスガイド』をご覧ください。



## 通信事業者を設定する

802SEでは、利用できる通信事業者を検索して選択できます。USIMカードには通信事業者があらかじめ登録されており、優先順位が設定されています(USIMリスト)。優先順位は変更できます。また、802SE本体には世界中の通信事業者が登録されており(ALLリスト)、このALLリストから通信事業者を選択してUSIMリストに追加することもできます。

**1 [ネットワーク設定]を呼び出す**

❶ 待受画面で◉(▦)を押す

❷ ◎で[ (接続)]を選択し、[—](**選択**)を押す

❸ ◎で[ネットワーク設定]を選択し、[—](**選択**)を押す

**[新規検索]**:利用可能な通信事業者を検索

**[ネットワーク選択]**:

利用可能な通信事業者の検索結果を表示

- ここで利用したい通信事業者を選択します。

**[検索モード]**:

利用可能な通信事業者の検索を自動で行うか手動で行うかを設定

- [自動]に設定すると、電源を入れるたびに検索を行います。

**[優先するネットワーク]**:

USIMカードにあらかじめ設定された通信事業者一覧(USIMリスト)を表示

- 利用したい順に優先順位を付けられます。

**[ネットワークモード]**:

利用するネットワークモードを設定(☞P.2-2)

**2 ◎で[ネットワーク選択]を選択し、[—](選択)を押す**

利用可能な通信事業者一覧が表示されます。

- USIMリストに登録されていない通信事業者が検索された場合は、名前の左に「▤」が表示され選択できません。(GSMネットワーク圏内の場合はアイコンは表示されません。)

**3** **で通信事業者を選択し、(選択)を押す**

通信事業者が設定されます。

### ■ USIMリストに通信事業者を追加するには

優先するネットワーク表示画面で[新規ネットワーク]を選択し、(**追加**)を押します。ALLリストから通信事業者を選択して(**選択**)を押し、位置(優先順位)を入力します。

### ■ 通信事業者の優先順位を変更するには

優先するネットワーク表示画面で通信事業者を選択して(**選択**)を押し、新しい位置(優先順位)を入力します。

### ■ 通信事業者を消去するには

優先するネットワーク表示画面で通信事業者を選択し、(**機能**)を押します。[ネットワーク消去]を選択して(**選択**)を押し、確認画面で(**はい**)を押します。

# マナーモード

# マナーについて

携帯電話をご使用になるときは、周囲の方への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切りましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気を付けましょう。
- 新幹線や電車の中では、車内のアナウンスや指示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。



**マナーを守るために**

- マナーモード
  電話やメールの着信音、ボタン操作音を鳴らさないよう、ワンタッチで設定できます。
- バイブレータ設定（☞P.9-3）
  電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに振動でお知らせします。
- 着信音量（☞P.9-2）
  電話がかかってきたときの音を鳴らさないよう設定できます。
- メール着信音（☞P.9-3）
  メールを受信したときの音を鳴らさないよう設定できます。
- モード設定（☞P.15-15）
  運転中や会議中などの状況に合わせて着信音や着信音量などを設定できます。

# マナーモード設定

## マナーモードを設定／解除する

お買い上げ時 OFF

**1 待受画面で[#]を長く（1秒以上）押す**

画面に「[マナー]」が表示され、マナーモードが設定されます。

■ **マナーモードを解除するには**

マナーモード設定中に[#]を長く（1秒以上）押します。「[マナー]」が消え、マナーモードが解除されます。

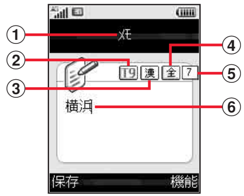
注意
- マナーモードを設定しても、アラーム音やカメラのシャッター音は鳴ります。また、動画やサウンドファイルなどの再生操作を行った場合にも鳴動しますのでご注意ください。

# 文字の入力方法

# 文字入力について

802SEではひらがなや漢字、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。文字の入力方式には「かな入力方式」と「T9™ 入力方式」の2種類があります。

## ■ 文字入力画面の見かた




① 文字入力中の機能名
② 文字入力方式（☞P.4-3）
　T9：T9入力方式
　表示なし：かな入力方式
③ 文字入力モード（☞P.4-3）
　漢：漢字・ひらがなモード
　全カ 半カ：カタカナモード
　Aa a A：英数字モード
　123：数字モード
④ 全角／半角表示（英数字モード／数字モード時）
　全：全角
　半：半角
⑤ 残り文字数
　入力可能な文字数が少なくなると表示されます。
⑥ 入力中の文字とカーソル

# 入力言語を設定する

お買い上げ時　すべて

文字入力で使用する言語を設定します。文字入力画面では、ここで設定した言語を切り替えながら文字を入力します。

**1 メインメニューから［（設定）］→［（全般）］→［Language］→［文字入力言語］を選択**

**2 言語を選択**

- 設定を解除するときは、［－］（マーク解除）を押します。再び設定するときは、［－］（**マーク**）を押します。

**3 ［－］（保存）**

## ■ 文字入力中に言語を切り替える

**1 文字入力画面で［－］（機能）→［入力文字タイプ］を選択**

**2 言語を選択**

補足
- 文字入力画面で［#］を長く（1秒以上）押しても入力言語を切り替えられます。

4 文字の入力方法

# 文字入力方式

お買い上げ時　かな入力方式

文字の入力方式は「T9入力方式」と「かな入力方式」の2種類から選択します。

- T9入力方式
  文字が割りあてられているボタンを1回ずつ押し、表示された候補から目的の語句を選択する方式です。押されたボタンから語句を予測するため、少ないボタン操作で文字を入力できます。
- かな入力方式
  目的の文字が表示されるまで、文字が割りあてられているボタンを繰り返し押す方式です。

**1 文字入力画面で[ー](機能)→[入力方式:T9]を選択**

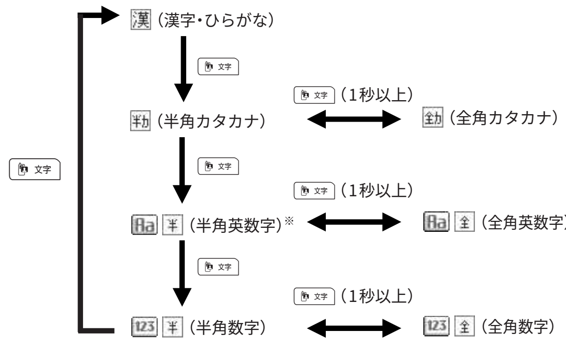
**2 [ON]/[OFF]を選択**

**[ON]**:T9入力方式
**[OFF]**:かな入力方式
[ON]を選択すると、文字入力画面に「T9」が表示されます。

補足
- 文字入力画面で[＊ a/A ゛゜]を長く(1秒以上)押しても入力方式を切り替えられます。
- 数字モードのときは、入力方式を切り替えられません。

# 文字入力モード

文字入力画面で[文字]を押すと、入力モードが切り替わります。また、[文字]を長く(1秒以上)押すと、全角/半角が切り替わります。
機能によっては選択できない入力モードもあります。




※:英数字モードでは、[＊ a/A ゛゜]を押して大文字/小文字を切り替えられます。
Aa(大小英数字):最初の文字だけ大文字で入力
a(小文字英数字):すべて小文字で入力
A(大文字英数字):すべて大文字で入力

補足
- 文字入力画面で[ー](**機能**)→[全角]/[半角]を選択しても全角/半角を切り替えられます。

## ダイヤルボタンの割りあて

各ボタンには複数の文字や記号、機能が割りあてられています。

| 文字入力モード／ボタン | 漢字・ひらがな | カタカナ（全角／半角） | 大文字英数字（全角／半角） | 小文字英数字（全角／半角） | 数字（全角／半角） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 あ@ | あいうえお<br>ぁぃぅぇぉ | アイウエオ<br>ァィゥェォ | ．，－？！’@：；／（）1<br>長押し：1 | | 1 |
| 2 か ABC | かきくけこ | カキクケコ | ABCÅÄÆàÇ2Γ<br>長押し：2 | abcåäæàç2Γ<br>長押し：2 | 2 |
| 3 さ DEF | さしすせそ | サシスセソ | DEFèÉ3ΔΦ<br>長押し：3 | defèé3ΔΦ<br>長押し：3 | 3 |
| 4 た GHI | たちつてと<br>っ | タチツテト<br>ッ | GHIì4<br>長押し：4 | ghiì4<br>長押し：4 | 4 |
| 5 な JKL | なにぬねの | ナニヌネノ | JKL5Λ<br>長押し：5 | jkl5Λ<br>長押し：5 | 5 |
| 6 は MNO | はひふへほ | ハヒフヘホ | MNOÑÖØò6<br>長押し：6 | mnoñöøò6<br>長押し：6 | 6 |
| 7 ま PQRS | まみむめも | マミムメモ | PQRSß7ΠΣ<br>長押し：7 | pqrsß7ΠΣ<br>長押し：7 | 7 |
| 8 や TUV | やゆよ<br>ゃゅょ | ヤユヨ<br>ャュョ | TUVÜù8<br>長押し：8 | tuvüù8<br>長押し：8 | 8 |
| 9 ら WXYZ | らりるれろ | ラリルレロ | WXYZ9<br>長押し：9 | wxyz9<br>長押し：9 | 9 |
| 0 わ | わをん<br>ゎー、。 | ワヲン<br>ー、。 | ＋0ΘΞΨΩ<br>長押し：0 | | 0<br>長押し：＋<br>※1 |
| ＊ a/A ゛゜<br>※2 | だく点（゛）　半だく点（゜）<br>、。？！…（）「」<br>長押し：文字入力方式の切り替え | | 大文字／小文字の切り替え | | ＊※1<br>長押し：p<br>※1 |
| # | ↵（改行）　□（スペース）　¶（改段落）<br>長押し：入力言語の切り替え | | | | #※1<br>長押し：入力言語の切り替え |

| 文字入力モード／ボタン | 漢字・ひらがな | カタカナ（全角／半角） | 大文字英数字（全角／半角） | 小文字英数字（全角／半角） | 数字（全角／半角） |
|---|---|---|---|---|---|
| 消去 | 短押し：カーソルの左側の1文字を消去<br>長押し：カーソルの左側の文字をすべて消去 | | | | |
| 文字 | 文字入力モードの切り替え | 短押し：文字入力モードの切り替え<br>長押し：全角／半角の切り替え | | | |
| ＋ | ー | | ※3 | | ー |
| － | ー | | ※4 | | ー |

■：入力言語に［英字］／［スペイン語］／［ポルトガル語］を選択したときのみ

※1：電話番号入力時のみ

※2：ひらがなやカタカナの「あ」「い」「う」「え」「お」を表示させているときに［＊］を押すと、「ヴ」を入力できます。

※3：［＋］を長く（1秒以上）押し［0］～［9］、［#］を押すと、そのボタンの2番目に割りあてられている文字を入力できます。
例：［＋］（1秒以上）＋［2］→Bが入力される

※4：［－］を長く（1秒以上）押し［0］～［9］、［#］を押すと、そのボタンの3番目に割りあてられている文字を入力できます。
例：［－］（1秒以上）＋［2］→Cが入力される

4 文字の入力方法

# 文字の入力方法

## 漢字／ひらがな／カタカナを入力する

### ■ T9入力方式で入力する

文字入力画面に「T9」が表示されていないときは、T9入力方式に切り替えてください（☞P.4-3）。

例：「楽しみにしています。」と入力する場合

**1 文字入力画面で[4 たGHI]（た）→[5 なJKL]（な）→[3 さDEF]（さ）→[7 まPQRS]（ま）**

1文字入力するたびに候補が表示されます。




[4 たGHI][5 なJKL]を押したとき




[3 さDEF][7 まPQRS]を押したとき

**2 [◎]→[◎]で「楽しみ」を選択→[●]（✓）**

予測変換切替が［ON］に設定されているときは、次の語句の候補が予測表示されます（☞P.4-8）。

**3 [5 なJKL]（な）**

- 「に」以外の文字が入力されたときは、[－]（**読み**）を押すと[5 なJKL]に割りあてられている文字が画面右上に表示されます。[－]または[◎]で「に」を選択してください。

**4 [●]（✓）**

**5 [3 さDEF]（さ）→[4 たGHI]（た）→[1 あ@]（あ）→[7 まPQRS]（ま）→[3 さDEF]（さ）**

- 「しています」以外が入力されたときは、[◎]→[◎]で表示された候補から目的の語句を選択してください。

**6 [●]（✓）**

**7 [＊ a/A ゛゜]（2回）**

「。」が入力されます。

## かな入力方式で入力する

文字入力画面に「T9」が表示されているときは、かな入力方式に切り替えてください（☞P.4-3）。

例：「横浜マップ」と入力する場合

**1 文字入力画面で[8 やTUV]（3回）**




ボタンを押すと、割りあてられている文字が画面右上に表示されます。また、画面下には漢字変換候補が表示されます。

- 入力途中でボタンを押さずに一定時間が経過すると、画面右上の表示が消え、次の文字が入力できるようになります。確定前の文字を訂正したいときは、[ー]（**読み**）を押すと割りあてられている文字が再び表示されます。[ー]または◎で目的の文字を選択してください。

**2 [2 かABC]（5回）→[6 はMNO]（1回）→[7 まPQRS]（1回）**

「よこはま」の漢字変換候補が表示されます。

**3 ◎→◎で「横浜」を選択→◎（✓）**

予測変換切替が［ON］に設定されているときは、次の語句の候補が予測表示されます（☞P.4-8）。

**4 [文字]**

カタカナモードになります。

- 全角／半角を切り替えるには[文字]を長く（1秒以上）押します。

**5 [7 まPQRS]（1回）→[4 たGHI]（6回）→[6 はMNO]（3回）→[＊ a/A ゛゜]（2回）**

**6 ◎（✓）**

## 文節の区切りを変更する

目的の漢字に変換されないときは、文節の区切り位置を変更して変換し直します。

例：「よこはまかんこう」を「よこはま」と「かんこう」に区切って「横浜観光」と入力する場合

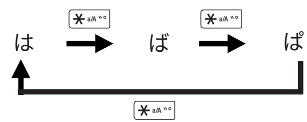
**1 「よこはまかんこう」と入力した状態で、◎で「ま」のうしろにカーソルを移動**

**2 ◎→◎で「横浜」を選択→◎（✓）**

**3 ◎→◎で「観光」を選択→◎（✓）**

## だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

だく点や半だく点を付けたい文字を入力し、[＊ a/A ゛゜]を押します。




**補足**

- 半角カタカナのだく点や半だく点は半角1文字分として表示されます。

## 英数字を入力する

英数字モードで入力します。入力する文字が数字だけの場合は、数字モードに切り替えるとすばやく入力できます。

例：T9入力方式で「Sun」と入力する場合

**1 文字入力画面で[7まPQRS][8やTUV][6はMNO]**

・「Sun」以外の語句が入力されたときは、[◎]→[◎]で表示された候補から目的の語句を選択してください。




■ **全角／半角を切り替えるには**

[文字]を長く（1秒以上）押します。アイコンが[全]（全角）／[半]（半角）に切り替わります。

■ **すべて大文字／小文字で入力するには**

[Aa]（大小英数字モード）で入力すると、最初の1文字が自動的に大文字になります。[＊a/A]を押すと[Aa]（大小英数字モード）→[a]（小文字英数字モード）→[A]（大文字英数字モード）の順に切り替わります。

## 記号／絵文字などを入力する

### 記号を入力する

**1 文字入力画面で[記号/絵]**

**2 [◎]で記号を選択→[−]（挿入）**

■ **全角／半角を切り替えるには**

記号一覧画面で[−]（**全角／半角**）を押します。

**補足**

- 文字入力画面で[−]（**機能**）→[記号]を選択しても記号を入力できます。
- 漢字・ひらがなモードで「きごう」と入力して変換させると、一部の記号を入力できます。同様に「かお」と入力して変換させると、顔文字も入力できます。
- 数字モードでは記号を入力できません。
- 「記号一覧」（☞P.29-9）

### 絵文字を入力する

**1 文字入力画面で[記号/絵]（2回）**

**2 [◎]で絵文字を選択→[−]（挿入）**

**補足**

- 文字入力画面で[−]（**機能**）→[絵文字]を選択しても絵文字を入力できます。
- 「絵文字一覧」（☞P.29-10）

■ スペースを入力する

〔方向キー〕を押すか、〔#〕を2回押します。

補足
- 文字が確定していない状態で〔#〕を2回押すと、文字が確定してスペースが入力されます。
- 数字モードではスペースを入力できません。

■ 改行する

〔#〕を押します。文末の場合は〔方向キー下〕を押しても改行できます。

# 文字の変換機能

## 予測変換を利用する

お買い上げ時 ON

予測変換とは、入力された文字に続く語句を予測して表示する機能です。表示された候補から語句を選択すると、続けて次の語句も予測表示されるため、次々に語句を選択してすばやく文章を作成できます。

例:「変更です」と入力する場合

「変更」と入力して確定 →




「変更」に続く語句が予測表示される

→




「です」を選択して〔方向キー〕（✓）

補足
- 予測表示を終了するときは〔戻る〕を押します。

■ 予測変換をON／OFFにする

**1** 文字入力画面で〔ー〕(機能)→[予測変換切替]を選択

**2** [ON]／[OFF]を選択

4 文字の入力方法

**T9入力方式と予測変換のちがい**

T9入力方式では、押されたボタンに割りあてられている文字の組み合わせから語句を予測して候補を表示します。例えば、6文字の語句を入力するにはボタンを6回押します。
予測変換では、入力された文字に続く語句を予測して候補を表示します。目的の語句が候補に表示されている限り、語句を選択するだけで文字を次々と入力できます。

## 一度入力した語句を利用する

一度入力した語句は、最初の1～2文字を入力して［ー］（**予測**）を押すと予測候補として呼び出せます。

## かな入力方式でカナ英数字変換を利用する

ひらがな・漢字モードのまま、カタカナや英数字を入力できます。入力したいカタカナや英数字に割りあてられているボタン（☞P.4-4）を必要な回数だけ押してから変換します。

例：「集合PM1時」と入力する場合

**1** **「集合」と入力して確定したあと［7ま PQRS］（1回）→［6は MNO］（1回）→［文字］**




**2** **「PM」を選択**

**3** **［1あ@］→［文字］**

**4** **「1」を選択→「時」を入力**

**補足**

- 同じボタンに割りあてられた文字を続けて入力するときは、1文字ずつ選択して確定します。
  例：「TV」と入力する場合
  ［8や TUV］（**1回**）→［文字］→「T」を選択→［8や TUV］（**3回**）→［文字］→「V」を選択

## T9入力方式で漢字変換候補を一覧表示する

T9入力方式で表示される候補の中に目的の漢字がないときは、漢字変換候補を一覧表示させて選択します。

例：「創る」と入力する場合

**1** **［4た GHI］［2か ABC］［9ら WXYZ］**

**2** **［◎］→［◎］で「つくる」を選択→［ー］（変換）**




**3** **「創る」を選択**

4

文字の入力方法

## T9の候補表示をON／OFFにする

英数字モード時は、T9入力方式で語句の候補を表示するかどうかを設定できます。

**1 文字入力画面で[ー](機能)→[T9候補表示]を選択**

**2 [ON]／[OFF]を選択**

[ON]：1文字入力するたびに語句の候補を表示
[OFF]：文字を入力して◎を押すと、語句の候補を表示
目的の語句が表示されるまで◎を押します。



## よく使う言葉を登録する

英数字モード時は、よく使う語句をT9の辞書に登録できます。登録すると、次にT9入力方式で入力したときの候補に表示されます。また、登録した語句を編集することもできます。

**1 文字入力画面で[ー](機能)→[単語登録]を選択**

**2 語句を入力→[ー](挿入)**

### ■ 登録した語句を編集する

**1 文字入力画面で[ー](機能)→[マイワード]を選択**

**2 語句を選択→[ー](編集)**

**3 語句を修正→[ー](挿入)**

**■ 登録した語句を消去するときは**

マイワード画面で語句を選択し、[ー](**消去**)を押します。

# 文字の編集

## 入力した文字を修正する

修正する文字の右側にカーソルを移動し、[消去]を押して文字を消去したあと、正しい文字を入力します。

## 文字を消去する

消去する文字の右側にカーソルを移動して[消去]を押すと、1文字消去されます。[消去]を長く(1秒以上)押すと、カーソルの左側にある文字が順にすべて消去されます。

# 電話帳

# 電話帳の登録

802SEには、本体メモリに登録する本体電話帳と、USIMカードに登録するUSIM電話帳があります。電話帳には、電話番号やメールアドレスなどを登録できます。登録したデータを利用して電話をかけたりメールを送信したりできます。

- 本体の電話帳には最大500件の電話番号を画像や着信音などとともに登録できます。
- 本体の電話帳からUSIMカードの電話帳に、またはUSIMカードから本体の電話帳に登録した電話帳データをコピーできます。
- USIMカードの電話帳に登録した電話帳データは携帯電話を交換してもそのまま利用できます。
- 初めて電話帳を開いたときは、USIMカードの情報を本体にコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

**大切なデータを失わないために**

電話帳に登録した電話番号や名前などは、電池パックを長い間取り外したままにしたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳の内容などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、電話帳の内容などが消失または変化した場合の損害および損失利益につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 電話帳に登録できる項目

### ■ 802SEの電話帳(本体電話帳)

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 名前 | 全角、半角とも30文字以内<br>• 名前を入力しないと電話帳に登録できません。 |
| ヨミ | 半角30文字以内<br>• 名前を入力しないと設定できません。 |
| 新規番号 | [ (携帯)]、[ (自宅)]、[ (勤務先)]、[ (FAX)]、[ (その他)]の電話番号5件を入力<br>80桁以内 |
| メールアドレス | 半角50文字以内 |
| URL | 半角120文字以内 |
| 指定画像 | 電話をかけたときやかかってきたときに表示する画像を設定 |
| 指定着信音 | 電話がかかってきたときの着信音を設定 |
| 音声コマンド | 音声で電話をかけたり受けたりできる音声コマンドを設定(☞P.15-4)<br>• 電話番号を入力しないと設定できません。 |
| 役職 | 全角、半角とも15文字以内 |
| 会社 | 全角、半角とも30文字以内 |
| 郵便番号 | 全角、半角とも25文字以内 |
| 国 | 全角、半角とも25文字以内 |
| 都道府県 | 全角、半角とも25文字以内 |
| 市町村 | 全角、半角とも25文字以内 |
| 番地 | 全角、半角とも25文字以内 |
| 位置 | 位置情報を表示 |
| メモ | 全角、半角とも50文字以内 |

## USIMカードの電話帳（USIM電話帳）

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 名前 | 全角、半角とも16文字以内 |
| 電話番号 | 80桁以内<br>• 電話番号を入力しないと電話帳に登録できません。 |

補足
• " メモリースティック Duo "には電話帳データを登録したり、コピーしたりできません。

**電話帳を切り替えるには**

お買い上げ時 本体

通常使用する電話帳を設定します。設定した電話帳に電話帳データを登録したり、検索したりできます。802SE（本体）の電話帳に設定したときは、USIMカードの電話帳に一時的に切り替えて、電話をかけたり、新規登録／編集したりすることもできます。

**1 メインメニューから[ （電話帳）]→[ 機能]→[その他機能]→[電話帳選択]を選択**

**2 [本体]／[USIM電話帳]を選択**

**■ 本体の電話帳に設定中、一時的にUSIMカードの電話帳に切り替えるには**

メインメニューから[ （電話帳）]→[ 機能]→[USIM電話帳]を選択

• 本体の電話帳に戻すときは戻るを押します。

# 電話帳に登録する

## 802SE（本体）の電話帳に電話帳データを登録する

電話帳選択を[USIM電話帳]に設定しているときは、本体の電話帳に切り替えてください。

**1 メインメニューから[ （電話帳）]→[ 新規登録]を選択**

**2 でタブを選択→項目を選択→[ー]（追加／編集）**

**3 各項目を設定**

| タブ | 項目 | 操作 |
|---|---|---|
| | 名前 | 名前を入力→[ー]（OK） |
| | ヨミ | 名前を入力すると自動的に設定されます。修正することもできます。 |
| | 新規番号 | 電話番号を入力→[ー]（OK）→電話番号の種別を選択<br>• [ー]（**検索**）を押すと、すでに電話帳に登録されている電話番号から選択できます。 |
| @ | メールアドレス | メールアドレスを入力→[ー]（OK） |
| | URL | URLを入力→[ー]（OK） |
| | 指定画像 | 画像を選択 |
| | 指定着信音 | 着信音を選択<br>• [ー]（**再生**）を押すと、着信音が再生されます。 |

| タブ | 項目 | 操作 |
| --- | --- | --- |
|  | 音声コマンド | 電話番号の種別を選択→[—](**追加**)→発信音のあとに音声コマンドを録音→[—](**はい**)<br>• 音声コマンドを録音し直す場合は、[—](**いいえ**)を押してください。 |
|  | 役職 | 役職を入力→[—](**OK**) |
|  | 会社 | 会社名を入力→[—](**OK**) |
|  | 郵便番号 | 郵便番号を入力→[—](**OK**) |
|  | 国 | 国名を入力→[—](**OK**) |
|  | 都道府県 | 都道府県名を入力→[—](**OK**) |
|  | 市町村 | 市町村名を入力→[—](**OK**) |
|  | 番地 | 番地を入力→[—](**OK**) |
|  | 位置 | (受信した電話帳データに位置情報が登録されている場合に表示されます。) |
|  | メモ | メモを入力→[—](**OK**) |

**4 [—](保存)**

**補足**

- 名前を入力しないと、本体の電話帳には登録できません。
- ヨミを入力しないで保存すると、電話帳は50音順に表示されません。
- 電話番号を入力しないと音声コマンドは設定できません。

## ■ USIMカードの電話帳に電話帳データを登録する

電話帳選択を[本体]に設定しているときは、USIMカードの電話帳に切り替えてください(☞P.5-3)。

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→[ 新規登録]を選択**

**2 項目を選択→[—](追加)**

**[名前]**:名前を入力→[—](**OK**)

**[電話番号]**:電話番号を入力→[—](**OK**)

- [—](**検索**)を押すと、すでに本体の電話帳に登録されている電話番号を選択できます。

**3 [—](保存)**

### 電話帳データを自動的にUSIMカードに保存するには

お買い上げ時 OFF

本体の電話帳に電話帳データを登録すると、自動的にUSIMカードにも保存するよう設定できます。

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→[ 機能]→[その他機能]→[USIM自動保存設定]を選択**

**2 [ON]を選択**

5 電話帳

## リダイヤル(発信履歴)／着信履歴の電話番号を登録する

リダイヤル(発信履歴)／着信履歴に記録された電話番号を電話帳に登録できます。

**1 リダイヤル(発信履歴)／着信履歴の電話番号を選択**

- 「リダイヤル(発信履歴)／着信履歴の確認」(☞P.2-10)

**2 [−](機能)→[電話帳登録]を選択**

**3 [新規登録]を選択**

- 本体の電話帳に登録する場合は、[◎]で電話番号の種別も選択します。
- すでに登録されている電話帳データに追加で登録するときは、追加する電話帳データを選択します。

**4 各項目を設定→[−](保存)**

- 「電話帳に登録する」(☞P.5-3)

### ■ 通話後に相手の電話番号を登録する

お買い上げ時 OFF

通話を終えたときに、相手の電話番号を電話帳に登録できます。

**1 メインメニューから[(電話帳)]→[機能]→[その他機能]→[登録確認設定]を選択**

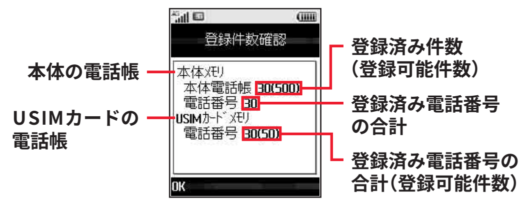
**2 [ON]を選択**

- [ON]に設定すると、通話後に確認画面が表示されます。[−](**はい**)を押すと、電話帳に登録できます。

## 電話帳の登録件数を確認する

本体とUSIMカードの電話帳に登録されている電話番号の件数を表示します。

**1 メインメニューから[(電話帳)]→[機能]→[その他機能]→[登録件数確認]を選択**




5 電話帳

# グループ設定

本体の電話帳にグループを作成すると、複数の相手へ一度にSMSやMMSを送信できます(☞P.19-2、19-6)。グループには名前を付けられます。

- あらかじめ、本体の電話帳に電話番号やメールアドレスを登録しておく必要があります。

## グループを登録する

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→[ 機能]→[グループ設定]→[グループ追加]を選択**

**2 グループ名を入力→[ー](OK)**

- 全角、半角とも15文字以内で入力します。

**3 [新規登録]を選択→[ー](追加)→電話帳データを選択**

- 1件の電話帳データに複数の電話番号を登録している場合は、で電話番号を選択します。
- 操作3を繰り返して、複数の電話帳データを同じグループに登録します。

**4 [ー](OK)**

補足

- 電話帳選択(☞P.5-3)を[USIM電話帳]に設定している場合は、グループを作成できません。

## グループを編集/消去する

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→[ 機能]→[グループ設定]を選択**

**2 グループを選択**

### ■ グループ名を変更するには

[ー](**機能**)→[編集]を選択→グループ名を入力→[ー](**保存**)

### ■ グループを消去するには

[ー](**機能**)→[消去]を選択→[ー](**はい**)

### ■ グループに電話帳データを追加するには

[ー](**編集**)→電話帳データを追加

- 「グループを登録する」操作3〜4

### ■ グループから電話帳データを消去するには

[ー](**編集**)→電話帳データを選択→[ー](**消去**)→[ー](**はい**)→[ー](OK)

5 電話帳

# 電話帳の利用

## 電話帳から電話をかける

**1 メインメニューから[ （電話帳）]を選択**

**2 電話帳データを選択**

- １件の電話帳データに複数の電話番号を登録している場合は、で電話番号を選択します。

**3 （発信）**

- TVコールをかける場合は、文字を押します。（**機能**）を押して[TVコール]を選択しても、TVコールをかけられます。

### 電話帳を検索するには

５０音順に並んでいる本体またはUSIMカードの電話帳から、ヨミを入力して検索できます。

**1 メインメニューから[ （電話帳）]を選択**

**2 検索する文字を入力**

入力した文字で始まる電話帳データが1件選択されます。電話帳に一致するデータがない場合は、５０音順で次の文字で始まる電話帳データが選択されます。

### 電話帳データの電話番号を編集してから電話をかけるには

電話帳に登録した電話番号に、１８４や１８６などを付加して電話をかけることができます。

**1 メインメニューから[ （電話帳）]を選択**

**2 電話帳データを選択→（機能）→[発番号編集]を選択**

**3 電話番号を編集→（発信）**

補足 ・電話帳データは変更されません。

5

電話帳

## スピードダイヤルを利用して電話をかける

ダイヤルボタン(1～9)に電話帳の電話番号を割りあてると、すばやく電話をかけられます。本体とUSIMカードの電話帳からそれぞれ9件ずつスピードダイヤルを登録できます。

### スピードダイヤルに登録する

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→[ 機能]→[スピードダイヤル]を選択**

**2 [1]～[9]を選択→(追加)**

- 登録したスピードダイヤルを変更する場合は、(**変更**)を押します。

**3 電話番号を選択**

- 電話帳データに複数の電話番号を登録している場合は、で電話番号を選択します。

### スピードダイヤルで電話をかける

**1 待受画面で1～9→(発信)**

補足

- スピードダイヤルの登録画面から登録したスピードダイヤルを選択し、(**発信**)を押しても電話をかけられます。

## 自分の情報をオーナー情報に登録する

自分の電話番号、メールアドレスなどの情報をオーナー情報に登録して、MMSやBluetooth通信、赤外線通信などで他の携帯電話やパソコンなどに送信できます。オーナー情報には本体の電話帳(☞P.5-2)と同じ項目を登録できます。

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→[ 機能]→[オーナー情報]を選択**

**2 各項目を設定**

- 「８０２ＳＥ(本体)の電話帳に電話帳データを登録する」(☞P.5-3)操作2～4

5 電話帳

## オーナー情報を送信／編集／消去する

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→[ 機能]→[オーナー情報]を選択**

**■ オーナー情報を送信するには**

[オーナー情報送信]→送信方法を選択

・「電話帳データを送信する」(☞P.5-10)操作2

**■ オーナー情報を編集するには**

[オーナー情報編集]を選択→各項目を設定

・「電話帳を修正する」(☞P.5-11)操作3～4

**■ オーナー情報を消去するには**

[オーナー情報消去]を選択→[－](**はい**)

## 受信したオーナー情報を電話帳に登録する

相手のオーナー情報を受信すると、電話帳に追加するかどうかの確認画面が表示されます。

**1 確認画面で[－](はい)**

# 電話帳の登録内容をコピーする

本体の電話帳データをUSIMカードにコピーしたり、USIMカードの電話帳データを本体にコピーしたりできます。また、Bluetooth通信や赤外線通信などで電話帳データを送信できます。

## USIMカードにコピーする

本体の電話帳データをUSIMカードの電話帳にコピーします。

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→[ 機能]→[その他機能]→[USIMカードにコピー]を選択**

**2 [全件コピー]／[1件コピー]を選択**

- 全件コピーを行うと、USIMカードの電話帳に登録されていた内容がすべて上書きされます。

補足

・本体の電話帳からUSIMカードの電話帳にコピーするとき、USIMカードの電話帳の名前にコピー元の電話番号の種別を示す「/M」(携帯)、「/H」(自宅)、「/W」(勤務先)、「/F」(FAX)、「/O」(その他)が付加されます。

・コピー元の名前が全角、半角とも16文字を超えた場合は、名前の末尾が超過分消去されます。

・電話番号を登録していない電話帳データはコピーできません。

## USIMカードからコピーする

USIMカードの電話帳データを本体の電話帳にコピーします。

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→[ 機能]→[その他機能]→[USIMカードからコピー]を選択**

**2 [全件コピー]/[1件コピー]を選択**

補足

- 名前の末尾に「/M」、「/H」、「/W」、「/F」、「/O」が付いたUSIMカードの電話帳データをコピーすると、それぞれ本体の電話帳の[ (携帯)]、[ (自宅)]、[ (勤務先)]、[ (FAX)]、[ (その他)]に電話番号が登録されます。
- 名前を登録していない電話帳データをコピーすると、電話番号が名前に設定されます。

## 電話帳データを送信する

本体の電話帳に登録されている電話帳データをSMSやMMS、Bluetooth通信、赤外線通信など他の携帯電話やパソコンなどに送信できます。

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→電話帳データを選択**

**2 [ー](機能)→[1件送信]を選択**

**[MMS]**:☞P.19-6
**[SMS]**:☞P.19-2
**[Bluetoothを使用]**:☞P.13-6
**[赤外線を使用]**:☞P.13-3

### ■ 電話帳データを全件送信するには

メインメニューから[ (電話帳)]→[ 機能]→[その他機能]→[全件送信]→送信方法を選択

- SMS/MMSで全件送信はできません。

補足

- 電話帳選択(☞P.5-3)を[USIM電話帳]に設定している場合は、コピーしたり送信したりできません。

# 電話帳の編集

## 電話帳の表示を変更する

### ■ 選択時に表示する項目を設定する

お買い上げ時 | (携帯)

電話帳で電話帳データを選択すると、名前の下に登録した電話番号やメールアドレス、URLが表示されます。電話帳データを選択したときに、最初に表示される項目を設定できます。

**1 メインメニューから[ (電話帳)]を選択**

**2 電話帳データを選択→[−](機能)→[優先表示設定]を選択**

**3 項目を選択**

補足

- 電話番号、メールアドレス、URLのうち1件しか登録されていない電話帳データは設定できません。
- 電話帳選択(☞P.5-3)を[USIM電話帳]に設定している場合は、表示を変更できません。

### ■ 名前の表示を設定する

お買い上げ時 | 名

パソコンなどの電話帳データを802SEに転送する場合、「,」などで区切られている姓と名の表示順を変更できます。

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→[ 機能]→[その他機能]→[同期設定]を選択**

**2 [名]／[姓]を選択**

選択した項目が先に表示されます。

## 電話帳を修正する

### ■ 本体の電話帳を修正する

電話帳選択を[USIM電話帳]に設定しているときは、本体の電話帳に切り替えてください(☞P.5-3)。

**1 メインメニューから[ (電話帳)]を選択**

**2 電話帳データを選択→[−](機能)→[連絡先編集]を選択**

**3 でタブを選択→項目を選択→[−](追加)／(編集)**

- 指定画像、指定着信音、音声コマンドを変更するときは、操作3のあと、[指定画像変更]／[指定着信音変更]／[音声コマンド変更]を選択します。
- 指定画像、指定着信音、音声コマンドを消去するときは、操作3のあと、[指定画像解除]／[指定着信音解除]／[音声コマンド解除]を選択します。

**4 各項目を設定**

- 「８０２ＳＥ(本体)の電話帳に電話帳データを登録する」(☞P.5-3)操作3～4

### USIMカードの電話帳を修正する

電話帳選択を[USIM電話帳]に設定しているときは、本体の電話帳に切り替えてください(☞P.5-3)。

**1 メインメニューから[ (電話帳)]を選択**

**2 電話帳データを選択→[－](機能)→[編集]を選択**

**3 各項目を設定**

- 「USIMカードの電話帳に電話帳データを登録する」(☞P.5-4)操作2～3

## 電話帳を消去する

### 電話帳データを1件消去する

**1 メインメニューから[ (電話帳)]を選択**

- USIMカードの電話帳データを消去するときは、USIMカードの電話帳に切り替えてください(☞P.5-3)。

**2 電話帳データを選択→[－](機能)→[1件消去]を選択→[－](はい)**

### 本体の電話帳に登録したすべての電話帳データを消去する

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→[機能]→[その他機能]→[全件消去]を選択**

**2 [－](はい)→操作用暗証番号を入力→[－](OK)**

補足

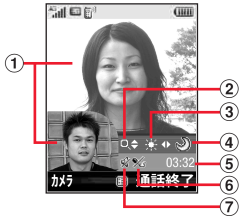
- 電話帳選択(☞P.5-3)を[USIM電話帳]に設定している場合は、全件消去はできません。

# TVコール

# TVコールをご利用になる前に

TVコールとは、TVコール対応のボーダフォン携帯電話どうしなどでお互いの画像を見ながら通話できる機能です。

### ■ TVコール通話中の画面表示




① 相手／自分の画像
② ズーム倍率表示
　：標準
　2×：2倍
　4×：4倍
③ 明るさ表示
　：標準
　＋1、＋2：明るい
　－1、－2：暗い
④ 夜景モード表示
　：夜景モード ON
⑤ 通話時間表示
⑥ マイクON／OFF表示
　：マイクOFF
⑦ スピーカON／OFF表示
　：スピーカOFF

注意 • カメラの使いかたについては「カメラ利用時のご注意」（☞P.7-2）をご参照ください。

## デモモードで設定を確認する

TVコールをかけたり受けたりする前に、画像や機能を確認できます。

**1 待受画面で［文字］**

TVコールが起動し、画面の左下にもう一つ小さな画面が表示されます。カメラのレンズの向きを調節して自分の画像を表示させます。デモ画像（☞P.6-6）を［ON］に設定している場合は、相手の画像の代わりとして、あらかじめ登録されているデモ画像も画面に表示されます。

• （）を押すとサブメニューが表示され、いろいろな機能を設定できます（☞P.6-4）。

# TVコールをかける

**1 待受画面で電話番号を入力→[文字]**

接続確認音が鳴り、相手につながるとお互いの画像が映り、通話できます。

相手の画像は大きく、自分の画像は左下に小さく表示されます。

- 相手と自分の画像の表示位置は切り替えられます（☞P.6-5）。

**2 通話を終了するときは[－]（通話終了）**

**補足**

- 次の操作を行っても、TVコールをかけられます。
  待受画面で[文字]→電話番号を入力、または[－]（**通話...**）を押して電話帳や履歴を選択→[－]（**発信**）
- TVコールに対応していないボーダフォン携帯電話などにかけたときは、音声通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。[－]（**はい**）を押すと、音声電話がかかります。
- 相手のボーダフォン携帯電話によっては、相手の画像が小さく表示されることがあります。また、相手側の設定によって、相手の画像が送信されてこないことがあります。

# TVコールを受ける

**1 TVコールがかかってくると、「TVコールに応答しますか?」と表示→[－]（はい）**

**2 通話を終了するときは[－]（通話終了）**

**補足**

- かかってきたTVコールを転送できます（☞P.16-3）。

# TVコールの各種設定

TVコールの起動中や通話中に次の設定ができます。TVコール通話中に次の設定を行った場合は、TVコールを終了すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

| 機能 | | 概要 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| ズーム設定 | | ズームの倍率を設定 | 6-4 |
| 明るさ設定 | | 自分の画像の明るさを調節 | 6-4 |
| スピーカON／スピーカOFF※ | | 相手の音声をON／OFF | 6-4 |
| マイクON／マイクOFF※ | | 自分の音声をON／OFF | 6-5 |
| 表示画面切替 | | 自分と相手の画像を切り替え | 6-5 |
| 小画面表示／小画面非表示 | | 左下の小さい画像をON／OFF | 6-5 |
| 夜景モード | | 夜景モードをON／OFF | 6-5 |
| 電話帳※ | | 電話帳を表示 | 6-5 |
| 詳細設定 | 代替画像 | 自分の画像以外の画像を相手に送信 | 6-5 |
| | 応答設定 | 自分の画像の送信／非送信を設定 | 6-6 |
| | カメラ画質 | 画質を3段階で設定 | 6-6 |
| | 画像ミラーリング | 自分の画像を鏡表示に設定 | 6-6 |
| | サウンド転送※ | 接続したBluetooth通信対応ハンズフリー機器に音声を転送 | 6-6 |
| | デモ画像 | デモ画像をON／OFF | 6-6 |

※：通話中のみ設定できます。

## ズームを利用する

お買い上げ時 | 標準

自分の画像を2倍または4倍に拡大して送信できます。

**1 TVコール画面で(ズームイン)／(ズームアウト)**

2倍または4倍に設定すると、画面に「2×」または「4×」が表示されます。

## 明るさを調節する

お買い上げ時 | 標準

自分の画像の明るさを5段階で調節できます。

**1 TVコール画面で(明るくする)／(暗くする)**

画面に「＋1」、「＋2」／「－1」、「－2」が表示されます。

## 相手の音声をON／OFFにする

お買い上げ時 | スピーカON

TVコール通話中のみ設定できます。

**1 TVコール画面で()→[スピーカON]／[スピーカOFF]を選択**

[スピーカOFF]に設定すると、画面に「」が表示されます。

## 自分の音声をON／OFFにする

お買い上げ時 マイクON

TVコール通話中のみ設定できます。

**1** **TVコール画面で（）→[マイクON]／[マイクOFF]を選択**

[マイクOFF]に設定すると、画面に「」が表示されます。

補足
- TVコール画面で を長く（1秒以上）押しても自分の音声をOFFに設定できます。

## 自分と相手の画像を切り替える

お買い上げ時 大：相手、小：自分

自分の画像を大きく、相手の画像を画面の左下に小さく表示するよう切り替えられます。

**1** **TVコール画面で（）→[表示画面切替]を選択**

## 小さい画像を表示／非表示にする

お買い上げ時 小画面表示

**1** **TVコール画面で（）→[小画面表示]／[小画面非表示]を選択**

## 暗い場所で通話する（夜景モード）

お買い上げ時 OFF

夜景モードを設定すると、暗い場所にいても画像を送信できます。

**1** **TVコール画面で（）→[夜景モード]を選択**

**2** **[ON]を選択**

画面に「」が表示されます。

## 電話帳を利用する

TVコール通話中に電話帳を表示して利用できます。TVコール通話中のみ表示されます。

**1** **TVコール画面で（）→[電話帳]を選択**

## 代替画像を設定する

お買い上げ時 設定なし

TVコール通話時に自分の画像の代わりにお好みの画像を送信するよう設定できます。

**1** **TVコール画面で（）→[詳細設定]→[代替画像]を選択**

データフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

**2** **画像を選択**

## 自分の画像の送信／非送信を切り替える

お買い上げ時 カメラON

**1** **TVコール画面で◉(☰)→[詳細設定]→[応答設定]を選択**

**2** **[カメラON]／[カメラOFF]を選択**

[カメラOFF]に設定すると、自分の画像の代わりに代替画像(☞P.6-5)で選択した画像が表示されます。

補足

- TVコール通話中は、[ー](**カメラ**)を押しても送信／非送信を切り替えられます。

## 画質を設定する

お買い上げ時 標準

**1** **TVコール画面で◉(☰)→[詳細設定]→[カメラ画質]を選択**

**2** **[スムーズ]／[標準]／[シャープ]のいずれかを選択**

## 自分の画像を鏡表示にする

お買い上げ時 ON

自分の画像を鏡で見たときと同じ映りかたに設定できます。

**1** **TVコール画面で◉(☰)→[詳細設定]→[画像ミラーリング]を選択**

**2** **[ON]を選択**

## サウンドを転送する

Bluetooth通信対応ハンズフリー機器を接続したときに、相手の声をハンズフリー機器から聞こえるよう設定できます。TVコール通話中のみ設定できます。

**1** **TVコール画面で◉(☰)→[詳細設定]→[サウンド転送]を選択**

## デモ画像をON／OFFにする

お買い上げ時 ON

TVコールを起動したとき、相手の画像の代わりにデモ画像を表示できます。

**1** **TVコール画面で◉(☰)→[詳細設定]→[デモ画像]を選択**

**2** **[ON]／[OFF]を選択**

# カメラ

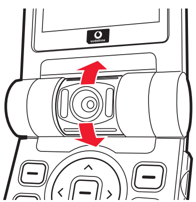
# カメラをご利用になる前に

802SEはデジタルカメラ（静止画撮影）またはデジタルビデオカメラ（動画撮影）として使用できます。撮影した画像は、編集したりメールや待受画面などに使用したりできます。

- 静止画撮影と動画撮影の切り替え：◎／◎

## 撮影前のご注意

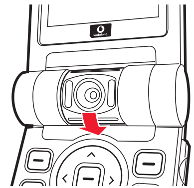
- レンズカバーが指紋や油脂などで汚れていると、ピントが合わなくなります。
  レンズが汚れたら、メガネ用などの柔らかい布でふいてください。強くこするとレンズを傷つける恐れがあります。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。802SEが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置き、セルフタイマ（☞P.7-10）を使用して撮影してください。
- カメラを使用するときは、レンズを回して被写体に向けてください。

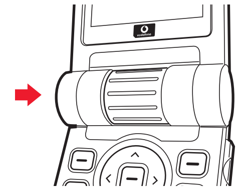


- レンズには可動範囲があります。無理に回すと故障の原因となります。

## カメラ利用時のご注意

- レンズに直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- 802SEを暖かい場所に長時間置いたあとに撮影したり保存したりすると、画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密に作られていますが、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないでください。視力低下などの障害を起こす原因となります。
- マナーモードを設定している場合でもシャッター音は鳴ります。
- カメラを使用しないときは、図のようにレンズを収納ポジションに収納してください。収納しないと、レンズにゴミやホコリ、傷が付く原因となります。また、故障の原因となります。





収納ポジション

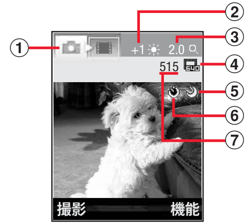
**自動終了について**

802SEを閉じると、自動的にカメラを終了します。動画撮影中に802SEを閉じると、閉じるまでに撮影した動画が自動的に保存されます。
また、カメラ起動中に約5分間何も操作しなかった場合、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

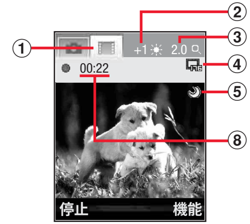
**静止画撮影直後または動画撮影中に電話がかかってきたときは**

撮影した静止画が保存されたあとに着信します。動画撮影中に電話がかかってくると、それまでに撮影した動画が保存されます。ただし、保存が完了し、着信するまでに数秒かかることがあります。

## ■ 画面表示




**静止画撮影時**




**動画撮影時**

① 撮影モード表示
　:静止画撮影モード
　:動画撮影モード

② 明るさ表示
　±:標準
　+1、+2:明るい
　−1、−2:暗い

③ ズーム倍率表示
　:標準
　2.0:2倍
　4.0:4倍

④ 画像サイズ表示(静止画撮影時)
　:大 1280×1024ピクセル
　:中 640×480ピクセル
　:小 160×120ピクセル

　ムービーサイズ表示(動画撮影時)
　:大 176×144ピクセル
　:小 128×96ピクセル

⑤ 夜景モード表示
　:夜景モード

⑥ セルフタイマ表示(静止画撮影時)
　:セルフタイマ

⑦ 撮影可能枚数表示(静止画撮影時)
　設定されている保存先(本体メモリ/"メモリースティック Duo")に保存可能な枚数が表示されます。
　• 1000枚以上撮影可能な場合は表示されません。

⑧ 経過時間表示(動画撮影時)

## 保存形式と保存場所

撮影した画像の保存形式と保存場所は次のとおりです。

| 撮影画像 | サイズ(横×縦)(ピクセル) | 保存形式 | 保存場所 |
|---|---|---|---|
| 静止画 | 大 1280×1024 | JPEG形式(.jpeg) | データフォルダ(☞P.12-2)/" メモリースティック Duo " |
| | 中 640×480 | | |
| | 小 160×120 | | |
| 動画 | 大 176×144 | 3GPP形式(.3gp) | データフォルダ(☞P.12-2)/" メモリースティック Duo " |
| | 小 128×96 | | |

撮影した動画は、マルチメディアの標準規格MPEG-4に基づいた3GPP(3rd Generation Partnership Project)方式でエンコードされて保存先に保存されます。

- 撮影した画像の保存先は、本体メモリまたは" メモリースティック Duo "から選択できます(☞P.7-6)。
- 保存先は、データフォルダで表示したときにファイル名の左に表示されるアイコンで確認できます。
  - :本体メモリ
  - :" メモリースティック Duo "
- 撮影した画像には次のファイル番号とファイル名が付けられ、設定した保存先に自動的に保存されます。

| 撮影画像 | 保存先 | ファイル番号※ | ファイル名※ |
|---|---|---|---|
| 静止画 | 802SE | PICnnnn | DSCOnnnn |
| | " メモリースティック Duo " | NNNnnnn | |
| 動画 | 802SE | — | MOVOnnnn |
| | " メモリースティック Duo " | — | |

※:「nnnn」には「0001」〜「9999」、「NNN」には「001」〜「999」の番号がそれぞれ小さい方から画像の撮影順に付けられます。

- 802SEで撮影した静止画のファイル名は変更できません。パソコンなどで名前を変更すると、802SEで静止画を表示できなくなることがあります。ファイル名は変更しないことをおすすめします。

### " メモリースティック Duo "に保存できる容量の目安

#### ■ 静止画撮影可能枚数

(単位:枚)

| 画像サイズ \ 容量 | 32 MB |
|---|---|
| 大 1280×1024 | 約137 |
| 中 640×480 | 約583 |
| 小 160×120 | 約8389 |

※撮影方法によっては撮影可能枚数が少なくなります。

#### ■ 録画可能時間

(単位:クリップ(10秒))

| ムービーサイズ \ 容量 | 32 MB |
|---|---|
| 大 176×144 | 約500 |
| 小 128×96 | 約500 |

※撮影方法によっては録画可能時間が少なくなります。

※ムービーサイズを[小 128×96]に設定した場合、[大 176×144]に設定したときよりも画質は良くなります。

# 静止画／動画の撮影

カメラを使って静止画を撮影できます。また、動画を撮影することもできます。撮影した画像はあらかじめ設定した保存先に保存されます。

- シャッター音は、消したり、音量を変更したりすることはできません。マナーモードを設定していてもシャッター音は鳴ります。
- 保存先のメモリが少ないと、メモリが足りない旨のメッセージが表示されます。この場合は、保存先を変更するか保存先から画像を消去するなどしてメモリを増やしてください。

802SEで撮影した静止画は、DCF（Design rule for Camera File system）に対応しています。DCFは（社）電子情報技術産業協会（JEITA）によって制定されたデジタルカメラ用画像フォーマットで、DCFに対応したデジタル機器で相互に利用できます。

## 静止画を撮影する

802SEをデジタルカメラとして使用できます。

**1 待受画面で［カメラ］（1秒以上）**

前回使用した撮影モードでカメラが起動します。

**2 ［マルチガイド］**

静止画撮影モードになります。

**3 レンズを回し、撮影する被写体を画面に表示→［カメラ］**

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が自動的に保存されます。

- ［−］（**撮影**）を押しても撮影できます。
- 続けて撮影する場合は、［カメラ］または［マルチガイド］（［カメラ］）を押します。
- ［ライト］を押すと、ライトを点灯して撮影できます（有効距離：約0.4〜1m）。
- 保存先は802SE（本体）のメモリまたは"メモリースティック Duo"に切り替えられます（☞P.7-6）。

**4 カメラを終了するときは［戻る］**

補足

- メインメニューから［ （カメラ）］を選択してもカメラを起動できます。

**閉じたまま撮影できます**

802SEを閉じた状態で［カメラ］を長く（1秒以上）押すと、カメラが起動します。この場合、被写体はサブディスプレイに表示されます。

- 明るさとライトだけ設定できます。他の効果を設定する場合は、本体を開いて撮影してください。

## 動画を撮影する

802SEをデジタルビデオカメラとして使用できます。

- 動画は、カメラから被写体までの距離が約1.5m以下で、できるだけ明るい場所で撮影してください。音声を録音する場合は、約50cmの距離で撮影してください。

**1 待受画面で［カメラ］(1秒以上)**

前回使用した撮影モードでカメラが起動します。

**2 ［マルチ▶］**

動画撮影モードになります。

**3 レンズを回し、撮影する被写体を画面に表示→［カメラ］**

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- ［－］(**録画**)を押しても撮影できます。
- 撮影を一時停止、再開するときは［－］(**一時停止**／**再開**)を押します。
- ［ライト］を押すと、ライトを点灯して撮影できます(有効距離：約0.4～1m)。

**4 撮影を終了するときは［カメラ］**

撮影終了音が鳴り、撮影した動画の先頭が表示されます。

- ［－］(**停止**)を押しても撮影を終了できます。
- 撮影時間を[MMS用]に設定している場合(☞P.7-10)は、撮影開始後約25秒経過すると自動的に撮影が終了します。
- 続けて撮影する場合は、［カメラ］または［●］(［動画］)を押します。
- 保存先は802SE(本体)のメモリまたは"メモリースティック Duo"に切り替えられます。

**5 カメラを終了するときは［戻る］**

## 静止画／動画の保存先を設定する

"メモリースティックDuo"を装着すると、撮影した画像の保存先は自動的に"メモリースティックDuo"に設定されます。"メモリースティックDuo"を装着中、撮影した静止画／動画を"メモリースティック Duo"と802SE(本体)のメモリのどちらに保存するかを設定できます。

**1 撮影画面で［－］(機能)→[保存先]を選択**

**2 保存先を選択**

**[メモリースティック]**：
装着した"メモリースティックDuo"に保存

**[本体メモリ]**：802SE(本体)のメモリに保存

**補足**

- 802SEに"メモリースティックDuo"が装着されている場合のみ設定できます。

7 カメラ

# いろいろな撮影のしかた

いろいろな機能を設定して撮影できます。

| 機能 | 概要 | 静止画 | 動画 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| ズーム設定 | ズームの倍率を設定 | ○ | ○ | 7-7 |
| 明るさ設定 | 被写体の明るさを調節 | ○ | ○ | 7-7 |
| 撮影画像一覧表示 | 本体メモリおよび"メモリースティックDuo"に保存されている画像の一覧を表示 | ○ | ○ | 7-11 |
| 画像サイズ／ムービーサイズ設定 | 撮影する画像サイズを設定 | ○ | ○ | 7-8 |
| 夜景モード設定 | 夜景など、暗い場所で撮影 | ○ | ○ | 7-8 |
| エフェクト設定 | モノクロやセピアなどの画像効果を設定 | ○ | ○ | 7-8 |
| フレーム設定 | 静止画にフレームを設定 | ○ | × | 7-9 |
| パノラマ | パノラマ写真を撮影 | ○ | × | 7-9 |
| 画質設定 | 静止画の画質を設定 | ○ | × | 7-10 |
| セルフタイマ | セルフタイマを設定 | ○ | × | 7-10 |
| ファイル番号リセット | "メモリースティックDuo"を入れ替えたとき、前の"メモリースティックDuo"で使用したファイル番号をリセット | ○ | ○ | 7-10 |
| 撮影時間設定 | 動画の撮影時間の設定 | × | ○ | 7-10 |

## ズームを調節する

お買い上げ時 標準

撮影する画像のズームを調節できます。

**1 撮影画面で◎（ズームイン）／◎（ズームアウト）**

◎を押すたびに拡大されます。◎を押すたびに縮小されます。

補足
- 動画を撮影中に設定することもできます。
- 撮影モードによっては設定できない場合もあります。

## 明るさを調節する

お買い上げ時 標準

画像の明るさを5段階で調節できます。

**1 撮影画面で［＋］（明るくする）／［－］（暗くする）**

画面に「＋1」、「＋2」／「－1」、「－2」が表示されます。

補足
- 動画を撮影中に設定することもできます。

7 カメラ

## 画像サイズ／ムービーサイズを設定する

お買い上げ時 | 大

**1** **撮影画面で[ー](機能)→[画像サイズ]／[ムービーサイズ]を選択**

**2** **サイズを選択**

## 暗い場所で撮影する(夜景モード)

お買い上げ時 | OFF

夜景モードを設定すると、夜景など暗い場所を撮影できます。

**1** **撮影画面で[ー](機能)→[夜景モード]を選択**

**2** **[ON]を選択**

画面に「[夜景アイコン]」が表示されます。

注意
- 夜景モードは、暗い場所での撮影を保証するものではありません。被写体の明るさによっては、暗く撮影されたりすることがあります。
- 夜景モードを設定して撮影しているとき、明るい場所にカメラを向けると画面全体が真っ白になることがあります。

補足
- 動画を撮影中に設定することもできます。
- 暗い場所で人物などを撮影する場合は、802SEのライトを点灯するなど、照明を利用して撮影してください。

## 効果を付けて撮影する

お買い上げ時 | OFF

モノクロやネガなどの効果を設定して撮影できます。
- 保存されている静止画(小 160×120)に効果を付けることもできます。

**1** **撮影画面で[ー](機能)→[エフェクト]を選択**

**2** **効果を選択**

**[モノクロ]**:白黒
**[ネガ]**:写真のネガフィルム調
**[セピア]**:古い写真のような色合い
**[露出過度]**:明るさを強調

### ■ 設定した効果を変更するには

撮影画面で[ー](**機能**)→[エフェクト]→他の効果を選択

### ■ 効果を解除するには

撮影画面で[ー](**機能**)→[エフェクト]→[OFF]を選択

## フレームを付けて撮影する

**静止画撮影時のみ**

**お買い上げ時 OFF**

802SEにあらかじめ用意されているフレームなどを付けて撮影できます。

**1 静止画の撮影画面で[－](機能)→[フレーム]を選択**

**2 フレームを選択**

**■ 設定したフレームを変更するには**

撮影画面で[－](機能)→[フレーム]→他のフレームを選択

**■ フレームを解除するには**

撮影画面で[－](機能)→[フレーム]→[OFF]を選択

**補足**

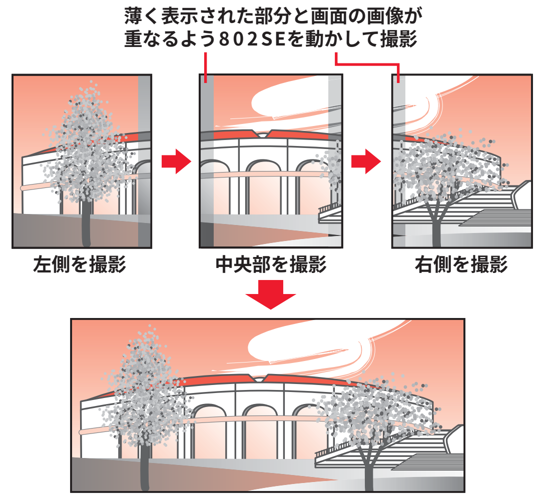
- 画像サイズを[大 1280×1024]や[小 160×120]に設定しているときにフレームを設定すると、画像サイズは自動的に[中 640×480]に変更されます。

## パノラマで撮影する

**静止画撮影時のみ**

**お買い上げ時 OFF**

802SEのカメラでパノラマ写真を撮影できます。パノラマ写真を撮影するときは、下図のように撮影場所を3分割して、左側→中央→右側の順番に撮影します。撮影中は、画面の左側に撮影場所の基準となるよう各画像の右側が薄く表示されます。




**1 静止画の撮影画面で[－](機能)→[パノラマ]→[ON]を選択**

**2 左→中央→右の順に撮影する**

7 カメラ

## 静止画の画質を設定する

**静止画撮影時のみ**

| お買い上げ時 | 通常 |
|---|---|

**1** **静止画の撮影画面で[－](機能)→[画質]を選択**

**2** **[通常]／[高画質]を選択**

- 「通常」より「高画質」の方がきれいな画像で撮影できます。ただし、撮影できる静止画の枚数は減ります。

## セルフタイマで撮影する

**静止画撮影時のみ**

| お買い上げ時 | OFF |
|---|---|

**1** **静止画の撮影画面で[－](機能)→[セルフタイマ]を選択**

**2** **[ON]を選択**

画面に「」が表示されます。

**3** **[カメラ]**

セルフタイマ音が鳴ります。約8秒後にシャッター音が鳴り、撮影されます。

- 撮影後、セルフタイマの設定は解除されます。
- タイマ動作中に撮影を中止するときは、[カメラ]を押します。

**補足**

- タイマ動作中でも次の機能は設定できます。
  - ズーム(☞P.7-7)
  - 明るさの調節(☞P.7-7)
- タイマ動作中にかかってきた電話に出ると、撮影は中止されます。

## 撮影した静止画のファイル番号をリセットする

**静止画撮影時のみ**

“メモリースティック Duo”内のファイル番号を記録するカウンターをリセットします。

**1** **静止画の撮影画面で[－](機能)→[ファイル番号リセット]を選択→[－](はい)**

## 撮影時間を設定する

**動画撮影時のみ**

| お買い上げ時 | MMS用 |
|---|---|

**1** **動画の撮影画面で[－](機能)→[撮影時間]を選択**

**2** **項目を選択**

**[MMS用]**：MMSで送信できるサイズ(約300KB)まで撮影
**[無制限]**：メモリがなくなるまで撮影

# 撮影した画像の確認

撮影した静止画や動画は、カメラの起動中に一覧を表示して確認できます。

• データフォルダからも確認できます(☞P.12-2)。

## 画像を確認する

**1** **撮影画面で[ー](機能)→[全画像表示]/[全クリップ表示]を選択**

**2** **画像を選択→[ー](表示/再生)**

### ■ 一覧表示中に操作できる機能

全画像一覧画面や全クリップ一覧画面で[ー](**機能**)を押すと、次の操作を行えます。

| 機能 | | 静止画 | 動画 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 送信 | MMS | ○ | ○ | 7-13 |
| | Bluetoothを使用 | ○ | ○ | 7-13 |
| | 赤外線を使用 | ○ | ○ | 7-13 |
| 設定/編集 | 壁紙設定(メイン) | ○ | × | 8-2 |
| | 壁紙設定(サブ) | ○ | × | 8-2 |
| | スクリーンセーバー設定 | ○ | × | 8-3 |
| | ウェイクアップ画面 | ○ | × | 8-2 |
| | 電話帳に登録 | ○ | × | 5-3 |
| ファイル操作 | フォルダに移動 | ○ | ○ | 12-8 |
| | 本体にコピー/メモリースティックにコピー | ○ | ○ | 12-8 |
| | 本体に移動/メモリースティックに移動 | ○ | ○ | 12-8 |
| | 名前変更 | × | ○ | − |
| 消去 | | ○ | ○ | − |
| 情報 | | ○ | ○ | 12-4 |

補足

・画像サイズによっては操作できない機能があります。

# 撮影した画像の編集

画像サイズが小160×120の静止画のみ編集できます。

**1 静止画を選択**

「画像を確認する」(☞P.7-11)操作1～2

**2 [－](機能)→[設定／編集]→[編集]を選択**

**3 編集**

カーソル(✚)は◎またはダイヤルボタンで移動します。

[1](左上に移動)、[2](上に移動)、[3](右上に移動)、[4](左に移動)、[6](右に移動)、[7](左下に移動)、[8](下に移動)、[9](右下に移動)

[－]:ツールを選択

◉(1秒以上):

ツールを有効

◉を長く(1秒以上)押したあとにカーソルを移動すると、選択したツールで線や楕円、長方形などを描けます。再び◉を押すと、カーソル移動となります。

[＊]:描画ツールの選択

[#]:描画色の選択

[消去]:直前の操作の取り消し

[戻る]:編集の終了

■ **編集する静止画を変更するには**

編集画面で[－](**機能**)→[画像を開く]を選択

■ **編集した静止画を保存するには**

編集画面で[－](**機能**)→[画像保存]を選択→名前を入力→[－](**OK**)

**補足**

- 編集した静止画は、設定した保存先に保存されます(☞P.7-6)。
- 編集後、保存せずに[戻る]を押すと確認画面が表示されます。保存してから終了するときは[－](**はい**)、保存しないで終了するときは[－](**いいえ**)を押します。

## ■ ツールの種類

| ツール | 概要 |
|---|---|
| クリップアート追加 | 802SEに保存されているクリップアートを追加 |
| フレーム追加 | フレームを追加 |
| エフェクト追加 | 効果を追加<br>モザイク、色合い、ネガ、エンボス、曇りガラス、コントラスト、波紋、明るさ |
| ツール選択 | 描画ツールを選択<br>テキスト、ペン、線、楕円、長方形<br>• 選択メニューは[＊]を押しても表示できます。 |
| 回転 | 静止画を時計方向に90度回転 |
| カラーパレット | カラーパレット(28色)から描画色を選択<br>• カラーパレットは[#]を押しても表示できます。 |
| 色ツール選択 | 表示している静止画から描画色を選択 |
| ズームイン | 等倍に静止画を拡大<br>• 1ピクセル単位で描画できます。 |
| ペンのサイズ | ペンの太さを設定 |
| 情報 | 操作のしかたを表示 |

# 画像の送信

撮影した静止画や動画を撮影後の画面からMMSに添付して送信できます。Bluetooth通信や赤外線通信で送信することもできます。

## MMSに添付して送信する

### ■ 撮影直後に送信する

**1 静止画／動画の撮影後に［ー］(送信)**

**2 MMSを編集→［ー］(機能)→[送信]を選択**

- 「MMSの送信」(☞P.19-6)

### ■ 一覧画面から送信する

全画像表示または全クリップ表示からMMSに添付して画像を送信できます。

**1 画像を選択**

- 「画像を確認する」(☞P.7-11)操作1～2

**2 ［ー］(機能)→[送信]→[MMS]を選択**

**3 MMSを編集→［ー］(機能)→[送信]を選択**

- 「MMSの送信」(☞P.19-6)

## 赤外線通信／Bluetooth通信を利用して送信する

全画像表示または全クリップ表示から赤外線通信やBluetooth通信を利用して画像を送信できます。

### ■ 赤外線通信で送信する

**1 画像を選択**

- 「画像を確認する」(☞P.7-11)操作1～2

**2 ［ー］(機能)→[送信]→[赤外線を使用]を選択**

### ■ Bluetooth通信で送信する

Bluetooth通信を利用する場合、あらかじめお互いの機器を登録する必要があります(☞P.13-5)。

**1 画像を選択**

- 「画像を確認する」(☞P.7-11)操作1～2

**2 ［ー］(機能)→[送信]→[Bluetoothを使用]を選択**

**3 接続先を選択**

# ディスプレイの設定

# 壁紙設定

待受画面に表示する画像を設定します。壁紙には、802SEにあらかじめ登録されている画像やカメラで撮影した静止画などを設定できます。

## 壁紙を表示する

お買い上げ時 | スキン

ディスプレイやサブディスプレイの壁紙を設定します。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (ディスプレイ設定)]→[壁紙(メインディスプレイ)]を選択**

- サブディスプレイの背景を設定するときは、(ディスプレイ設定)画面で[壁紙(サブディスプレイ)]を選択します。

**2 項目を選択**

**[画像]**:画像を選択して設定
**[スキン]**:スキン(☞P.8-3)で設定されている画像を表示
**[なし]**: 壁紙を表示しない

補足
- 画像の種類やサイズによっては、使用できない画像があります。
- 設定した画像はスキンの上に重ねて表示されます。
- データフォルダから画像を選択して、壁紙に設定することもできます(☞P.12-6)。

## ウェイクアップ画面を設定する

お買い上げ時 | 画像(start-up)

電源を入れたときに表示する画像を設定します。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (ディスプレイ設定)]→[ウェイクアップ画面]を選択**

**2 項目を選択**

**[画像]**:画像を選択して設定
**[デフォルト]**:お買い上げ時に設定されている画像に戻す
**[なし]**:ウェイクアップ画面を表示しない

# スクリーンセーバー設定

お買い上げ時 なし

一定時間802SEを操作しなかった場合、画面の表示をお気に入りの画像に自動で切り替えられます。
スクリーンセーバーには、802SEにあらかじめ登録されている画像やカメラで撮影した静止画などを設定できます。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (ディスプレイ設定)]→[スクリーンセーバー]を選択**

**2 項目を選択**

**[画像]**：画像を選択して設定
**[なし]**：スクリーンセーバーを設定しない

補足
- 画像の種類やサイズによっては、使用できない画像があります。
- スクリーンセーバーが起動してから一定時間が経過すると、自動的にスリープモードに切り替わります。
- スクリーンセーバーに切り替わる時間は変更できません。

# スキン設定

お買い上げ時 Vodafone Rings

待受画面も含めた画面全体のイメージを設定します。スキンを設定すると、802SEの画面が1つの統一されたイメージで表示されます。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (ディスプレイ設定)]→[スキン]を選択**

**2 画像を選択→[−](設定)**

**■ 壁紙を表示しているときは**
スキンの上に壁紙が表示されます。

## ディスプレイ／ボタンの照明設定

お買い上げ時 100

ディスプレイとダイヤルボタン、サブディスプレイの照明の明るさを調節できます。

**1** **メインメニューから[ (設定)]→[ (ディスプレイ設定)]→[バックライト]を選択**

**2** **／で明るさを調節→(保存)→(OK)**

- 50〜100の間で調節します。

補足
- ディスプレイとダイヤルボタン、サブディスプレイの照明は個別に設定できません。

## スリープモードの時計設定

お買い上げ時 OFF

何も操作せずに一定時間が経過すると、自動的にスリープモードに切り替わります。スリープモード画面にデジタル時計（スリープモードクロック）を表示する／しないを設定できます。

**1** **メインメニューから[ (設定)]→[ (ディスプレイ設定)]→[スリープモードクロック]を選択**

ON／OFFが切り替わります。

# 表示言語を切り替える

お買い上げ時 自動

画面の表示言語や文字入力時の言語を変更できます。

## 画面表示言語を切り替える

**1** **メインメニューから[ （設定）]→[ （全般）]→[Language]→[画面表示言語]を選択**

**[文字入力言語]**：入力する言語を選択（☞P.4-2）

**2** **表示言語を選択**

**[自動]**：USIMカードに設定されている言語

# 音の設定

# 着信音量の設定

## 音量を設定する

お買い上げ時 5

電話の着信音およびメールの着信音の音量を設定します。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (音設定)]→[着信音量]を選択**

**2 / で音量を調節→ (保存)**

補足
- ダイヤルボタン( 0 ～ 9 )または + / - で調節することもできます。

## ステップアップトーンを設定する

お買い上げ時 OFF

着信音を少しずつ大きくします。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (音設定)]→[ステップアップトーン]を選択**

**2 [ON]を選択**

# 着信音の設定

着信音には８０２ＳＥにあらかじめ登録されているサウンドやMusicDJ™で作成したメロディ(☞P.9-4)などを設定できます。
- 電話帳に登録されている相手またはグループごとに、電話がかかってきたときの着信音を設定できます(☞P.5-3)。

## 着信音を設定する

### 電話の着信音を設定する

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (音設定)]→[着信音選択]を選択**

**2 着信音を選択**

- 着信音に設定できないサウンドは表示されません。

**(再生)**:着信音を再生

補足
- データフォルダからサウンドを選択して着信音に設定することもできます(☞P.12-6)。
- 着信音に設定できるファイル形式は次のとおりです。ただし、ファイルによっては着信音に設定できない場合があります。
MIDI、MP3、iMELODY、AMR

## メールの着信音を設定する

| お買い上げ時 | メール着信音1 |
|---|---|

**1** **メインメニューから[ (設定)]→[ (音設定)]→[メール着信音]を選択**

**2** **着信音を選択**

- 802SEにあらかじめ登録されているサウンドから選択できます。

[－](**再生**):着信音を再生

補足
- [サウンドなし]に設定すると、着信音は鳴らずに着信メッセージのみ表示されます。

# 着信をバイブレータでお知らせする

| お買い上げ時 | ON(マナーモードのみ) |
|---|---|

802SEを振動させて電話やメールの着信をお知らせします。アラームやカレンダー、ToDoの設定時刻にもバイブレータが動作します。

**1** **メインメニューから[ (設定)]→[ (音設定)]→[バイブレータ設定]を選択**

**2** **動作パターンを選択**

**[ON(マナーモードのみ)]:**
マナーモードを設定しているときのみバイブレータを設定

注意
- バイブレータを設定中に802SEを机の上や滑りやすい場所などに置くと、着信したとき振動で落下することがあります。

# ボタン操作音の設定

| お買い上げ時 | クリック音 |
|---|---|

ボタン操作音は、OFF、クリック音、トーンから選択できます。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (音設定)]→[キー操作音]を選択**

**2 操作音を選択**

補足
- マナーモードを設定している場合、ボタン操作音は鳴りません。

# オリジナル着信音の作成(MusicDJ™)

802SEのMusicDJ™を使用して、オリジナルのメロディを作成できます。作成したメロディは着信音として利用したり、MMSに添付して送信したりできます。

- ドラム( )、ベース( )、コード( )、アクセント( )の4つのパートがあります。
- 各パートごとにあらかじめ用意されている音のパターンを組み合わせて作成します。
- 最大99ブロックまで作成できます。

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[MusicDJ™]を選択**

**2 パートを選択→[ー](挿入)**

**3 音のパターンを選択**

**4 保存するときは[ー](機能)→[メロディ保存]を選択→ファイル名を入力→[ー](OK)**

■ **テンポを変更するには**

MusicDJ™画面で[ー](**機能**)→[テンポ設定]を選択→ダイヤルボタンでテンポを入力→[ー](**OK**)

■ **音のパターンをコピーするには**

同じパートであれば、設定した音のパターンを他のブロックにコピーできます。

MusicDJ™画面で音のパターンを設定したブロックを選択→[ー](**コピー**)→コピーしたいブロックに移動→[ー](**貼り付け**)

■ **ブロックを消去するには**

MusicDJ™画面でブロックを選択→[ー](**機能**)→[ブロック消去]を選択

■ **音量を変更するには**

[+]/[-]を押して調節

補足

- 作成したメロディは、データフォルダの着信メロディ＆サウンドフォルダに保存されます。
- 作成したメロディを消去するときは、データフォルダから行います（☞P.12-7）。着信音に設定しているメロディを消去すると、自動的にお買い上げ時の着信音に設定されます。

## メロディ作成中に操作できる機能

MusicDJ™画面で[ー](**機能**)を押すと、次の操作を行えます。

| 機能 | 概要 |
|---|---|
| 再生※ | 作成中のメロディを再生 |
| 送信※ | 作成中のメロディをMMS添付<br>•「MMSの送信」（☞P.19-6） |
| メロディ保存※ | 作成したメロディを保存 |
| メロディを開く | 802SEに保存されているメロディを読み込み、編集 |
| 新規メロディ※ | メロディを新たに作成 |
| ブロック消去※ | 作成中のメロディのブロックを消去 |
| テンポ設定 | テンポを変更 |

※：パートにパターンが設定されていないときは表示されません。

# マルチメディア機能

# マルチメディア機能でできること

メディアプレイヤーで802SEに保存されているサウンド（ミュージック）や動画（ムービー）をファイルごとに再生したり、連続して再生したりできます。802SEにあらかじめ登録されているサウンドや動画、カメラで撮影した動画などを再生できます。また、サウンド録音を使って音声の録音もできます。

# サウンドや動画の再生

## ■ 画面表示




① 再生中のタイトル（ファイル名）
② 動作状態表示
　：再生中
　：一時停止中
　：停止中
　／：早戻し中／早送り中
　：スロー再生中（動画再生時のみ）
③ 経過時間表示
④ シャッフルON／OFF表示
　：シャッフルON
⑤ リピートON／OFF表示
　：リピートON
⑥ サウンド／動画一覧

## 再生する

**1 メインメニューから[ (メディアプレイヤー)]を選択**

**2 項目を選択**

**[ミュージック一覧]**:メモリに保存されているサウンドファイルの一覧を表示

**[ムービー一覧]**:メモリに保存されている動画ファイルの一覧を表示

**3 再生するサウンド/動画を選択→[－](再生)**

選択したファイルの再生が終了すると、自動的に次のファイルが再生されます。

[－]:一時停止/再生

[－]:停止(サウンド再生時のみ)

・再生中のサウンドファイル以外にカーソルを移動したときのみ有効です。

[戻る]:停止

[◁]/[▷]:スキップ

[◁](1秒以上)/[▷](1秒以上):早戻し/早送り

[▽]:スロー再生(動画再生時のみ)

・[－](**再生**)を押すと通常の早さに戻ります。

[＋]/[－]:音量の調節

**補足**

・データフォルダからファイルを選択して再生することもできます(☞P.12-3)。
・再生音は付属のステレオイヤホンマイクを利用して聞くこともできます。
・メモリに保存されていても、メディアプレイヤーで再生できないファイルは表示されません。
・メディアプレイヤーを起動して[－](**機能**)を押し、[新規再生リスト]を選択すると、新しくリストを作成できます。

### ■ 一覧表示中に操作できる機能

サウンド一覧画面/動画一覧画面で[－](**機能**)を押すと、次の操作を行えます。

| 機能 | 概要 |
|---|---|
| 最小化※1 | 再生したまま待受画面を表示 |
| メディア登録※1 | データフォルダの着信メロディ&サウンドフォルダから選択したファイルを一覧に追加 |
| 情報 | 選択したファイルの情報を表示<br>名前、保存日時※2、ファイルサイズ、長さ、アーティスト、ファイルタイプ、場所、配信など |
| 再生モード※1 | シャッフルON/OFF、リピートON/OFFを設定 |
| イコライザ※1 | 音色の調節(☞P.10-4) |
| 並べ替え※1 | 再生順序をアーティスト/タイトル/登録順から選択 |
| 楽曲送信/ムービー送信※3 | 選択したファイルをMMS(☞P.19-6)/Bluetooth通信(☞P.13-4)/赤外線通信(☞P.13-2)で送信 |
| 消去 | 選択したファイルを消去 |

※1: サウンドファイルのみ
※2: 当日保存したファイルは時刻が表示されます。前日までに保存したファイルは日付が表示されます。
※3: 配信が制限されているファイルは送信できません。

## 音色を調節する

**1 サウンド一覧画面で[ー](機能)→[イコライザ]を選択**

**2 項目を選択**

**[通常]**:全音域がフラットの状態
**[ベース]**:低音域を上げる
**[ベースのアップ]**:ベースより、さらに低音域を上げる
**[音声]**:中音域を上げる
**[高音アップ]**:高音域を上げる

### ■ 手動で音色を設定するには

① イコライザ画面で[ー](**手動**)
② ◎で音域を選択→◎で調節→[ー](**OK**)
左から順に、63Hz、250Hz、1kHz、4kHz、16kHzを調節します。
・[ー](**プリセット**)を押すと、すべての音域がフラットの状態に戻ります。

# 音声の録音

802SEを使って音声を録音できます。
• 音声でメモを作成できます(音声メモ)。
• 通話中に使用すると、通話内容を録音できます。通話を終了すると自動的に録音も停止します。

> **注意**
> ・通話を録音するときは、マナーとして通話相手に録音する旨を知らせることをおすすめします。ご使用になる国や地域によっては、法律上通話相手に録音することを知らせる必要があります。

## 録音する

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[サウンド録音]を選択**

発信音が鳴り、自動的に録音が始まります。
・音声メモを録音するときは、通話時と同様にマイクを口元に近づけてください。

**2 録音を終了するときは[ー](保存)**

録音を終了すると、ファイル名、録音時間、保存先が画面に表示されます。
・通話中の場合は、通話を終了すると自動的に録音が停止して保存されます。

補足
- 録音可能時間は次のとおりです。
本体メモリ：1MBあたり約11分
"メモリースティック Duo"：1MBあたり約10分

**ファイル名と保存先について**

録音した音声は、「録音」、「録音(1)」、「録音(2)」…の順番に名前が自動的に付けられ、802SEに"メモリースティック Duo"が装着されているときは"メモリースティック Duo"に、"メモリースティック Duo"が装着されていないときは802SEに保存されます。

補足
- 通話中に◉(▦)を押し、[録音]を選択して録音した音声も[サウンド録音]で録音した場合と同様に保存されます。ファイル名は相手の電話番号（電話帳に登録している場合は名前）が自動的に付けられます。

## ■ 録音終了後に操作できる機能

録音終了後に[ー](**機能**)を押すと、次の操作を行えます。

| 機能 | 概要 |
|---|---|
| 新規録音 | 新しい音声の録音を開始 |
| 送信 | 録音した音声をMMS（☞P.19-6）／Bluetooth通信（☞P.13-4）／赤外線通信（☞P.13-2）で送信 |
| 名前変更 | ファイル名を変更 |
| 消去 | 録音した音声を消去 |
| 録音されたサウンド | 録音した音声の一覧を表示 |

# 再生する

## ■ 録音直後に再生する

**1 録音終了後に[ー]（再生）**

## ■ 録音済みの音声を再生する

**1 録音終了後に[ー]（機能）→[録音されたサウンド]を選択**

音声の一覧が表示されます。

**2 音声を選択→[ー]（再生）**

補足
- データフォルダからファイルを選択しても再生できます（☞P.12-3）。

## ■ 一覧表示中に操作できる機能

音声の一覧画面で[ー](**機能**)を押すと、次の操作を行えます。

| 機能 | 概要 |
|---|---|
| 送信 | 録音した音声をMMS（☞P.19-6）／Bluetooth通信（☞P.13-4）／赤外線通信（☞P.13-2）で送信 |
| 設定／編集 | 着信音に設定／アラーム音に設定／電話帳に登録（指定着信音に設定） |
| ファイル操作 | 録音した音声をフォルダに移動、"メモリースティック Duo"／本体メモリ間でコピーや移動、ファイル名の変更 |
| 消去 | 録音した音声を消去 |
| 情報 | ファイル情報を表示 |

# “ メモリースティック Duo ”

# “メモリースティック Duo”をご利用になる前に

802SEは外部記録メディアとして“メモリースティック Duo”を使用できます。

“メモリースティック”は、大容量のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

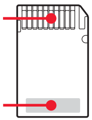
“メモリースティック”には、標準サイズのものとその小型サイズの“メモリースティック Duo”があります。“メモリースティック Duo”をメモリースティック Duo アダプタに装着すると、標準サイズの“メモリースティック”と同じサイズになり、標準サイズの“メモリースティック”対応機器でもお使いいただけます。さらに大容量のデータを扱える“メモリースティック PRO Duo”も用意されています。

- 802SEでは“メモリースティック Duo”に802SEで撮影した画像、赤外線通信やBluetooth通信で送信された画像、サウンドなどを保存できます。

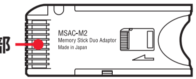
**大切なデータを失わないために**

“メモリースティック Duo”に保存した内容は、事故や故障によって消失または変化してしまうことがあります。大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害および損失利益につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## “メモリースティック Duo”の取り扱い




“メモリースティック Duo”




メモリースティック Duo アダプタ

“メモリースティック Duo”をお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

- データの読み込み中、書き込み中に“メモリースティック Duo”を取り出さないでください。
- 次の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック Duo”を取り出したり、802SEの電源を切ったりした場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- “メモリースティック Duo”にラベルなどを貼り付けると、802SEやメモリースティック Duo アダプタに装着できなくなることがあります。

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された"メモリースティック Duo"は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用できませんので、ご注意ください。
- "メモリースティック"および"メモリースティック Duo"は、すべての対応機器での接続を保証するものではありません。
- "メモリースティック Duo"を幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだり、けがの原因となったりします。
- 指定品以外の"メモリースティック Duo"を使用すると、故障やデータの消失の原因となります。指定品については、お取り扱い販売店にお問い合わせください。
- "メモリースティック Duo"を装着したり取り出したりする際は手や指を傷つける可能性がありますのでご注意ください。
- "メモリースティック Duo"を802SEに装着する際は無理な力を加えないでください。故障の原因となります。
- 802SEから"メモリースティック Duo"を取り出すと、"メモリースティック Duo"が温かくなっていることがありますが異常ではありません。

## 使用可能な"メモリースティック Duo"

802SEで使用できる"メモリースティック"は"メモリースティック Duo"です。

- "メモリースティック Duo"を標準サイズの"メモリースティック"対応機器で使用する場合は、必ず付属のメモリースティック Duo アダプタに装着した状態でご使用ください。
  そのまま挿入すると、メディアが取り出せなくなる可能性があります。
- すべての"メモリースティック"メディアの動作を保証するものではありません。
- 802SEでは、128MBまでの"メモリースティック Duo"および512MBまでの"メモリースティック PRO Duo"で動作確認を行っています。それ以外の"メモリースティック PRO Duo"での動作は保証しておりません。

**"メモリースティック"メディア対応表**

| メディアの種類 | 記録／再生 |
|---|---|
| "メモリースティック Duo" | ○ |
| "メモリースティック Duo(マジックゲート／高速データ転送対応)" | ○※1※2 |
| "マジックゲート メモリースティック Duo" | ○※1 |
| "メモリースティック PRO Duo" | ○※1※2※3 |

※1: 802SEはマジックゲート機能に対応していません。
※2: 802SEは高速データ転送に対応していません。
※3: アクセスコントロール機能でアクセスが制限されている"メモリースティック PRO Duo"は802SEで使用できません。

補足
- マジックゲートとは、ソニー(株)が開発した暗号化技術を使って著作権を保護する技術の総称です。

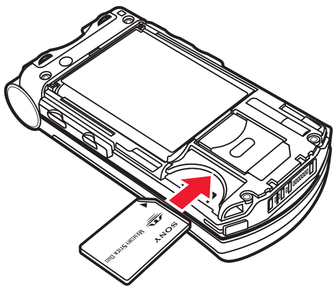
# “メモリースティック Duo”を装着する／取り出す

## ■ 装着する

**1** **電池パックカバーを取り外す(☞P.1-12)**

**2** **“メモリースティック Duo”を挿入口に差し込む**

- 端子部を下にして差し込みます。



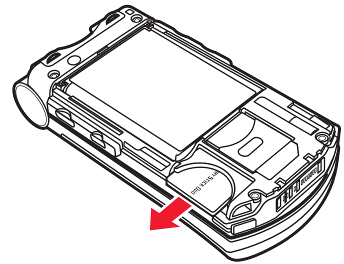
**3** **電池パックカバーを取り付ける(☞P.1-12)**

## ■ 取り出す

**1** **電池パックカバーを取り外す(☞P.1-12)**

**2** **“メモリースティック Duo”をゆっくり引き抜く**

- データの読み込み中、書き込み中に“メモリースティック Duo”を取り出さないでください。



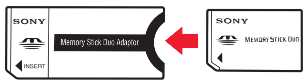
**3** **電池パックカバーを取り付ける(☞P.1-12)**

## ■ アダプタに装着する

付属のメモリースティック Duo アダプタに“ メモリースティック Duo ”を装着すると、“ メモリースティック ”対応機器で“ メモリースティック Duo ”に保存したデータを利用できます。

**1 “ メモリースティック Duo ”をメモリースティック Duo アダプタの奥まで差し込む**

- 取り出すときは、反対方向に引き出します。




注意
- 802SEでは、標準サイズの“ メモリースティック ”はご使用になれません。
- 正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。

## “ メモリースティック Duo ”をフォーマット（初期化）する

“ メモリースティック Duo ”をフォーマットし、保存されているデータをすべて消去します。

**1 メインメニューから[ （設定）]→[ （全般）]→[メモリースティックのフォーマット]を選択**

**2 [－]（はい）→操作用暗証番号を入力→[－]（OK）**

注意
- すでにデータが書き込まれている“ メモリースティック ”をフォーマットすると、そのデータは消去されます。誤って大切なデータを消去することがないようご注意ください。
- パソコンで“ メモリースティック Duo ”をフォーマットする場合は、FAT形式でフォーマットしてください。FAT形式以外でフォーマットされた“ メモリースティック Duo ”は802SEで使用できません。

補足
- パソコンでフォーマットした“ メモリースティック Duo ”を802SEに装着すると、自動的にフォルダを作成します（☞P.11-6）。
- メインメニューから[ （データフォルダ）]を選択→[－]（**機能**）→[外部メモリのフォーマット]を選択してもフォーマットできます。

# " メモリースティック Duo "の利用

## 保存されているデータの確認

" メモリースティック Duo "に保存されているデータはデータフォルダ(☞P.12-2)で確認できます。

- " メモリースティック Duo "に保存されているデータには、ファイル名の左に「■」が表示されます。
- 付属の" メモリースティック Duo "には、あらかじめ着信音などのデータが保存されています。

**保存先を" メモリースティック Duo "に切り替えるには**

802SEに" メモリースティック Duo "を装着すると、各種データは" メモリースティック Duo "に保存するよう自動的に設定されます。ただし、カメラで撮影した静止画や動画の保存先は、設定によって切り替えられます(☞P.7-6)。

# " メモリースティック Duo "のフォルダ構成

" メモリースティック Duo "に保存した静止画や動画などは、" メモリースティック "や" メモリースティック Duo "に対応した機器で利用できます。次のフォルダとファイルは802SEに" メモリースティック Duo "を初めて装着したとき、自動的に作成されます。

| フォルダ名／ファイル名 | 用途 |
| --- | --- |
| DCIM | 静止画保存用<br>• 保存先を[メモリースティック]に設定して静止画を撮影した場合、撮影した画像もこのフォルダに保存されます。 |
| MP3 | メディアプレイヤーで再生するサウンド保存用 |
| MSSEMC | ー |
| 　Media files | ー |
| 　　audio | MusicDJ™で作成したメロディやサウンド録音で録音した音声などのサウンド保存用 |
| 　　　ringtones | 着信メロディ保存用 |
| 　　image | 802SEで編集した画像やMMSで入手した画像保存用 |
| 　　other | 802SEで使用できないファイル保存用 |
| 　　theme | スキン画像保存用 |
| 　　webpage | ウェブページ保存用 |
| 　　video | 動画保存用 |
| 　　　camera | カメラで撮影した動画保存用 |

| フォルダ名／ファイル名 | 用途 |
|---|---|
| MEMSTICK.IND※ | “メモリースティック Duo”内のデータを管理するためのファイル<br>• 802SEでは表示されません。パソコンでのみ表示されます。 |

※：このファイルは消去しないでください。消去すると“メモリースティック Duo”を利用できなくなります。

補足

- 802SE（本体）のメモリに保存されたデータを“メモリースティック Duo”にコピーまたは移動できます（☞P.12-8）。
- パソコンでフォルダ名、ファイル名の変更や移動、フォルダやファイルの消去を行うと、“メモリースティック Duo”のデータが失われ、802SEで表示できなくなることがあります。
- パソコンなどから取り込んだデータは表示や再生ができない場合があります。

# データ管理

# データフォルダについて

## データフォルダの構成

802SEのカメラで撮影した静止画や動画などは、種類別にフォルダ分けされてデータフォルダに保存されます。

- "メモリースティック Duo"を装着している場合、ファイルは自動的に"メモリースティック Duo"に保存されます。
- "メモリースティック Duo"に保存されているファイルもデータフォルダの同じフォルダから確認できます。
- 802SE（本体）のメモリと"メモリースティック Duo"間でファイルを移動したり、コピーしたりできます（☞P.12-8）。

ファイルの保存先は、データフォルダで表示したときにファイル名の左に表示されるアイコンで確認できます。

：802SE（本体）のメモリに保存
："メモリースティック Duo"に保存

| フォルダ | 保存されているデータ |
|---|---|
| ピクチャー | • ウェブページなどからダウンロードした静止画などの画像 |
| └ カメラ画像 | • カメラで撮影した静止画 |
| ムービー | • ウェブページなどからダウンロードした動画 |
| └ カメラビデオクリップ | • カメラで撮影した動画 |
| 着信メロディ＆サウンド | • MusicDJ™で作成したメロディ<br>• サウンド録音で録音した音声<br>• ウェブページなどからダウンロードしたサウンド |
| └ 着信音※ | • プリインストールされているサウンド |
| スキン | • プリインストールされているスキン用画像<br>• ウェブページなどからダウンロードしたスキン用画像 |
| お気に入り | • ダウンロードしたウェブページ |
| Vアプリ | • プリインストールされているVアプリ<br>• ウェブページなどからダウンロードしたVアプリ |
| アプリケーション | • プリインストールされているVアプリ<br>• ウェブページなどからダウンロードしたVアプリ |
| その他ファイル | • 802SEで使用できないファイル（送受信のみ可能） |

※："メモリースティック Duo"装着時のみ

# 保存されているファイルの確認

## データフォルダ内のファイルを確認する

**1 メインメニューから[ （データフォルダ）]→フォルダを選択→[－]（開く）**

フォルダ内のファイルが一覧表示されます。ピクチャーフォルダの場合は、ファイルが縮小画像で表示されます。

- フォルダ内にさらにフォルダ（サブフォルダ）がある場合は、フォルダを選択して[－]（**開く**）を押すと、そのフォルダ内のファイルを表示できます。

**2 ファイルを選択→[－]（表示／再生／設定／起動／送信）**

- スキンフォルダからファイルを選択したときは、選択した画像が背景に設定されます（☞P.8-3）。
- Vアプリフォルダまたはアプリケーションフォルダからファイルを選択したときは、Vアプリが起動します（☞P.26-3）。

補足

- 画面サイズより大きい画像を確認すると、画面の縦または横のサイズを基準に縮小されて表示されます。
- 次のファイルを選択すると、直接インターネットに接続され、壁紙や着信メロディなどをダウンロードできます。
  - ピクチャーフォルダで[ピクチャーダウンロード]を選択
  - ムービーフォルダで[ムービーダウンロード]を選択
  - 着信メロディ＆サウンドフォルダで[メロディダウンロード]を選択
  - Vアプリフォルダで[Vアプリダウンロード]を選択
- 「 」が表示されているファイルは、送信やコピー、移動などが制限されています。

## スライドショーで確認する

ピクチャーフォルダに保存されているファイルを順番に表示して確認できます。

**1 メインメニューから[ （データフォルダ）]→[ピクチャー]を選択→[－]（開く）**

**2 ファイルを選択→[－]（表示）**

**3 [－]（機能）→[スライドショー]を選択**

[－]（**一時停止**）／（**再開**）：スライドショーを一時停止／再開

[－]（**終了**）：スライドショーを終了

12 データ管理

## ファイルの情報を確認する

ファイルごとに名前や作成日時、ファイルサイズなどを確認します。

**1 ファイル一覧画面でファイルを選択→[ー](機能)→[情報]を選択**

### ■ 表示される項目

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 名前 | ファイルの名前 |
| 保存日時 | ファイルを保存した日時※ |
| ファイルサイズ／サイズ | メモリ使用量 |
| 長さ | 録音／録画時間 |
| 画像サイズ | 画像の縦×横の大きさ |
| ムービーサイズ | 撮影する画像の縦×横の大きさ |
| ファイルタイプ | ファイル形式 |
| 場所 | 保存場所 |
| 配信 | “メモリースティック Duo”への移動／コピーやMMS、赤外線通信、Bluetooth通信などでのデータ送信の可否 |
| バージョン | Vアプリのバージョン |
| ベンダ | Vアプリの作成者 |
| ドメイン | Vアプリの認証 |

※：当日保存したファイルは時刻が表示されます。前日までに保存したファイルは日付が表示されます。

**補足**

- ファイル形式によって表示される項目は異なります。
- コンテンツキーを使用したファイルの場合、ファイルの情報画面右下に[ステータス]と表示されます。[ステータス]を選択すると内容を確認できます。

### ■ ファイル形式について

| 種類 | アイコン | ファイル形式 | 拡張子 |
|---|---|---|---|
| サウンド／メロディ | | MP3 | .mp3 |
| | | MP4 | .mp4 |
| | | WAVE | .wav |
| | | 3GPP | .3gp |
| | | SMAF | .mmf |
| | | AWB | .awb |
| | | AMR | .amr |
| | | IMELODY | .imy |
| | | EMELODY | .emy |
| | | MIDI | .mid |
| | | RHZ | .rhz |
| ムービー | | MP4 | .mp4 |
| | | 3GPP | .3gp |
| 画像 | | SVG | .svg |
| | | FLASH | .swf |
| | | JPEG | .jpg |
| | | PNG | .png |
| | | BMP | .bmp |
| | | GIF | .gif |
| | | WBMP | .wbmp |
| | | EMS | .ems |

| 種類 | アイコン | ファイル形式 | 拡張子 |
|---|---|---|---|
| ストリーミング | | SDP | .sdp |
| スキン | | THEME | .thm |
| Vアプリ／アプリケーション | (Vアプリ設定画像) | JAD | .jad |
| | | JAR | .jar |
| ウェブページ | | HTML | .html |
| | | WAP | .wml |
| | | TEXT | .txt |

# メモリ使用状況の確認

802SEと"メモリースティック Duo"のメモリ使用状況を確認します。

- フォルダごとの使用容量とフォルダに保存されているファイル数を確認できます。
- メールで使用している容量とファイル数を確認できます。

**1 メインメニューから[ (データフォルダ)]を選択**

**2 [−](機能)→[メモリステータス]を選択**

802SE(本体)のメモリと"メモリースティック Duo"の空き容量が表示されます。また、フォルダごとの使用容量と保存されているファイル数、メールの使用容量とファイル数が表示されます。

- フォルダごとに表示される情報は、802SE(本体)のメモリと"メモリースティック Duo"に保存されているファイルの合計です。

**補足**

- データフォルダ画面でフォルダを選択→[−](**機能**)→[情報]を選択してもフォルダごとの使用容量とファイル数を確認できます。

# ファイルの利用

データフォルダのピクチャーフォルダに保存されている静止画や、着信メロディ＆サウンドフォルダに保存されているサウンドは、壁紙や着信音など各機能で利用できます。

**1 ファイル一覧画面でファイルを選択→ー(機能)→[設定／編集]を選択**

**2 機能を選択**

■ **静止画の場合**

| 機能 | 参照ページ |
|---|---|
| 壁紙設定(メイン) | 8-2 |
| 壁紙設定(サブ) | 8-2 |
| スクリーンセーバー設定 | 8-3 |
| ウェイクアップ画面 | 8-2 |
| 電話帳に登録(指定画像に設定) | 5-3 |

■ **サウンドの場合**

| 機能 | 参照ページ |
|---|---|
| 着信音に設定 | 9-2 |
| アラーム音 | 15-8 |
| 電話帳に登録(指定着信音に設定) | 5-3 |

# フォルダ／ファイルの編集

静止画のファイルを編集できます。また、新しいフォルダの作成やフォルダ／ファイルの名前変更、消去、移動、コピーもできます。

- フォルダやファイルによっては名前変更や消去、移動、コピーができないことがあります。

## 静止画のファイルを編集する

**1 静止画のファイル一覧画面でファイルを選択→ー(表示)→ー(機能)→[設定／編集]→[編集]を選択**

**2 ファイルを編集**

- 「撮影した画像の編集」(☞P.7-12)

補足
- 静止画によっては編集できないファイルもあります。

## 新しくフォルダを作成する

データフォルダにあらかじめ用意されているフォルダの中に、新しくフォルダ(サブフォルダ)を作成できます。

**1 メインメニューから[(データフォルダ)]→フォルダを選択→ー(開く)**

**2 ー(機能)→[新規フォルダ]を選択**

**3 名前を入力→ー(OK)**

補足
- 自分で作成したフォルダの中には、さらにフォルダを作成することはできません。

## フォルダ名／ファイル名を変更する

例：ファイル名を変更する場合

**1** **ファイル一覧画面でファイルを選択→−(機能)→[ファイル操作]→[名前変更]を選択**

- フォルダ名を変更する場合は、フォルダを選択→−(**機能**)→[名前変更]を選択します。

**2** **名前を変更→−(OK)**

## フォルダ／ファイルを消去する

**1** **フォルダ／ファイル一覧画面でフォルダ／ファイルを選択→−(機能)→[消去]を選択→−(はい)**

### 複数のファイルを選択するには

複数のファイルを選択して消去、移動、コピーを行えます。

**1** **ファイル一覧画面でファイルを選択→−(機能)→[複数にマーク]を選択**

選択したファイルに「☑」が付き、選択された状態になります。

- すべてのファイルを選択するときは[すべてマーク]を選択します。

**2** **他のファイルを選択→−(マーク)**

- 操作2を繰り返して必要なファイルをすべて選択します。
- 選択を解除するときは、−(**マーク解除**)を押します。
- すべての選択を解除するときは、−(**機能**)を押して[全マーク解除]を選択します。

## ファイルを移動する

ファイルを他のフォルダに移動できます。また、本体メモリに保存されているファイルを“メモリースティック Duo”に、または“メモリースティック Duo”に保存されているファイルを本体メモリに移動できます。

- フォルダ単位では移動できません。
- 「複数のファイルを選択するには」（☞P.12-7）

### ■ 他のフォルダに移動する

**1 ファイル一覧画面でファイルを選択→[ー](機能)→[ファイル操作]を選択**

**2 [フォルダに移動]→移動先のフォルダを選択**

ファイルを移動できるフォルダのみ表示されます。
**[新規フォルダ]**：新しくフォルダを作成して移動

### ■ 本体メモリと“メモリースティック Duo”間で移動する

**1 ファイル一覧画面でファイルを選択→[ー](機能)→[ファイル操作]を選択**

**2 [本体に移動]／[メモリースティックに移動]を選択**

## ファイルをコピーする

本体メモリに保存されているファイルを“メモリースティック Duo”に、または“メモリースティック Duo”に保存されているファイルを本体メモリにコピーできます。

- フォルダ単位ではコピーできません。
- 「複数のファイルを選択するには」（☞P.12-7）

**1 ファイル一覧画面でファイルを選択→[ー](機能)→[ファイル操作]を選択**

**2 [本体にコピー]／[メモリースティックにコピー]を選択**

# 通信

# 赤外線通信

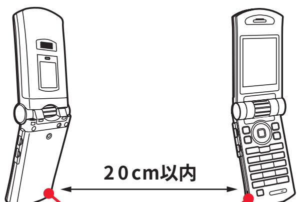
## 赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信機能を搭載したボーダフォン携帯電話などと、データを1件ずつ送受信できます。"メモリースティック Duo"に保存されているデータも送信できます。

- 802SEの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。

### ■ 赤外線通信利用時のご注意

- 送信側と受信側の赤外線ポートを20cm以内に近づけます。両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにしてください。
- 赤外線通信中は、間に障害物を置かないでください。
- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにし、動かさないでください。




- 直射日光があたっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できないことがあります。

**送受信できるデータ**

- 電話帳データ、オーナー情報
- カレンダーに登録した予定
- ToDo
- メモ
- データフォルダで管理している各種ファイル

**補足**

- DRM(デジタル著作権管理)によって保護されているファイルは送信できません。
- 電話帳、予定、ToDoの各データを受信すると、それぞれのデータとして登録されます。その他のファイルを受信したときは、ファイル形式に対応したフォルダに保存されます。保存先は、受信完了時、画面に表示されます。
- 802SEで使用できないファイルや他のフォルダに割りあてられないファイルは、その他ファイルフォルダに保存されます。
- "メモリースティック Duo"が装着されているとき、受信したデータは"メモリースティック Duo"に保存されます。

# 赤外線通信の利用

## ■ 赤外線通信機能をONにする

お買い上げ時 OFF

赤外線通信でデータを受信する場合は、あらかじめ赤外線通信を[ON]に設定する必要があります。

**1 メインメニューから[ (接続)]→[赤外線通信]を選択**

**2 [ON]を選択**

画面に「 」が表示されます。

**[10 分]**：10分間だけ赤外線通信を[ON]に設定

## ■ データを送信する

相手機器の赤外線通信機能がONの状態に設定されている必要があります。

例：電話帳データを1件送信する場合

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→電話帳データを選択**

**2 [ー](機能)→[1件送信]→[赤外線を使用]を選択**

データが送信されます。

補足

- 相手機器を検索できなかった場合、確認画面が表示されます。相手機器の赤外線通信機能がONの状態に設定されていることを確認してください。

## ■ データを受信する

赤外線通信を[ON]に設定してください。

**1 データを受信**

受信の確認画面が表示されます。

**2 [ー](はい)**

受信後、データが保存されます。

画像やサウンドなどの場合は、保存したデータを各機能で使用するかどうかの確認画面が表示されます。

- フォルダ単位でデータを受信した場合、ファイルごとにファイル形式に対応したフォルダへ自動的に振り分けられます。

13

通信

# Bluetooth™通信

## Bluetooth通信をご利用になる前に

Bluetooth通信とは無線通信方法の1つで、Bluetooth通信対応機器と1対1でデータの送受信を行えます。また、Bluetooth通信対応のヘッドセットやハンズフリー機器を接続してハンズフリー通話が可能です。

### ■ Bluetooth通信利用時のご注意

- 通信距離は約10mです。
- Bluetooth通信を行う場合、送信側と受信側両方の機器にお互いの機器を登録する必要があります。登録する際、パスコードが必要となります。
- Bluetooth通信機能をONに設定すると、他のBluetooth通信対応機器から不正にアクセスされる可能性があります。使用しないときはBluetooth通信機能をOFFに設定するか、他の機器から検索できないよう設定することをおすすめします(☞P.13-7)。
- 802SEは、パスコードが設定されているヘッドセットやハンズフリー機器を使用できます。

**パスコードについて**

パスコードとは、対応機器間でお互いを確認し合うための合い言葉のようなものです。802SEでは、初めて相手機器を登録する際、1回限り有効なパスコードを入力します。このパスコードは登録する機器ごとに異なる番号を設定できます。

**送受信できるデータ**

- 電話帳データ、オーナー情報
- カレンダーに登録した予定
- ToDo
- メモ
- データフォルダで管理している各種ファイル

補足

- DRM(デジタル著作権管理)によって保護されているファイルは送信できません。
- 電話帳、予定、ToDoの各データを受信すると、それぞれのデータとして登録されます。その他のファイルを受信したときは、ファイル形式に対応したフォルダに保存されます。保存先は、受信完了時、画面に表示されます。
- 802SEで使用できないファイルや他のフォルダに割りあてられないファイルは、その他ファイルフォルダに保存されます。
- "メモリースティック Duo"が装着されているとき、受信したデータは"メモリースティック Duo"に保存されます。

# データを送信／受信する

Bluetooth通信でデータの送受信やハンズフリー通話を行うためには、相手機器を802SEに登録する必要があります。

## Bluetooth通信機能をONにする

お買い上げ時 OFF

Bluetooth通信でデータを受信する場合は、あらかじめBluetooth通信機能をONに設定する必要があります。

- 送信時は自動的にONになり、送信が終了すると自動的にOFFになります。

**1 メインメニューから[ (接続)]→[Bluetooth]を選択**

**2 [ONにする]を選択**

画面に「 」が表示されます。

## 802SEの名前を変更する

お買い上げ時 Vodafone_802SE

相手機器に表示される802SEの名前を変更できます。

**1 メインメニューから[ (接続)]→[Bluetooth]→[本体名]を選択**

**2 名前を入力→[ー](OK)**

全角、半角とも35文字以内で入力します。

## 接続する機器を検索して登録する

**1 メインメニューから[ (接続)]→[Bluetooth]→[マイデバイス]を選択**

登録済みの機器がある場合は一覧が表示されます。

- Bluetooth通信対応のハンズフリー機器を登録するときは、Bluetooth画面で[ハンズフリー]を選択→[ー](**はい**)を押します。

**2 [新規デバイス]を選択→[ー](追加)**

検索された機器の名前が表示されます。

[ー](**更新**)：再検索

- 目的の相手が表示されないときは、相手機器のBluetooth通信機能がONの状態に設定されていることを確認してください。

**3 接続する機器を選択→パスコードを入力→[ー](OK)**

接続相手にも同じパスコードを入力します。両方の機器に同じパスコードが入力されると、互いに相手機器が登録されます。以降、相手機器を消去するまでパスコードの入力は不要です。

- ヘッドセットやハンズフリー機器などパスコードを変更できない機器があります。この場合、ヘッドセットやハンズフリー機器に設定されているパスコードを入力します。

■ **検索する機器の種類を限定するには**

マイデバイス画面で[ー](**機能**)→項目を選択

**[すべてのタイプ]**:検索範囲内にあるBluetooth通信対応機器を検索

**[ハンズフリー]**:Bluetooth通信対応のヘッドセットやハンズフリー機器を検索

**[コンピュータ]**:Bluetooth通信対応のコンピュータを検索

**[移動機]**:Bluetooth通信対応の携帯電話を検索

**[カメラ]**:Bluetooth通信対応のデジタルカメラを検索

■ **登録した機器の名前を変更するには**

① メインメニューから[ (接続)]→[Bluetooth]→[マイデバイス]を選択

② 登録した機器を選択→[ー](**機能**)→[名前変更]を選択

③ 名前を入力→[ー](**OK**)

■ **登録した機器を消去するには**

① メインメニューから[ (接続)]→[Bluetooth]→[マイデバイス]を選択

② 機器を選択→[ー](**機能**)→[消去]を選択→[ー](**はい**)

## 相手機器に接続してデータを取り込む

**1 メインメニューから[ (接続)]→[Bluetooth]→[マイデバイス]を選択**

登録されている機器の一覧が表示されます。

**2 相手機器を選択→[ー](参照)**

相手が接続を許可すると、相手機器のフォルダ一覧が表示されます。

**3 フォルダの中からファイルを選択→[ー](取得)**

## データを送信する

相手機器のBluetooth通信機能がONの状態に設定されている必要があります。また、相手機器に802SEが登録されている必要があります。

例:電話帳データを1件送信する場合

**1 メインメニューから[ (電話帳)]→電話帳データを選択**

**2 [ー](機能)→[1件送信]→[Bluetoothを使用]を選択**

登録されている機器の一覧が表示されます。

**3 送信する相手を選択**

データが送信されます。

**補足**

・相手機器を検索できなかった場合、確認画面が表示されます。相手機器のBluetooth通信機能がONの状態に設定されていることを確認してください。

## データを受信する

赤外線通信の「データを受信する」(☞P.13-3)と同じ操作を行ってください。

13

通信

## ハンズフリー通話

Bluetooth通信に対応したヘッドセットやハンズフリー機器を接続してハンズフリー通話ができます。

- Bluetooth通信対応のヘッドセットやハンズフリー機器を使用するには、機器の登録が必要です(☞P.13-5)。
- 電話の発着信のしかたは、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

## Bluetooth通信に関するその他の機能

### ■ 他の機器から検索できないようにする

お買い上げ時 表示する

Bluetooth通信で機器を検索されたとき、802SEが見えないようにします。

**1 メインメニューから[ (接続)]→[Bluetooth]→[本体名の公開]を選択**

**2 [表示しない]を選択**

補足

- [表示しない]に設定しても、登録済みの機器とはデータを送受信できます。

### ■ 802SEをリモートコントローラーとして使う

802SEをリモートコントローラーとしてパソコンのアプリケーションを操作できます。

**1 メインメニューから[ (接続)]→[Bluetooth]→[リモートコントロール]を選択**

[Desktop]:パソコンのデスクトップを操作

[MediaPlayer]:パソコンにインストールされているメディアプレイヤーを操作

[Presenter]:パソコンにインストールされているMicrosoft® PowerPoint®を操作

**2 項目を選択→[ー](機能)→[デバイス選択]を選択**

相手機器を検索します。以降、画面の指示に従って操作してください。

# その他のデータ通信

## USBケーブルで接続してパソコンとデータをやりとりする

付属のUSBケーブルで802SEをパソコンに接続すると、" メモリースティック Duo "がコンピュータのドライブとして認識されます。" メモリースティック Duo "に保存されているファイルをパソコンにバックアップしたり、パソコンで作成した画像やサウンドなどのファイルを802SEで利用したりできます。

- 802SE本体のメモリをパソコンで利用する場合は、付属のCD-ROMのソフトをパソコンにインストールする必要があります。インストールの方法は、CD-ROMに付属の取扱説明書をご覧ください。

**1 付属のUSBケーブルで802SEをパソコンに接続**



- 「ファイル形式について」(☞P.12-4)
- 「" メモリースティック Duo "のフォルダ構成」(☞P.11-6)



注意
- " メモリースティック Duo "に保存されているファイルやフォルダをパソコンで消去したり名前を変更したりしないでください。802SEでファイルが使用できなくなることがあります。

## 他の通信事業者を利用する

海外では、他の通信事業者を利用してデータ通信を行えます。あらかじめ、アカウントなどの設定を行う必要があります。

**1 メインメニューから[ （接続）]→[データ通信]を選択**

必要に応じて各項目を設定してください。

# セキュリティ

# 暗証番号の変更

802SEには3種類の暗証番号（操作用暗証番号、交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号）、USIMカードには2種類の暗証番号（PIN1コード、PIN2コード）があり、目的によって使い分けます。交換機用暗証番号以外の暗証番号は、802SEで任意の数字に変更できます。

- 「暗証番号」（☞P.1-23）
- 「PINコード」（☞P.1-6）
- 「発着信規制用暗証番号を変更する」（☞P.16-10）

## 操作用暗証番号を変更する

| お買い上げ時 | 0000 |
|---|---|

**1** **メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[ロック]→[ダイヤル操作禁止]→[暗証番号変更]を選択**

**2** **現在の操作用暗証番号を入力→[ー](OK)**

**3** **新しい操作用暗証番号を入力→[ー](OK)**

- 4〜8桁の数字で入力します。

**4** **もう一度新しい操作用暗証番号を入力→[ー](OK)**

## PINコードを変更する

| お買い上げ時 | PIN1コード：9999、PIN2コード：9999 |
|---|---|

**1** **メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[ロック]→[USIMロック]を選択**

**2** **[PIN変更]／[PIN2変更]を選択**

**3** **現在のPIN1コード／PIN2コードを入力→[ー](OK)**

**4** **新しいPIN1コード／PIN2コードを入力→[ー](OK)**

- 4〜8桁の数字で入力します。

**5** **もう一度新しいPIN1コード／PIN2コードを入力→[ー](OK)**

注意
- PIN1コードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINコードがロックされ、特定の機能しか使用できなくなります（PINロック）。PINロックの解除にはPINロック解除コード（PUK）が必要です（☞P.1-6）。

# 無断で利用されたくないとき

## 802SEを使用できないようにする(ダイヤル操作禁止)

お買い上げ時 OFF

電源を入れたときやUSIMカードを交換したときに、操作用暗証番号を入力するまで802SEを使用できないよう設定します。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[ロック]→[ダイヤル操作禁止]→[ロック]を選択**

**2 項目を選択**

**[ON]**:電源を入れるたびに操作用暗証番号を入力
**[自動]**:USIMカードを交換するたびに操作用暗証番号を入力

**3 操作用暗証番号を入力→[−](OK)**

補足

・USIMロックを[ON]に設定しているときは、ダイヤル操作禁止を[自動]に設定しても電源を入れるたびに操作用暗証番号の入力が必要になります。

## 電源を入れるたびにPINコードを照合する(USIMロック)

お買い上げ時 OFF

電源を入れたときに、必ずPIN1コードを入力するよう設定します。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[ロック]→[USIMロック]→[ロック]を選択**

**2 [ON]を選択**

**3 PIN1コードを入力→[−](OK)**

注意

・PIN1コードの入力を3回続けて間違えると、PIN1コードがロックされ、特定の機能しか使用できなくなります(PINロック)。PINロックの解除にはPINロック解除コード(PUK)が必要です(☞P.1-6)。

補足

・USIMロックを[ON]に設定すると、ダイヤル操作禁止を[自動]に設定していても電源を入れるたびに操作用暗証番号の入力が必要になります。

# 電話の着信制限

指定した相手からかかってきた電話だけを受けるよう設定できます。すべての電話を拒否することもできます。
- 着信を拒否した電話は、不在着信として記録されます。
- 電話番号を通知してきた相手に限り有効です。
- オプションサービスの「発着信規制サービス」(☞P.16-9)を利用すると、すべての発着信を規制したり、国際電話やローミングによる通話を規制したりできます。

## 着信許可リストを作成する

あらかじめ、着信を許可する相手を電話帳に登録してください。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[通話設定]→[着信許可]を選択**

**2 [リストのみ]を選択→[ー](編集)**

**3 [新規]を選択→[ー](追加)**

電話帳に登録されている名前が表示されます。
- 電話帳にグループを登録している場合は、[ー](**グループ**)を押して、グループで登録することもできます。

**4 着信を許可する相手を選択**

- 続けてリストに追加するときは、操作3～4を繰り返します。

**5 [戻る]**

■ **リストから名前を消去するには**

許可リスト画面で名前を選択→[ー](**消去**)→[ー](**はい**)

## 指定した相手からの着信を許可する

お買い上げ時 | 全着信許可

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[通話設定]→[着信許可]を選択**

**[全着信許可]**：すべての着信を許可
**[リストのみ]**：着信許可リストに登録した相手からの着信のみを許可
**[なし]**：すべての着信を拒否
- [なし]を選択すると、転送電話サービスの設定に従って動作します(☞P.16-3)。

**2 [リストのみ]を選択**

画面に「 」が表示されます。

# 登録内容をお買い上げ時の状態に戻す

## 各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す(設定リセット)

802SEに設定した項目をお買い上げ時の状態(初期設定)に戻します。

- 「設定リセットで初期化される項目」(☞P.29-6)

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[設定リセット]→[設定リセット]を選択**

**2 [－](はい)→操作用暗証番号を入力→[－](OK)**

自動的に電源が切れたあと、再び電源が入ります。

## 電話帳などの登録内容を消去する(すべてリセット)

設定リセットに加えて、操作用暗証番号以外の登録内容やデータをすべて消去し、お買い上げ時の状態に戻します。

- USIMカードや"メモリースティック Duo"に登録されているデータは消去されません。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[設定リセット]→[すべてリセット]を選択**

**2 [－](はい)→操作用暗証番号を入力→[－](OK)**

自動的に電源が切れたあと、再び電源が入ります。

# その他の機能

# 発信時／着信時／通話時の便利な機能

## 国際電話プリフィックスを登録する

あらかじめよく利用する国際電話会社接続番号＋国際電話識別番号（010）を登録しておくと、国際電話をかけるときに便利です（☞P.2-3）。

- 国際電話をかけるには、別途ご契約が必要です。

**1 メインメニューから［ （設定）］→［ （発着信通話設定）］→［通話設定］→［国際電話プリフィックス］→［新規プリフィックス］を選択**

**2 項目を選択→［ー］（追加）**

**［名前］**：任意で識別できる名前を入力
- 全角、半角とも31文字以内で入力します。

**［番号］**：国際電話会社接続番号と国際電話識別番号（010）を入力
- 7桁以内の数字で入力します。

**3 ［ー］（保存）**

■ **プリフィックスを編集／消去するには**

国際電話プリフィックス画面でプリフィックスを選択し、［ー］（**編集**）または［ー］（**消去**）を押します。

## 通話料金の上限を設定する

通話の利用上限金額を設定できます。

お買い上げ時 | 無制限

**1 メインメニューから［ （設定）］→［ （発着信通話設定）］→［通話データ］→［通話料金］を選択**

**2 ［ー］（機能）→［リミット設定］を選択**

**3 PIN2コード（☞P.1-6）を入力→［ー］（OK）**

**4 ［制限あり］を選択→利用上限金額を入力→［ー］（OK）**

注意
- 通話中に上限金額を超えたときは、通話が中断され、使用できなくなります。

15 その他の機能

## 料金表を設定する

USIMカードにあらかじめ設定された分単位の料金を基準にして、料金表示を変更できます。日本国内でUSIMカードを購入した場合は、円を通貨単位とした料金が設定されています。円以外の通貨で料金を表示したい場合に設定します。

- 金額計算に必要な数字はお客様ご自身で設定します。そのため、実際にかかった金額とは相違が出る場合があります。ご了承のうえ、目安としてご利用ください。

| お買い上げ時 | 値:1.00 |
|---|---|

**1** **メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[通話データ]→[通話料金]を選択**

**2** **[ー](機能)→[料金表設定]を選択**

**3** **PIN2コード(☞P.1-6)を入力→[ー](OK)**

**4** **[通貨]を選択**

**5** **項目を入力→[ー](OK)**

**[通貨]**:通貨単位を入力
お客様ご自身で識別可能な名称(英字3文字以内)を入力します。
例:米ドル→USD、円→YEN

**[値]**:基本の単位に対する換算レートを入力
例:基本の単位に対して2倍のレートの場合→2.00

## ステレオイヤホンマイク接続時の応答方法を設定する

**1** **メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[ハンズフリー]→[応答モード]を選択**

**2** **応答方法を選択**

**[通常モード]**:ステレオイヤホンマイクのハンズフリーボタンを押して応答
**[エニーキー]**:どのボタンを押しても応答(エニーキーアンサー)
**[自動]**:一定時間後、自動的に応答

## プッシュトーンを送る

通話中にプッシュトーンを送ることで、802SEからテレフォンバンキングを利用したり、留守番電話を遠隔操作したりできます。

- アナウンスやメッセージに従って、ダイヤルボタンを押してください。
- プッシュトーンには[1]～[9]、[*]、[#]を使用できます。

**1** **通話中に送信する番号を入力**

**プッシュトーンをまとめて送るには**

電話帳の電話番号にプッシュトーンも含めて登録しておくと便利です。番号の間にp（ポーズ）を入れると、ポーズごとにプッシュトーンが送られます。

例:「03123XXXX1p111p222」を登録した場合「03123XXXX1」に電話がかかったあと、自動的に「111」が送られます。続けて「222」が送られます。

補足 ・p（ポーズ）は[*]を長く（1秒以上）押して入力します。

### ■ プッシュトーンの有効／無効を設定する

お買い上げ時 ON

通話中にボタンを押した場合、プッシュトーンとして送るかどうかを設定できます。

**1 通話中に[◉]（[▦]）→[キー操作音ON]／[キー操作音OFF]を選択**

# 音声コマンド

## 音声コマンドで着信を許可／拒否する

音声だけで電話を受けたり拒否したりできます。

### ■ 音声コマンドを設定する

お買い上げ時 無効

**1 メインメニューから[（設定）]→[（全般）]→[音声コマンド]→[音声応答]→[有効にする]を選択→[－]（OK）**

**2 発信音のあとに着信許可用（応答）の音声コマンドを録音→[－]（はい）**

・音声コマンドを録音し直す場合は、[－]（いいえ）を押してください。

**3 発信音のあとに着信拒否用（通話中）の音声コマンドを録音→[－]（はい）**

・音声コマンドを録音し直す場合は、[－]（いいえ）を押してください。

**4 [－]（OK）**

**5 環境を選択→[ー](マーク)**

**[ハンズフリー]**:持ち歩いているときにハンズフリー機能を使用

**[車載ハンズフリー]**:自動車内でハンズフリー機能を使用

- 複数の環境を選択するときは、操作5を繰り返します。選択を解除するときは、[ー](**マーク解除**)を押します。

**6 [ー](保存)**

## 音声コマンドの設定を変更する

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[音声コマンド]→[音声応答]→[コマンド編集]を選択**

**2 音声コマンドを選択→[ー](変更)→[ー](はい)**

- [ー](**再生**)を押すと、音声コマンドが再生されます。

**3 発信音のあとに音声コマンドを録音→[ー](はい)**

- 音声コマンドを録音し直す場合は、[ー](**いいえ**)を押してください。

### ■ 環境の設定を変更するには

音声応答画面で[環境編集]を選択→項目を設定

- 「音声コマンドを設定する」(☞P.15-4)操作5〜6

## 音声コマンドで着信を許可／拒否する

**1 電話がかかってきたら、音声コマンドを話す**

- 電話に応答する場合は「応答」の音声コマンドを、拒否する場合は「通話中」の音声コマンドを話してください。

**注意**

- 音声コマンドがうまく録音できないときや使用できないときは、次の点をご確認ください。
  - 声が小さすぎます。大きな声で話してください。
  - 音声コマンドを話すときにマイク(送話口)から離れすぎています。電話をかけるときと同様の持ちかたで話してください。
  - 音声コマンドが短すぎます。約1秒の長さで設定してください。
  - 音声コマンドを話すタイミングが早すぎるか、または遅すぎます。発信音の直後に音声コマンドを話してください。
  - 音声コマンドが録音されていません。音声コマンドを設定してから使用してください。
  - 音声コマンドと発音が異なっています。音声コマンドを録音したときと同様に発音してください。
- 着信音にMP3データを設定している場合は、音声コマンドで電話を受けることはできません。

## 着信時に音声コマンドを再生する

お買い上げ時 OFF

音声コマンドを登録した電話番号から電話がかかってきたときに、登録した音声コマンドを再生できます。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[音声コマンド]→[発信者名通知]を選択**

**2 [ON]を選択**

# 音声コマンドを利用して電話をかける

電話帳に登録した電話番号に音声コマンドで電話をかけられます。音声コマンドは802SE(本体)のメモリに最大30件まで登録できます。

- メディアプレイヤーを使用しているときは停止してください。

## 音声コマンドを有効にする

お買い上げ時 無効

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[音声コマンド]→[音声ダイヤル]→[有効にする]を選択**

## 音声コマンドを登録/変更/消去する

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[音声コマンド]→[音声ダイヤル]→[名前編集]を選択**

### ■ 音声コマンドを登録するには

[新規音声]→電話帳データを選択→発信音のあとに音声コマンドを録音→[ー](**はい**)

- 電話帳データに複数の電話番号を登録している場合は、 で電話番号を選択してください。

### ■ 音声コマンドを変更するには

音声コマンド一覧画面で電話番号を選択→[ー](**機能**)→[音声変更]を選択→[ー](**はい**)→発信音のあとに音声コマンドを録音→[ー](**はい**)

- [ー](**再生**)を押すと、音声コマンドが再生されます。

### ■ 音声コマンドを消去するには

音声コマンド一覧画面で電話番号を選択→[ー](**機能**)→[音声消去]を選択→[ー](**はい**)

## 音声コマンドで電話をかける

**1 待受画面で[+]/[-](1秒以上)**

- [+]または[-]を押す代わりにマジックワード(☞P.15-7)を利用することもできます。

**2 発信音のあとに音声コマンドを話す**

15 その他の機能

## マジックワードを設定する

お買い上げ時 無効

付属のステレオイヤホンマイクなどを使用して、[+]または[-]を押す代わりにマジックワードと音声コマンドで電話をかけられます。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[音声コマンド]→[マジックワード]→[有効にする]を選択→[ー](OK)**

**2 発信音のあとにマジックワードを録音→[ー](はい)**

- マジックワードを録音し直す場合は、[ー](**いいえ**)を押してください。

**3 [ー](OK)**

**4 環境を選択→[ー](マーク)**

**[ハンズフリー]**：持ち歩いているときにハンズフリー機能を使用
**[車載ハンズフリー]**：自動車内でハンズフリー機能を使用

- 複数の環境を選択するときは、操作4を繰り返します。選択を解除するときは[ー](**マーク解除**)を押します。

**5 [ー](保存)**

## マジックワードを編集する

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[音声コマンド]→[マジックワード]→[マジックワード編集]を選択**

**2 [音声変更]を選択→[ー](はい)**

**[音声再生]**：マジックワードを確認

**3 発信音のあとにマジックワードを録音→[ー](はい)**

### ■ マジックワードの環境を変更するには

マジックワード画面で[環境編集]を選択→項目を設定

- 「マジックワードを設定する」操作4〜5

**注意**

- マジックワードがうまく録音できないときや使用できないときは、次の点をご確認ください。
  - 声が小さすぎます。大きな声で話してください。
  - マジックワードを話すときにマイク（送話口）から離れすぎています。設定するときは、電話をかけるときと同様の持ちかたで録音してください。
  - マジックワードが短すぎます。1秒以上、または複数の音節に区切って録音してください。
  - マジックワードを話すタイミングが早すぎるか、または遅すぎます。発信音の直後にマジックワードを話してください。
  - マジックワードが録音されていません。マジックワードを設定してから使用してください。
  - マジックワードと発音が異なっています。マジックワードを録音したときと同様に発音してください。

**補足**

- 電話帳選択（☞P.5-3）を[USIM電話帳]に設定している場合は、音声コマンドを利用できません。

# アラーム設定

| お買い上げ時 | アラーム(1回):OFF、アラーム(繰返し):OFF、アラーム音:Greeting |
|---|---|

指定した時刻にアラーム音を鳴らします。曜日を指定して、繰り返しアラームを鳴らすこともできます。

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[アラーム]を選択**

**2 各項目を設定**

| 項目 | 操作 |
|---|---|
| アラーム(1回) | 時刻を入力→[−](**保存**)<br>• 解除するときは[−](**OFF**)を押します。 |
| アラーム(繰返し) | 時刻を入力→[−](**OK**)→曜日を選択→[−](**マーク**)→[−](**OK**)<br>• 複数の曜日を選択するときは、曜日を選択して[−](**マーク**)を押す操作を繰り返します。選択を解除するときは[−](マーク解除)を押します。<br>• 解除するときは[−](**OFF**)を押します。 |
| アラーム音 | 登録されているメロディを選択<br>• [−](再生)を押すと、メロディを再生して確認できます。 |

## ■ 指定した時刻になると

指定した時刻になるとアラーム音が鳴り、アラーム音を止めるまで音量が徐々にアップします。アラーム音を止めたあと、一定時間後にもう一度鳴らすこともできます。

**1 アラームを止めるときはいずれかのボタンを押す**

アラーム音が止まります。何も押さずに一定時間経過すると自動的にスヌーズに設定されます。

**2 [−](OFF)/[−](スヌーズ)**

[−](**OFF**):アラームを解除

[−](**スヌーズ**):9分後にもう一度アラームを実行

**補足**

- マナーモードを設定している場合でも、指定した時刻になるとアラーム音は鳴ります。
- バイブレータを[ON]に設定しているときはバイブレータも動作します。
- 802SEの電源を切っている場合は、指定した時刻になると自動的に電源が入りアラーム音が鳴ります。アラーム音を止めると自動的に電源が切れます。
- 通話中に指定した時刻になった場合は、画面にメッセージだけが表示されアラーム音は鳴りません。

# タイマ設定

設定した時間が経過したときに、アラーム音などでお知らせします。

**1 メインメニューから[ （ツール）]→[タイマ]を選択**

**2 時間を入力→[ー]（スタート）**

補足

- アラーム音を止めるときは、いずれかのボタンを押します。
- バイブレータを[ＯＮ]に設定しているときはバイブレータも動作します。

# ストップウォッチ

ラップ機能を使って、9段階に分けて経過時間を計測できます。

**1 メインメニューから[ （ツール）]→[ストップウォッチ]を選択**

**2 [ー]（スタート）**

**3 [ー]（ストップ）／[ー]（新規ラップ）**

[ー]（**ストップ**）：計測を停止

[ー]（**スタート**）を押してから経過した時間が表示されます。

[ー]（**新規ラップ**）：これまでの経過時間を記録して計測を続行

補足

- ラップ時間は8回まで記録できます。9回目は、[ー]（**ストップ**）を押して計測を停止させてください。2回目以降のラップ時間は前回[ー]（**新規ラップ**）を押したときからの経過時間を記録します。
- 記録したラップ時間を確認する場合は、[方向キー]で確認したいラップを表示させてください。
- 計測を停止したあと、[ー]（**再スタート**）を押すと計測を再開できます。
- 計測を停止したあと、[ー]（**リセット**）または[消去]を押すと記録が消去されます。
- 計測中にかかってきた電話に出ると、記録したラップは消去されます。

15

その他の機能

# カレンダー

カレンダーを表示して予定を登録できます。設定した日時になると、画面に内容を表示したり、アラーム音を鳴らしたりできます。

## 予定を登録する

1ヶ月のカレンダー表示画面または1週間表示画面から日付を選択して、予定を登録します。
予定は最大300件まで登録でき、「開始日」と「開始時刻」、「期間」、「件名」、「場所」、「アラーム」を設定できます。アラームを利用すると、メッセージとアラーム音で予定をお知らせします。

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[カレンダー]を選択**

**2 で開始日の日付を選択**

1：1週間前に移動
3：1週間後に移動
4：前月に移動
6：翌月に移動
7：前年に移動
9：翌年に移動

**3 (機能)→[新規]を選択**

**4 各項目を設定**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 開始日 | 年月日を設定<br>• カレンダーで選択した年月日が表示されます。 |
| 開始時刻 | 開始時刻を設定 |
| 期間 | 所要時間を設定<br>• [その他]を選択すると、終了日と終了時刻を設定できます。 |
| 件名 | 全角、半角とも100文字以内 |
| 場所 | 全角、半角とも50文字以内 |
| アラーム | アラームを何分前に鳴らすかを設定<br>• [その他]を選択すると、年月日と時刻を設定できます。 |

**補足**

- アラームは予定の開始日時よりあとには設定できません。
- バイブレータを[ON]に設定しているときは、アラームを設定するとバイブレータも動作します。
- 通話中に指定した日時になった場合は、画面にメッセージだけが表示されアラーム音は鳴りません。

**表示を切り替えるには**

- 1週間表示画面に切り替え：カレンダー表示画面で(**機能**)→[週表示]を選択
- 週の開始曜日の変更：カレンダー表示画面で(**機能**)→[その他の機能]→[週開始日]→開始曜日を選択
- 日時の指定：カレンダー表示画面で(**機能**)→[日付指定]→年月日を入力→(**OK**)

# 予定を表示／編集する

## ■ 予定を表示する

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[カレンダー]を選択**

**2 表示する日を選択→予定を選択→[—](表示)**

## ■ 予定を編集する

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[カレンダー]を選択**

**2 予定を選択→[—](機能)→項目を選択**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 日程変更 | 開始日、開始時刻を修正 |
| 編集 | すべての項目を修正 |
| 送信 | 登録した予定をMMS(☞P.19-6)／Bluetooth通信(☞P.13-4)／赤外線通信(☞P.13-2)で送信 |
| コピー | 登録済みの予定をコピーして、新規に予定を登録 |
| 1件消去 | 選択した予定を消去 |

## ■ 予定をまとめて消去する

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[カレンダー]を選択**

**2 [—](機能)→[その他機能]→[全件消去]を選択**

**3 [前日以前]／[先週以前]／[全件]を選択**

## ■ 予定を検索する

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[カレンダー]を選択**

**2 [—](機能)→[その他機能]→[検索]を選択**

**3 検索する文字を入力→[—](OK)**

入力する文字と一致する件名や場所が登録されている予定が画面に表示されます。

## ■ アラームを有効／無効にする

お買い上げ時　電源ON時有効

予定を登録するときに設定したアラームをすべて有効または無効に設定できます。

- カレンダーのアラームの設定を変更した場合、同時にToDoのアラームも変更されます。

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[カレンダー]を選択**

**2 [—](機能)→[その他機能]→[アラーム]を選択**

**3 項目を選択**

**[有効]**：電源ON／OFF時ともにアラーム音を鳴らす

- 802SEの電源を切っている場合は、指定した日時になると自動的に電源が入りアラーム音が鳴ります。アラーム音を止めると自動的に電源が切れます。

**[無効]**：アラーム音を鳴らさない

**[電源ON時有効]**：電源ON時のみアラーム音を鳴らす

# ToDo

するべきことをToDoに登録したり、電話番号を登録して電話のかけ忘れを防止したりできます。完了したToDoにマークを付けて確認することもできます。
ToDoは最大80件まで登録できます。アラームを利用すると、メッセージとアラーム音でお知らせします。

## ToDoを登録する

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[ToDo]→[新規]を選択**

**2 [ToDo]／[電話をかける]を選択**

**3 項目を登録**

- 期日を設定するときは、アラームを設定してください。

| 項目 | | 内容 |
|---|---|---|
| ToDo | 件名 | 全角、半角とも100文字以内 |
| | アラーム | アラーム音を鳴らす年月日と時刻を設定 |
| 電話をかける | 電話番号 | 電話番号を入力<br>• [ー](**検索**)を押して、電話帳から電話番号を選択できます。 |
| | 件名 | 全角、半角とも100文字以内<br>• 電話番号を入力すると、件名は「電話をかける＋電話番号」に設定されます。件名は修正できますが、電話番号の部分は変更したり消去したりしないようご注意ください。 |
| | アラーム | アラーム音を鳴らす年月日と時刻を設定 |

補足
- バイブレータを[ON]に設定しているときは、アラームを設定するとバイブレータも動作します。
- 通話中に指定した時刻になった場合は、画面にメッセージだけが表示されアラーム音は鳴りません。

## ToDoを表示／編集する

### ToDoを表示する

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[ToDo]を選択**

**2 件名を選択→[ー](表示)**

### ToDoを編集する

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[ToDo]を選択**

**2 件名を選択→[ー](機能)→[編集]を選択**

[コピー]：コピーして、新規ToDoを登録

**3 ToDo／電話番号を修正**

### 完了にする

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[ToDo]を選択**

**2 件名を選択→[ー](機能)→[完了にする]を選択**

件名の左に表示されている「 」／「 」が「 」に変わります。
- 未完了に戻すときは[未完了にする]を選択します。

## ToDoを消去する

例：1件消去する場合

**1** **メインメニューから[ (ツール)]→[ToDo]を選択**

**2** **件名を選択→ー(機能)→[1件消去]→ー(はい)**

### ■ ToDoをまとめて消去するには

ToDo一覧画面でー(**機能**)→[全件消去]→[完了したToDo]／[全件]→ー(**はい**)

## 電話をかける

ToDoを表示して電話をかけることもできます。

**1** **メインメニューから[ (ツール)]→[ToDo]を選択**

**2** **件名を選択→ー(機能)→[電話をかける]を選択→ー(はい)**

## アラームを有効／無効にする

| お買い上げ時 | 電源ON時有効 |
|---|---|

ToDoを登録するときに設定したアラームをすべて有効または無効に設定できます。

- ToDoのアラームの設定を変更した場合、同時にカレンダーのアラームも変更されます。

**1** **メインメニューから[ (ツール)]→[ToDo]を選択**

**2** **件名を選択→ー(機能)→[アラーム]を選択**

**3** **項目を選択**

**[有効]**：電源ON／OFF時ともにアラーム音を鳴らす

- 802SEの電源を切っている場合は、指定した時刻になると自動的に電源が入りアラーム音が鳴ります。アラーム音を止めると自動的に電源が切れます。

**[無効]**：アラーム音を鳴らさない

**[電源ON時有効]**：電源ON時のみアラーム音を鳴らす

## ToDoを送信する

**1** **メインメニューから[ (ツール)]→[ToDo]を選択**

**2** **件名を選択→ー(機能)→[送信]を選択**

MMS(☞P.19-6)やBluetooth通信(☞P.13-4)、赤外線通信(☞P.13-2)で、選択したToDoを送信できます。

# メモ

802SEのメモにテキストを記録できます。メモは最大10件まで作成できます。

## メモを登録する

**1** **メインメニューから[ (ツール)]→[メモ]→[新規メモ]を選択**

**2** **テキストを入力→[ー](保存)**

- 全角、半角とも254文字以内で入力します。

## メモを確認する

**1** **メインメニューから[ (ツール)]→[メモ]を選択**

**2** **メモを選択→[ー](表示)**

## メモを編集／送信／消去する

**1** **メインメニューから[ (ツール)]→[メモ]を選択**

**2** **メモを選択→[ー](機能)**

**3** **項目を選択**

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| 編集 | メモを修正<br>• 「メモを登録する」 |
| 待受画面で表示／待受画面で非表示 | 待受画面にメモを表示／非表示 |
| 送信 | 登録したメモをMMS(☞P.19-6)、Bluetooth通信(☞P.13-4)、赤外線通信(☞P.13-2)で送信 |
| 消去 | メモを消去 |

# 電卓

9桁までの数値の計算ができます(小数点(.)は含みません)。また、数値を1件、一時的に記録できます。

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[簡易電卓]を選択**

**2 計算する**

- ダイヤルボタンで数字を入力し、で計算記号を選択してください。
- 消去を押すと、直前に入力した数字を消去できます。
- 消去を長く(1秒以上)押すと、計算結果が消去されます。
- 入力した数値の+や-を切り替えるには、(**機能**)を押して[+/-]を選択してください。
- 入力したり計算した数値を1件、メモリに記録しておき、必要なときに呼び出せます。
  - メモリに記録するには、(**機能**)を押して[メモリに保存]を選択してください。
  - メモリを呼び出すには、(**機能**)を押して[メモリ呼出]を選択してください。
  - (**機能**)を押して[メモリ消去]を選択するか、簡易電卓を終了すると、メモリは消去されます。

# モード設定

モードを選択するだけで、802SEを使用する環境や状況に合わせた設定に切り替えられます。

## モードを選択する

お買い上げ時 通常

あらかじめ用意されている「通常」や「会議」、「運転」、「屋外」、「ハンズフリー」、「自宅」、「会社」から、状況に合わせて使用するモードを選択できます。

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[モード設定]→[モード選択]を選択**

**2 モードを選択**

補足

- モード設定画面で[現在の設定]を選択すると、現在選択しているモードの設定状況を確認できます。

## モードを編集する

選択したモードをお好みの設定に変更できます。

**1 メインメニューから[（設定）]→[（全般）]→[モード設定]→[編集]を選択**

**2 項目を選択**

| 項目 | 操作 |
|---|---|
| 着信音量 | ／で調節→（**保存**） |
| 着信音選択 | 着信音を選択 |
| マナーモード | [ON]／[OFF]を選択 |
| ステップアップトーン | [ON]／[OFF]を選択 |
| バイブレータ設定 | [ON]／[ON（マナーモードのみ）]／[OFF]を選択 |
| メール着信音 | メール着信音を選択 |
| キー操作音 | [OFF]／[クリック音]／[トーン]を選択 |
| アラーム音 | アラーム音を選択 |
| バックライト | [ON]／[OFF]／[自動]を選択 |
| 転送設定 | [開始]／[停止]／[ステータス取得]を選択 |
| 着信許可 | [全着信許可]／[リストのみ]／[なし]を選択 |
| 応答モード | [通常モード]／[エニーキー]／[自動]を選択 |
| モード名 | テキストを入力→（**OK**）<br>• 選択しているモードが[通常]の場合は変更できません。 |
| アクセサリ | リストにアクセサリを追加／消去して、モード設定に反映<br>追加：[新規アクセサリ]を選択→（**追加**）→アクセサリを選択<br>消去：アクセサリを選択→（**消去**）→（**はい**）<br>• 選択しているモードが[通常]の場合は変更できません。 |

**補足**

- アクセサリを登録した場合、登録した機器を接続すると自動的にモードが切り替わります。
- モード設定画面で[モードリセット]を選択すると、編集したモードをまとめてリセットできます。

# コードメモ

クレジットカードの番号やパスワードなどの個人情報を登録しておくことができます。コードメモに登録した内容はパスコードとチェックワードで保護されます。

## パスコード／チェックワードの登録

初めてコードメモを使用するときは、登録内容を保護するためのパスコードとチェックワードを登録します。

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[コードメモ]を選択→[ー](OK)**

**2 新規パスコードを入力→[ー](OK)→確認のためパスコードを再入力→[ー](OK)**

- 4桁の数字で入力します。

**3 新規チェックワードを入力→[ー](OK)**

- 英数字15文字以内で入力します。

■ **パスコード／チェックワードを変更するには**

コードメモ画面から[ー](**機能**)→[パスコードの変更]を選択

**パスコード／チェックワードについて**

パスコードやチェックワードは、コードメモの登録内容を表示する前に本人かどうかを確認するために設定します。

## コードメモを登録する

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[コードメモ]を選択**

**2 パスコードを入力→[ー](OK)**

**3 [新規コード]を選択→[ー](追加)**

**4 項目を設定**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 名前 | 登録するコードの名前を入力<br>全角、半角とも15文字以内 |
| コード | クレジットカード番号やパスワードを入力<br>半角英数字15文字以内 |

**5 [ー](OK)**

## コードメモを表示／編集する

### ■ コードメモを表示する

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[コードメモ]を選択**

**2 パスコードを入力→[ー](OK)**

**3 コードを選択→[ー](表示)**

## コードメモを編集する

**1 メインメニューから[ (ツール)]→[コードメモ]を選択**

**2 パスコードを入力→[－](OK)**

**3 コードを選択→[－](機能)→項目を選択**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| コード編集 | 名前、コードの修正→[－](OK) |
| コード消去 | 選択したコードを消去 |
| パスコードの変更 | パスコードを変更 |
| リセット | パスコードやチェックワード、登録したすべてのコードメモを消去 |

# 電池の消耗を抑える

お買い上げ時 OFF

電池の消耗を抑えるために、802SEをパワーセーブモードに設定できます。パワーセーブモードを設定すると、802SEの状態は次のようになります。

- スキンが[Power Saving]に設定(☞P.8-3)
- ディスプレイの照明の明るさが50に設定(☞P.8-4)
- スリープモードクロックがOFFに設定(☞P.8-4)
- ボタン操作音がOFFに設定(☞P.9-4)
- 赤外線通信(☞P.13-2)とBluetooth通信(☞P.13-4)がOFFに設定

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (全般)]→[パワーセーブ]を選択→[－](はい)**

補足

- パワーセーブモードを解除するときは、各機能ごとに設定を変更してください。

15

その他の機能

# オプションサービス

# オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスが利用できます。
- 電波の届かない場所では、802SEからは操作できません。
- 一般電話からの操作、ご利用にあたっての詳細は『3Gガイドブック』をご覧ください。

**転送電話サービス**

電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときにかかってきた電話を指定した電話番号へ転送します（☞P.16-3）。

**留守番電話サービス（別途お申し込みが必要です。）**

電波の届かない場所にいるときや通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします（☞P.16-4）。

**割込通話サービス（別途お申し込みが必要です。）**

通話中の相手を保留にし、別の相手からの電話を受けられます。また、相手を切り替えながら通話することもできます（☞P.16-6）。

**多者通話サービス（別途お申し込みが必要です。）**

通話中に別の相手に電話をかけられます。相手を切り替えながら通話したり、最大で6人同時に通話したりできます（☞P.16-7）。

**発着信規制サービス**

電話をかけたり受けたりすることを状況に合わせて制限できます（☞P.16-9）。

**発信者番号通知サービス**

お客様の電話番号を相手に通知したり、かけてきた相手の電話番号を確認したりできます。

補足
- TVコールでは一部ご利用になれないサービスがあります。

# 転送電話サービス

音声通話やTVコールを指定した電話番号へ転送します。

## 転送電話サービスを開始する

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[留守番・転送設定]を選択**

**2 電話の種類を選択**

**[音声通話]**:音声通話を転送
**[TVコール]**:TVコールを転送
**[FAXコール]**:FAXコールを転送
**[データコール]**:データコールを転送
**[すべてチェック]**:すべての設定状況を確認(☞P.16-4)
**[すべて停止]**:すべての設定を停止(☞P.16-4)

**3 条件を選択**

**[呼出なし]**:すべての着信を転送(着信音は鳴りません。)
**[通話中時]**:通話中のときに転送
**[電源OFF/圏外時]**:電源を切っているとき/圏外のときに転送
**[呼出あり]**:呼び出し時間内に電話に出られなかったときに転送

**4 [開始]を選択**

**5 電話番号を入力→[ー](OK)**

[呼出なし]に設定すると、画面に「 」が表示されます。

- 一般電話は市外局番から入力してください。
- [ー](**検索**)を押すと、電話帳から電話番号を入力できます。

### ■ 転送先を留守番電話サービスセンターに設定するには

転送先設定画面で留守番電話サービスセンターの番号(090-6651-7000)を入力します(☞P.16-4)。

**注意**

- 転送電話サービスと留守番電話サービスは同時に利用できません。すでに留守番電話サービスを開始しているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止します。
- 発着信規制サービスの[すべての発信]または[すべての着信]を設定している場合は、転送電話サービスはご利用になれません。

**補足**

- 次の電話番号は転送先として登録できません。
  - 「1」から始まる電話番号(例:110、119、118など)
  - 「00」から始まる電話番号(例:001、0041から始まる国際電話番号など)
  - 「0120」から始まる電話番号(フリーダイヤル)
  - 「0990」から始まる電話番号(ダイヤルQ2など)

**[呼出あり]に設定後に電話がかかってきたときは**

着信中(呼び出し時間内)に[ー](**はい**)を押すとそのまま通話できます。着信音の呼び出し時間は変更できません。

## 転送電話サービスをすべて停止する

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[留守番・転送設定]→[すべて停止]を選択**

補足
- 電話の種類ごとに停止することもできます。「転送電話サービスを開始する」(☞P.16-3)操作1～3→[停止]を選択

## 転送電話サービスの設定状況を確認する

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[留守番・転送設定]→[すべてチェック]を選択**

補足
- 電話の種類ごとに設定状況を確認することもできます。「転送電話サービスを開始する」(☞P.16-3)操作1～3→[ステータス取得]を選択

# 留守番電話サービス

**別途お申し込みが必要です。**

電波の届かない場所にいるときや電話に出られないときなどに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。TVコールの着信にはご利用になれません。
- 留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は『3Gガイドブック』をご覧ください。

## 留守番電話サービスを開始する

転送電話サービスで設定する転送先に留守番電話サービスセンターの番号を登録します。
- 「転送電話サービスを開始する」(☞P.16-3)

注意
- 留守番電話サービスと転送電話サービスは同時に利用できません。すでに転送電話サービスを開始しているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止します。
- 発着信規制サービスの[すべての発信]または[すべての着信]を設定している場合は、留守番電話サービスはご利用になれません。

補足
- 海外からも留守番電話サービスを利用できます。ただし、海外から伝言メッセージを聞いたり、留守番電話サービスの設定を変更したりするときは、別の操作が必要になります。詳しくは『国際ローミングサービスガイド』をご覧ください。

オプションサービス

16

**留守番電話サービス開始後に電話がかかってきたときは**
着信中(呼び出し時間内)に[ー](**はい**)を押すとそのまま通話できます。呼び出し時間は変更できません。

## 留守番電話サービスを停止する

転送電話サービスの設定を停止するか、転送先から留守番電話サービスセンターの番号を消去します。
• 「転送電話サービスをすべて停止する」(☞P.16-4)

## 伝言メッセージを聞く

留守番電話サービスセンターに新しい伝言メッセージが入ると、画面に「新規留守番電話 チェックしますか?」や「 」が表示されます。[ー](**はい**)を押すと留守番電話サービスセンターに接続され、伝言メッセージを聞けます。

### ■ 伝言メッセージ再生用番号(1416)を登録する

802SEに伝言メッセージ再生用番号(1416)を登録しておくと便利です。

**1 メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[留守番電話番号]を選択**

**2 伝言メッセージ再生用番号(1416)を入力→[ー](OK)**

補足
• 初めて登録するときは、メインメニューから[ (メール)]→[留守番電話再生]→[ー](**はい**)を押しても登録できます。

### ■ 伝言メッセージを再生する

**1 待受画面で[1](1秒以上)**

ガイダンスの指示に従って操作してください。

補足
• メインメニューから[ (メール)]→[留守番電話再生]を選択しても伝言メッセージを聞けます。
• 802SEから伝言メッセージを聞くと、「新規留守番電話 チェックしますか?」や「 」は自動的に消えます。(一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。)また、手動で消すこともできます。

## 留守番電話サービスの設定状況を確認する

転送電話サービスの転送先に留守番電話サービスセンターの番号が登録されているかを確認します。
• 「転送電話サービスの設定状況を確認する」(☞P.16-4)

# 割込通話サービス

**別途お申し込みが必要です。**

通話中に別の相手からの電話を受けられます。また、通話中の相手と保留中の相手を切り替えて通話できます。TVコールではご利用になれません。

## 割込通話サービスを設定する

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[通話設定]→[割込通話]を選択**

**2 [開始]を選択**

## 割込通話サービスを停止する

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[通話設定]→[割込通話]を選択**

**2 [停止]を選択**

## 割込通話サービスの設定状況を確認する

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[通話設定]→[割込通話]を選択**

**2 [ステータス取得]を選択**

## 割込通話を受ける

割込通話を受けると割込音が聞こえ、割込通話の応答画面が表示されます。

**1 通話中に割込音が聞こえたら、応答方法を選択**

**[応答]**:通話中の相手を保留にし、別の相手からの電話を受ける

**[通話中]**:別の相手からの電話を受けずに、そのまま通話

**[通話呼切替]**:通話中の相手との電話を切り、別の相手からの電話を受ける

■ **割込通話中に通話の相手を切り替えるには**

[ー](**切替**)を押します。

■ **割込通話中に通話中の電話を切るには**

[ー](**通話終了**)を押し、確認画面で[ー](**はい**)を押すと保留中の相手との通話に戻ります。通話中の相手が電話を切ったときは、[ー](**解除**)を押すと保留中の相手との通話に戻ります。

■ **すべての通話を終了するには**

[ー](**通話終了**)を2回押します。

**補足**

- 通話中に割込通話を受けると、着信音やバイブレータは動作しません。割込音が聞こえ、割込通話の応答画面が表示されます。保留中に割込通話を受けると、着信音やバイブレータは動作します。
- 割込通話中にさらにもう1人から着信があったときは、どちらか一方の相手の電話を切らなければ割込通話を受けられません。割込通話の応答画面で[通話中]または[通話呼切替]を選択します。
- 留守番電話サービス／転送電話サービスを開始しているとき、通話中にかかってきた電話を受けなければ、その電話は留守番電話サービスセンター／転送先に転送されます。
- 留守番電話サービス／転送電話サービスで[呼出なし]に設定しているときは、割込通話は受けられません。直接、留守番電話サービスセンター／転送先に転送されます。

**注意**

- 割込通話サービスは国際電話ではご利用になれません。

# 多者通話サービス

**別途お申し込みが必要です。**

通話中に別の相手に電話をかけ、相手を切り替えながら通話したり、自分も含め最大で6人同時に通話したりできます。TVコールではご利用になれません。

## 通話中に別の相手へ電話をかける

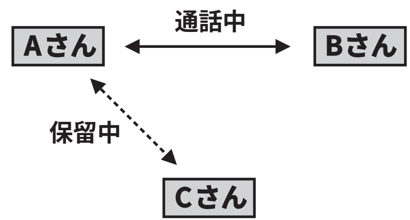
**1 通話中に[ー](保留)→電話番号を入力→[ー](発信)**

- 電話帳や履歴を使っても電話をかけられます(☞P.2-9)。

## 相手を切り替えながら通話する(切替通話)

**1 通話中に[ー](切替)**

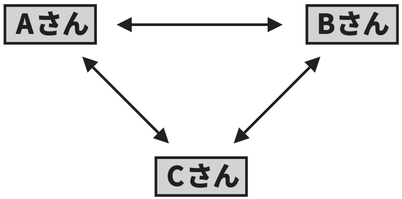
- [ー](**切替**)を押すたびに通話が切り替わります。



## 複数で同時に通話する(多者通話)

**1 切替通話中に◉(▦)→[多者通話]を選択**

複数で同時に通話できます。




### ■ さらに相手を追加するには

① 多者通話中に[ー](**保留**)→電話番号を入力→[ー](**発信**)
先に通話していた多者通話と新しくかけた相手との切替通話になります。

② ◉(▦)→[多者通話]を選択
すべての人と同時に通話できます。

### ■ 通話を終了するには

多者通話中に[ー](**通話終了**)を押すと、すべての相手との通話が同時に切れます。また、802SEを閉じても通話を終了できます。ただし、ステレオイヤホンマイクをつけている場合は802SEを閉じても通話は終了しません。

- 多者通話中に通話中の相手が電話を切ったときは、残った人での通話になります。

補足

- 複数で通話しているとき、その中の1人だけと通話することもできます。

① 多者通話中に◉(▦)→[個別通話]を選択
現在通話中の相手の一覧が表示されます。

② 通話する相手を選択
選択した相手と通話できます。残りの人も多者通話を続けられます。(切替通話状態となります。)

# 発着信規制サービス

電話をかけたり、電話を受けたりすることをSMSも含めて制限します。

- サービスをご利用になるためには、発着信規制用暗証番号が必要になります。発着信規制用暗証番号とは、ご契約時にお決めいただいた発着信規制サービス専用の4桁の暗証番号(☞P.1-23)です。

注意
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始している場合は、[すべての発信]および[すべての着信]はご利用になれません。[すべての発信]または[すべての着信]を設定すると、SMSの発着信のみ制限します。
- 発着信規制用暗証番号の入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先(☞P.29-17)までご連絡ください。

## 発着信規制を設定する

**1 メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[通話設定]→[通話規制]を選択**

**2 設定する項目を選択**

**[すべての発信]**:緊急電話番号(☞P.2-3)を除くすべての発信を規制

**[国際発信]**:国際電話の発信を規制

例:イギリス滞在中→イギリス国内へのみ発信可能

**[国際ローミング発信]**:日本を除く国際電話の発信を規制

例:イギリス滞在中→イギリス国内と日本へのみ発信可能

**[すべての着信]**:すべての着信を規制

**[ローミング時の着信]**:海外にいる間の着信を規制

**[すべて停止]**:すべての設定を解除

**[パスワード変更]**:発着信規制用暗証番号の変更(☞P.16-10)

**3 [開始]を選択**

**4 発着信規制用暗証番号(4桁)を入力→[ー](OK)**

補足
- 発信規制中に電話をかけようとすると発信規制中である旨のメッセージが表示されますが、お客様がご利用になる地域によっては表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。

## 発着信規制をすべて解除する

**1** メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[通話設定]→[通話規制]を選択

**2** [すべて停止]を選択

**3** 発着信規制用暗証番号(4桁)を入力→ (OK)

補足
- 項目ごとに解除することもできます。
「発着信規制を設定する」(☞P.16-9)操作1～2→[停止]を選択

## 発着信規制サービスの設定状況を確認する

**1** メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[通話設定]→[通話規制]を選択

**2** 項目を選択

**3** [ステータス取得]を選択

## 発着信規制用暗証番号を変更する

**1** メインメニューから[ (設定)]→[ (発着信通話設定)]→[通話設定]→[通話規制]を選択

**2** [パスワード変更]を選択

**3** 現在の発着信規制用暗証番号(4桁)を入力→ (OK)

**4** 新しい発着信規制用暗証番号(4桁)を入力→ (OK)

**5** もう一度新しい発着信規制用暗証番号(4桁)を入力→ (OK)

Vodafone live!

# Vodafone live!をご利用になる前に

## Vodafone live!概要

Vodafone live!は、Vodafone live!対応の携帯電話を利用して、メール、ウェブ、Vアプリが利用できる通信サービスです。

### ■ メール

海外でも日本国内と同様にメッセージをやりとりできます。

| SMS | MMS |
|---|---|
| ボーダフォン携帯電話どうしでご契約の電話番号を宛先として、短い文字メッセージを送受信できます。 | ボーダフォン携帯電話やパソコン、E-mailに対応した携帯電話などとの間で、長い文字メッセージや画像、サウンドなどを送受信できます。 |

**リトライ機能**

相手が電波の届かない場所にいたり、電源が入っていないなどの理由でメールが受信されない場合は、サービスセンターにメールが保管されます。
保管されたメールは相手が受信するまでSMSは最大72時間、MMS受信通知は最大24時間繰り返し配信されます。時間内に相手が受信しない場合は、SMSおよびMMS受信通知が消去されます。

### ■ ウェブ

インターネットに接続していろいろなコンテンツにアクセスできるサービスです。情報の検索、画像やサウンドの入手などを行えます。

| メニューからアクセス | インターネットアクセス |
|---|---|
| サービスを選択して、コンテンツを入手できます。 | URLを入力して、インターネットのホームページ上からコンテンツを入手できます。 |

### ■ Vアプリ

ゲームや3D画像など、いろいろなアプリケーションをダウンロードして利用できます。

| ウェブからダウンロード | ネットワーク接続型Vアプリ |
|---|---|
| Vアプリを提供しているウェブページからダウンロードして利用できます。 | ネットワーク接続型のゲームを楽しんだり、リアルタイムに情報を入手したりできます。 |
| **便利な機能**<br>Vアプリをスクリーンセーバーに設定したり、設定した時刻に自動的に起動したりできます。 | |

・ 802SEではボーダフォン携帯電話専用のVアプリのみ利用できます。

補足

・各サービスの通信料や詳細は『3Gガイドブック』をご覧ください。

# E-mailアドレスの設定

ウェブにアクセスして、オリジナルメール設定のウェブページからE-mailアドレスと発信者名を設定します。
• 「ウェブページの操作のしかた」(☞P.23-4)

**1 メインメニューから[ (Vodafone live!)]→[My Vodafone]→[オリジナルメール設定]を選択**

**2 操作用暗証番号を入力→[OK]を選択**

オリジナルメール設定の設定メニューページが表示されます。以降、画面の指示に従って操作してください。

補足
• 設定メニューページで[設定の確認]を選択すると、オリジナルメール設定の設定状況を確認できます。

## E-mailアドレスを変更する

E-mailアドレスのアカウント名(「@」の前の部分)を変更できます。迷惑メール防止のためにもオリジナルE-mailアドレスの設定をおすすめします。

**1 設定メニューページで[メールアドレス編集]を選択**

**2 新しいE-mailアドレスを入力→[OK]を選択**

• 半角3～30文字で入力します。

# メール受信

# 新着メールの確認

メールを受信すると、メール着信音などでお知らせします。画面に着信メッセージと「📩」（SMS）または「📩」（MMS）が表示され、メールの種類と送信元を確認できます。
受信メール、送信メール、下書きの合計で、SMSは最大200件まで、MMSは最大100件まで保存できます。また、MMSの受信通知はさらに加えて5件を保存できます。

**1 着信メッセージ画面で［ー］（はい）**

1件表示画面が表示されます。

- ［ー］（**いいえ**）を押すと、未読メールとして受信メールボックスに保存されます（☞P.20-2）。

**補足**

- 通話中にメールを受信したときは、メール着信音などでお知らせします。通話終了後に着信メッセージが表示されます。
- 一度に複数のメールを受信したときは、メール一覧画面が表示されます。メールを選択して［ー］（**表示**）を押すと、内容を確認できます。
- 未読メールがある場合は、画面に「📩」（SMS）や「📩」（MMS）が表示されます。また、スリープモード画面ではSMSやMMSの未読メールのイラストが表示されます。
- E-mailを受信した場合は、MMSとして表示されます。
- 802SEのメモリがいっぱいの場合は、不要なメールを消去してから新しいメールを保存してください。

## サブディスプレイでメールを確認する

802SEを閉じているときにメールを受信した場合は、サブディスプレイにメッセージが表示され、送信元を確認できます。

**1 802SEを開く**

画面に着信メッセージが表示されます。

**2 メールを確認**

## MMSの続きを受信する

MMSを受信する場合は、MMSの一部を受信通知として受け取り、受信通知を確認してからMMSの続きを受信できます。あらかじめ、MMSの続きの受信方法を設定しておいてください（☞P.22-5）。

**1 着信メッセージ画面で［ー］（はい）**

**2 受信通知のプレビュー画面で［ー］（表示）→［ー］（はい）**

MMSの続きの受信を開始します。

- あとでMMSの続きを受信するときは、［ー］（**いいえ**）を押します。受信通知が受信メールボックスに保存されます。

■ **受信メールボックスの受信通知からMMSの続きを受信するには**

① 受信メールボックスの受信通知を選択→［ー］（**プレビュー**）
② 受信通知のプレビュー画面で［ー］（**表示**）→［ー］（**はい**）

補足
- 受信が終わるとMMSの1件表示画面が表示されます。
- 自動取得(☞P.22-5)の設定によっては、ダウンロードの確認画面を表示せずに、MMSの続きを受信します。
- 電波の届かない場所にいたり、電源が入っていなかったりなどでMMSの受信通知が届かない場合は、メールリストを使用してMMSを受信してください(☞P.21-2)。

## 受信したメールを利用する

新着メールの1件表示画面から、返信、転送、電話の発信ができます。

### すぐに返信する

**1** **1件表示画面で[ー](返信)**

**2** **[SMS]／[MMS]を選択→メールを作成→メールを送信**

- 「SMSの送信」(☞P.19-2)、「MMSの送信」(☞P.19-6)

補足
- 返信するMMSに「Cc」の宛先がある場合は、返信にも同じ「Cc」が設定されます。
- MMSで返信する場合は、件名に「Re:」が自動的に追加されます。
- MMSに返信する場合は、SMS／MMSの選択画面が表示されません。

### すぐに転送する

**1** **1件表示画面で[ー](機能)→[転送]を選択**

**2** **メールを編集→宛先を指定→メールを送信**

- 「SMSの送信」(☞P.19-2)、「MMSの送信」(☞P.19-6)

補足
- MMSを転送する場合は、件名に「Fw:」が自動的に追加されます。
- 転送元のメール(SMS／MMS)と同じ種類のメールで転送します。
- 転送元のメールに添付されているファイルも転送されます。

### 送信元へ電話をかける

**1** **1件表示画面で[ー](機能)→[電話をかける XXXX(XXXX:電話番号／電話帳に登録した名前)]を選択**

# メール送信

# ＳＭＳの送信

全角、半角とも70文字以内の文字メッセージを送信します。

## SMSを作成する

### 作成の流れ

**メッセージ入力画面**
- 文字メッセージを入力する(☞P.19-3)
- ファイルを挿入する(☞P.19-5)

⇩

**送信画面**

SMSの宛先を指定する(☞P.19-4)
- 直接入力する
  - ボーダフォン携帯電話番号
- データを呼び出す
  - 電話帳
  - 送信履歴
  - グループ

⇩

**メール送信画面**
- オプションを設定する(☞P.19-5)
- SMSの宛先を追加する(☞P.19-4)

⇩

**SMSを送信する**

## 操作手順

**1 メインメニューから[ (メール)]→[新規作成]→[SMS]を選択**

メッセージ入力画面が表示されます。

**2 メッセージを入力→[ー](OK)**

- 「本文を入力する」

送信画面が表示されます。

**3 宛先を指定**

- 「宛先を指定する」(☞P.19-4)

メール送信画面が表示されます。

**4 オプションを設定**

- 「送信オプションを設定する」(☞P.19-5)

**5 [ー](送信)**

補足

- 送信中に802SEを閉じても送信は中断されません。
- 送信に失敗したSMSは下書きボックスに保存されます。

**SMS作成中の着信について**

- 電話がかかってきたときは、着信を拒否するとSMSの作成を続けられます。電話に応答した場合は、作成途中のSMSが下書きボックスに保存されます(☞P.20-2)。
- メールを受信したときは、メール着信音などでお知らせします。画面に「」(SMS)または「」(MMS)が表示され、SMS作成を終了すると着信メッセージが表示されます(☞P.18-2)。

## 本文を入力する

**1 メッセージ入力画面でメッセージを入力→[ー](OK)**

### ■ テキスト書式を設定するには

英数字モード時は、書式を設定したメッセージを入力できます。

① メッセージ入力画面で[ー](**機能**)→[テキスト書式]を選択

**[テキストサイズ]**:文字のサイズを変更

**[テキストスタイル]**:文字の種類を変更

- 複数の文字の種類を選択できます。

**[整列]**:文字の配置を変更

**[新規段落]**:新しい段落を作成して文字の配置を設定

② 各項目を設定

補足

- メッセージ入力画面で[ー](**機能**)を押して[ファイル添付]を選択すると、静止画やメロディ、SMSのテンプレートなどを挿入できます(☞P.19-5)。
- 文字メッセージの入力を中断するには、[戻る]→[ー](**はい**)を押します。

## ■ 宛先を指定する

宛先にはボーダフォン携帯電話番号を最大20件まで指定できます。宛先は電話帳や送信履歴から選択することもできます。

**1 送信画面(☞P.19-2)で宛先を指定**




送信履歴

**[電話番号入力]**:直接電話番号を入力

**[電話帳検索]**:電話帳から電話番号を選択

- 1件の電話帳データに複数の電話番号を登録している場合は、(十字キー)で電話番号を選択してください。

- 送信履歴から宛先を指定するときは、送信画面に表示されている電話番号から選択します。

**補足**

- 電話帳検索画面で[－](**機能**)を押すと、次の宛先を指定することもできます。
  - USIMカードの電話帳
  - 電話帳に登録されていない発着信履歴
  - 電話帳のグループ

### 複数の宛先に送信するには

1件のSMSには複数の電話番号を宛先(To)に指定できます。

**1 メール送信画面で[－](機能)→[送信先確認]を選択**

**2 [－](追加)→宛先を指定**

- 「宛先を指定する」
- 複数の宛先を指定する場合は、操作2を繰り返します。

**3 [－](OK)**

**補足**

- 電話帳データから複数の電話番号を指定して送信することもできます。
  ① 送信画面で[電話帳検索]を選択→[－](**機能**)→[複数にマーク]を選択
  ② 電話番号を選択→[－](**マーク**)
  - 複数の電話番号を選択するときは、操作②を繰り返します。選択を解除するときは[－](**マーク解除**)を押します。
  - [－](**機能**)を押して[全マーク解除]を選択すると、電話帳のすべての電話番号を選択解除できます。
  ③ [－](**機能**)→[次へ]を選択

## 画像／サウンドファイルなどを挿入する

データフォルダに保存されている画像やサウンドなどのファイルをSMSに挿入して送信できます。

**1 メッセージ入力画面で[－](機能)→[ファイル添付]→挿入するファイルを選択**

### ■ SMSに挿入できるファイルの種類

| ファイル | フォーマット |
|---|---|
| 画像 | EMS |
| サウンドエフェクト | お買い上げ時に登録されているサウンド |
| メロディ | iMelody |
| アニメーション | EMS |
| テンプレート | SMSのテンプレート<br>•「テンプレートを利用する」(☞P.22-6) |
| 画像メール | 特殊フォーマット |

## 送信オプションを設定する

| お買い上げ時 | SMSタイプ:テキスト、返信要求:OFF、有効期間:指定しない、配信レポート:OFF |
|---|---|

SMSを送信するたびにオプションを設定できます。

**1 メール送信画面で[－](機能)→[送信オプション]を選択**

**2 項目を選択→[－](編集)→各項目を設定**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| SMSタイプ | SMSの種類を送信先に合わせる |
| 返信要求 | 宛先に返信を求めるメッセージを表示 |
| 有効期間 | サービスセンターにSMSが保管される期間(☞P.22-2)を設定 |
| 配信レポート | SMSが届いたかどうかを確認するレポートを表示 |

**3 [－](OK)**

補足

- 設定したオプションは、SMSを送信したあとお買い上げ時の設定に戻ります。
- あらかじめ、SMSのすべてに送信オプションを設定することもできます(☞P.22-2)。

# ＭＭＳの送信

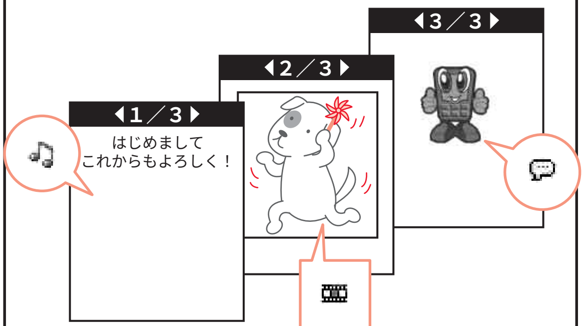
画像やサウンドなどのアイテムをページに添付して、スライドショーのように表示できます。最大300KBまでのMMSを送信します。

## MMSを作成する

### ■ 作成の流れ

**ページ作成画面**

ページを作成する（☞P.19-8）




↓

**送信先追加画面**

MMSの宛先を指定する（☞P.19-11）

- 直接入力する
  - ボーダフォン携帯電話番号
  - E-mailアドレス
- データを呼び出す
  - 電話帳
  - 送信履歴
  - グループ

↓

**メール送信画面**

- オプションを設定する（☞P.19-12）
- MMSの宛先を追加する（☞P.19-11）
- 件名を入力する（☞P.19-11）
- データを添付する（☞P.19-12）

↓

**MMSを送信する**

■ 操作手順

**1** **メインメニューから[ （メール）]→[新規作成]→[MMS]を選択**

ページ作成画面が表示されます。

**2** **ページを作成→[ー](機能)→[送信]を選択**

- 「ページを作成する」(☞P.19-8)

送信先追加画面が表示されます。

**3** **宛先を指定**

- 「宛先を指定する」(☞P.19-11)

メール送信画面が表示されます。

**4** **オプションを設定**

- 「送信オプションを設定する」(☞P.19-12)

**5** **[ー](送信)**

MMSは未送信メールボックスに一時的に保存されたあと、自動的に送信されます。

**MMS作成中の着信について**

- ページを作成中に電話がかかってきたときは、[ー](**はい**)を押すとそのまま電話に出られます。通話を終了する場合は、[ー](**機能**)を押して[通話終了]を選択してください。
- 送信先追加画面またはメール送信画面で作成中に電話がかかってきたときは、[ー](**いいえ**)を押して着信を拒否するとMMSの作成を続けられます。[ー](**はい**)を押して電話に応答した場合は、作成途中のMMSが下書きボックスに保存されます(☞P.20-2)。
- メールを受信したときは、メール着信音などでお知らせします。画面に「」(SMS)または「」(MMS)が表示され、MMS作成を終了すると着信メッセージが表示されます(☞P.18-2)。

## ページを作成する

ページごとに静止画やアニメーション、サウンド、動画、文字メッセージなどを添付して作成します。

**1 ページ作成画面で[ー](追加)→各アイテムを添付**

| アイテム | 内容 |
|---|---|
| カメラ | 静止画／動画を撮影して添付<br>• 「静止画／動画の撮影」(☞P.7-5) |
| 画像 | 静止画／アニメーションを添付<br>• [ー](**情報**)を押すと、ファイルの情報を確認できます。 |
| テキスト | 文字メッセージを入力<br>• [ー](**機能**)を押して[ファイル添付]を選択すると、SMSのテンプレートを挿入できます(☞P.22-6)。 |
| サウンド | サウンドを添付<br>• [ー](**機能**)を押して[再生]を選択すると、サウンドが再生されます。<br>• [ー](**機能**)を押して[情報]を選択すると、ファイルの情報を確認できます。 |
| ムービー | 動画を添付<br>• [ー](**機能**)を押して[再生]を選択すると、動画が再生されます。<br>• [ー](**機能**)を押して[情報]を選択すると、ファイルの情報を確認できます。 |
| サウンド録音 | 音声を録音して添付<br>• 「音声の録音」(☞P.10-4) |
| ページ | 新しいページを追加 |
| 署名 | 署名のページを追加(☞P.22-3) |

**2 [ー](機能)→[送信]を選択**

補足

- MMSに複数のページがある場合は、[◁▷]でページを切り替えます。
- 1ページに同じ種類のアイテムは添付できません。同じ種類のアイテムを選択した場合は、自動的に新しいページへ添付されます。
- 文字メッセージは他の種類のアイテムと同じページに添付できます。また、静止画またはアニメーションとサウンドも同じページに添付できます。それ以外の組み合わせでアイテムを選択した場合は、自動的に新しいページへ添付されます。
- 署名のページは1件のMMSに1つのみ追加できます。
- ページの作成を中断するときは、[戻る]→[ー](**はい**)を押します。
- MMSをサポートしていない相手にMMSを送信した場合は、表示のされかたが異なることがあります。

**MMSの表示を設定／確認するには**

| お買い上げ時 | ページの表示時間：4<br>背景：白 |
|---|---|

- 1ページごとにMMSの表示時間を1～600秒の間で設定できます。
  ページ作成画面で［ー］（**機能**）→［ページの表示時間］を選択→時間を入力→［ー］（**OK**）
  - 添付したアイテムの表示時間がページの表示時間よりも長い場合は、アイテムの時間に合わせて自動的に設定が変更されます。
- MMSの背景色を変更できます。
  ページ作成画面で［ー］（**機能**）→［背景］→色を選択
- 作成中のMMSが受信されたときに、どのように表示されるのかを確認できます。
  ページ作成画面で［ー］（**機能**）→項目を選択
  **［オールプレビュー］**：メール全体の表示を確認
  **［プレビューページ］**：1ページ分の表示を確認

## アイテムを編集する

**1** **ページ作成画面でアイテムを選択→［ー］（画像／テキスト／サウンド／ムービー）**

**2** **項目を選択→アイテムを編集**

### ■ 静止画やアニメーション／サウンド／動画で編集できる項目

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 変更 | アイテムを入れ替え<br>• ［ー］（**情報**）を押すと、ファイルの情報を確認できます。 |
| 再生※1 | サウンド／動画を再生 |
| 表示時間 | アイテムの表示時間を設定（☞P.19-10） |
| 回転※2 | 静止画／アニメーションを左へ90度回転 |
| 消去 | アイテムを消去 |

※1：サウンド／動画のみ
※2：静止画／アニメーションのみ

## ■ 文字メッセージで編集できる項目

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 編集 | 文字メッセージを変更<br>• 文字入力画面で[—](**機能**)を押して[ファイル添付]を選択すると、SMSのテンプレートを挿入できます(☞P.22-6)。 |
| サイズ | 文字の大きさを変更 |
| 色 | 文字の色を変更 |
| 表示時間 | アイテムの表示時間を設定 |
| 消去 | 文字メッセージを消去 |

**補足**

• MMSに複数のページがある場合は、ページを表示して[—](**機能**)→[ページ消去]→[—](**はい**)を押すと、ページに配置されているアイテムごとページを消去できます。

### アイテムの表示時間を設定するには

**お買い上げ時** **開始(秒):0秒、期間(秒):常時表示**

ページが表示されて何秒目([開始(秒)])から何秒間([期間(秒)])アイテムを表示したり再生したりするかを設定できます。サウンドやムービーは[開始(秒)]で設定した時間に従って途中から再生されます。

• 開始(秒)を設定する
  ① アイテムの編集で[表示時間]を選択(☞P.19-9)
  ② [開始(秒)]を選択→[—](**編集**)
  ③ 時間を入力→[—](**OK**)→[—](**OK**)
• 期間(秒)を設定する
  ① アイテムの編集で[表示時間]を選択(☞P.19-9)
  ② [期間(秒)]を選択→[—](**編集**)
  ③ 項目を選択→[—](**OK**)
  **[常時表示]**:ページの表示時間が終了するまで表示
  **[秒数指定]**:表示時間を入力→[—](**OK**)

## ■ 宛先を指定する

宛先にはボーダフォン携帯電話番号とE-mailアドレスを最大20件まで指定できます。宛先は電話帳や送信履歴から選択することもできます。

**1 送信先追加画面（☞P.19-6）で宛先を指定**

**[メールアドレス入力]**：直接E-mailアドレスを入力

**[電話番号入力]**：直接電話番号を入力

**[電話帳検索]**：電話帳から電話番号を選択

- 1件の電話帳データに複数の電話番号とE-mailアドレスを登録している場合は、（方向キー）で電話番号またはE-mailアドレスを選択してください。

- 送信履歴（☞P.19-4）から宛先を指定するときは、送信画面に表示されている電話番号またはE-mailアドレスから選択します。

**補足**

- 電話帳検索画面で[ー]（**機能**）を押すと、次の宛先を指定することもできます。
  - USIMカードの電話帳
  - 電話帳に登録されていない発着信履歴
  - 電話帳のグループ

**複数の宛先に送信するには**

「To」／「Cc」／「Bcc」を追加できます。

**1 メール送信画面で[ー]（機能）→[送信先確認]を選択**

**2 [To]／[Cc]／[Bcc]を選択→[ー]（追加）→宛先を指定**

- 複数の宛先を指定する場合は、操作2を繰り返します。

**3 [ー]（OK）**

**補足**

- メール送信画面で[ー]（**機能**）→[送信先追加]を選択しても宛先（To）を追加できます。

## ■ 件名を入力する

**1 メール送信画面で[ー]（機能）→[件名編集]を選択**

**2 件名を入力→[ー]（OK）**

## データを添付する

オーナー情報や本体の電話帳データ、スキンをMMSに添付して送信できます。

**1 メール送信画面で[ー](機能)→[添付ファイル追加]→添付するデータを選択**

**[スキン]**:スキンを添付
**[ビジネスカード]**:本体の電話帳データを添付
**[オーナー情報]**:オーナー情報を添付

**2 [ー](機能)→[OK]を選択**

補足
- MMSのサイズが300KBを超える場合は、データを添付できません。
- 電話帳選択(☞P.5-3)を[USIM電話帳]に設定している場合は、本体の電話帳データを添付できません。

### ■ 添付するデータを追加するには

① メール送信画面で[ー](**機能**)→[添付ファイル編集]を選択
② [新規添付ファイル]を選択→[ー](**追加**)→データを選択
③ [ー](**機能**)→[OK]を選択

### ■ 添付したデータを消去するには

① メール送信画面で[ー](**機能**)→[添付ファイル編集]を選択
② データを選択→[ー](**機能**)→[消去]を選択→[ー](**はい**)
③ [ー](**機能**)→[OK]を選択

## 送信オプションを設定する

| お買い上げ時 | 配信レポート:OFF、有効期間:指定しない、重要度:標準 |
|---|---|

MMSを送信するたびにオプションを設定できます。

**1 メール送信画面で[ー](機能)→[送信オプション]を選択**

**2 項目を選択→[ー](編集)→各項目を設定**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 配信確認 | MMSが届いたかどうかを確認するレポートを表示 |
| 有効期間 | サービスセンターにMMSが保管される期間(☞P.22-2)を設定 |
| 重要度 | MMSの重要度を設定 |

**3 [ー](OK)**

補足
- 設定したオプションは、MMSを送信したあとお買い上げ時の設定に戻ります。
- あらかじめ、MMSのすべてに送信オプションを設定することもできます(☞P.22-2、22-3)。

# メールボックス

# メールの内容確認

送受信したメールはそれぞれのメールボックスに保存されます。受信メールは受信メールボックス、送信メールは未送信メールボックス、送信済みのメールは送信済みメールボックスに保存されます。また、作成中のメールを下書きボックスに保存できます。メールが保存されているメールボックスによって、確認や操作できる内容が異なります。

**1 メインメニューから[ (メール)]→メールボックスを選択**

メール一覧画面が表示されます。

**2 メールを選択→[ー](表示)**

1件表示画面が表示されます。

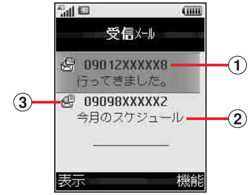
- 下書きボックスから1件表示画面を表示するには、メールを選択→[ー](**機能**)→[表示]を選択します。

**補足**

- MMSの内容を確認する場合は、プレビューが表示されてから1件表示画面が表示されます。プレビューを途中で止める場合は、[ー](**停止**)を押します。

## メール一覧画面の見かた

### ■ 受信メールボックス/未送信メールボックス/送信済みメールボックスのメール一覧画面




**例:受信メールボックスのメール一覧画面**

① **受信メールボックス:送信元**
**未送信メールボックス/送信済みメールボックス:宛先**
相手の電話番号またはE-mailアドレスが表示されます。電話番号またはE-mailアドレスが電話帳に登録されている場合は、登録された名前が表示されます。
- ファイルが添付されているMMSには「 」が表示されます。

② **文字メッセージの最初の行(SMS)/件名(MMS)**
- SMSに画像やメロディファイルが挿入されている場合は、代わりにアイコンが表示されます。

③ **メールの種類**

| メールボックス | アイコン | 内容 |
|---|---|---|
| 受信メールボックス | ／ | SMS／MMSの既読メール |
| | ／ | SMS／MMSの未読メール |
| | | 部分的に受信された既読メール |
| | | 部分的に受信された未読メール |
| | ／ | SMS／MMSの壊れたメール |
| | | 受信中のMMS |
| | | MMSの受信通知 |
| | | 不完全なMMS |
| | | サーバに保存されたSMS |
| 未送信メールボックス | | 送信に失敗したMMS |
| | | 未送信のMMS |
| | | 送信中のMMS |
| 送信済みメールボックス | ／ | SMS／MMSの送信済みメール |
| | | 受信拒否されたメール |
| | | 配信未確認のメール |
| | ／ | SMS／MMSの配信確認されたメール |
| | | サーバから消去されたSMS |
| | ／ | SMS／MMSの配信確認メッセージ |
| | | MMSの送信失敗メッセージ |

## ■ 下書きボックスのメール一覧画面




① **メールの種類**
／：SMS／MMSの作成中メール

② **文字メッセージの最初の行（SMS）／件名（MMS）**
- SMSに画像やメロディファイルが挿入されている場合は、代わりにアイコンが表示されます。

③ **宛先**
相手の電話番号またはE-mailアドレスが表示されます。電話番号またはE-mailアドレスが電話帳に登録されている場合は、登録された名前が表示されます。

**補足**
- 下書きボックスのメール一覧画面でメールを選択して[−]（**編集**）を押すと、メールを編集して送信できます（☞P.19-2）。
- メール一覧画面の表示は変更できます（☞P.20-5）。

## メールの詳細を確認する

メールが保存されているメールボックスとメールの種類によって確認できる詳細は異なります。

**1 メール一覧画面でメールを選択→[－](機能)→[詳細]を選択**

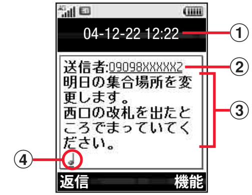
| メールボックス | メールの種類 | 詳細 |
|---|---|---|
| 受信メールボックス | SMS | 送信元、送信日時、受信日時 |
| | MMS | 件名、送信元、宛先、受信日時、送信日時、タイプ、サイズ、重要度、有効期間 |
| 下書きボックス | SMS | 宛先、作成日時 |
| | MMS | 件名、宛先、作成日時、タイプ、サイズ、重要度 |
| 未送信メールボックス | MMS | 件名、宛先、作成日時、タイプ、サイズ、重要度 |
| 送信済みメールボックス | SMS | 宛先、送信日時 |
| | MMS | 件名、宛先、作成日時、送信日時、タイプ、サイズ、重要度 |

**補足**

- 保存メールボックスでメールの詳細を確認した場合は、保存前のメールボックス(受信メールボックス、下書きボックス、送信済みメールボックス)と同じ項目が表示されます。
- タイプにはメッセージのコンテンツのタイプが表示されます。詳しくは、ボーダフォンお客さまセンター(☞P.29-17)までお問い合わせください。
- 有効期間にはMMSをサーバに保存する期間が表示されます。期間内にMMSが受信されない場合は、サーバから消去されます(☞P.22-2)。
- 送信に失敗したメールの詳細には、エラー内容も表示されます。
- メールによっては表示されない項目があります。

# 1件表示画面の見かた

## SMSの1件表示画面




例:受信メールボックスの1件表示画面

① **受信メールボックス:受信日時**
**下書きボックス/送信済みメールボックス:メールの種類**

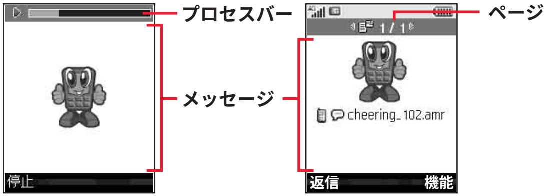
② **受信メールボックス:送信元**
**送信済みメールボックス:宛先**
相手の電話番号またはE-mailアドレスが表示されます。電話番号またはE-mailアドレスが電話帳に登録されている場合は、登録された名前が表示されます。

③ **メッセージ**

④ **挿入ファイル**

- (方向キー)でメッセージに挿入されたメロディや効果音を選択すると再生されます。

## MMSの1件表示画面




プレビュー画面　　例：受信メールボックスの1件表示画面

**補足**
- 未送信メールボックスでは1件表示画面を表示できません。

## メールの本文をコピーする

SMSから文字メッセージをコピーして、テンプレート(☞P.22-6)として使用できます。MMSの文字メッセージはコピーできません。

**1** **SMSの1件表示画面で[ー](機能)→[メール保存]→[テンプレート]を選択**

**2** **タイトルを入力→[ー](OK)**

# メールボックス内の表示設定

お買い上げ時 | 詳細

メール一覧画面にメールの詳細を表示するかどうかを設定できます。[詳細]に設定すると、SMSの場合は文字メッセージの最初の行、MMSの場合は件名、下書きボックスに保存されているメールの場合は宛先が表示されます。

**1** **メール一覧画面で[ー](機能)→[リスト表示切替]→表示を選択**

**[詳細なし]**：詳細を表示しない
**[詳細]**：詳細を表示
**[日付と時刻]**：詳細の代わりに受信／作成／送信日時を表示

**補足**
- どのメールボックスで設定を行っても、すべてのメール一覧画面が同じ表示設定になります。

# メールの返信

受信メールボックス内の受信メールから送信元へ返信します。

**1 メール一覧画面でメールを選択→[ー](機能)→[返信]を選択**

**[全員に返信]**：すべての宛先に返信

**2 [SMS]／[MMS]を選択→メールを作成→メールを送信**

- 「SMSの送信」(☞P.19-2)、「MMSの送信」(☞P.19-6)

補足

- 受信メールの1件表示画面で[ー](**返信**)を押しても返信できます。
- MMSで返信する場合は、件名に「Re:」が自動的に追加されます。

# メールの転送

受信メールボックスや送信済みメールボックス内のメールを他の宛先に転送します。

**1 メール一覧画面でメールを選択→[ー](機能)→[転送]を選択**

**2 メールを編集→メールを送信**

- 「SMSの送信」(☞P.19-2)、「MMSの送信」(☞P.19-6)

補足

- 受信メールや送信済みメールの1件表示画面で[ー](**機能**)を押し、[転送]を選択しても転送できます。
- MMSを転送する場合は、件名に「Fw:」が自動的に追加されます。
- 転送元のメール(SMS／MMS)と同じ種類のメールで転送します。
- 転送元のメールに添付されているファイルも転送されます。

# 未送信メールボックスからのMMS送信

MMSの作成を終了すると、作成したMMSは一時的に未送信メールボックスに保存されます。未送信メールボックスのMMSは自動的に送信されます。

## MMSを再送信する

MMSの送信に失敗すると、再送信の確認画面が表示されます。

**1 確認画面で[－](はい)**

MMSをもう一度送信します。

補足

- 送信を中断するときは、未送信メールボックスのメール一覧画面からMMSを選択し、[－](**中止**)を押します。
- 送信に失敗したMMSを再送信するときは、未送信メールボックスのメール一覧画面からMMSを選択し、[－](**送信**)を押します。
- 送信中に802SEを閉じても送信は中断されません。

## 送信失敗MMSの内容を変更する

送信に失敗したMMSを下書きボックスへ移動して編集できます。

**1 メインメニューから[ (メール)]→[未送信メール]を選択**

**2 MMSを選択→[－](機能)→[下書きに移動]を選択**

**3 [下書き]を選択**

**4 MMSを選択→[－](編集)**

**5 内容を編集**

- 「MMSの送信」(☞P.19-6)

20

メールボックス

# メールの保護

受信メールボックスや下書きボックス、送信済みメールボックスでメールを誤って変更したり消去したりしないように、保存メールボックスに移動させて保護できます。

**1 メール一覧画面でメールを選択→[ー](機能)→[メール保存]を選択**

**2 [保存メール]を選択**

補足

- 受信メールボックスや送信済みメールボックスの1件表示画面で[ー](**機能**)を押し、[メール保存]を選択しても保護できます。

## ■ メール一覧画面で指定した複数のメールを保護する

**1 メール一覧画面でメールを選択→[ー](機能)→[複数にマーク]を選択**

**2 メールを選択→[ー](マーク)**

- 複数のメールを選択するときは、操作2を繰り返します。選択を解除するときは[ー](**マーク解除**)を押します。
- [ー](**機能**)を押して[全メールにマーク]または[全メールのマーク解除]を選択すると、メールボックス内のすべてのメールを選択または選択解除できます。

**3 [ー](機能)→[メール保存]を選択→[ー](はい)**

補足

- 保存メールボックスでの操作は、移動前のメールボックス(受信メールボックス、下書きボックス、送信済みメールボックス)での操作と同じです。

# メールの消去

## メールを指定して消去する

### 1件ずつ消去する

**1** **メール一覧画面でメールを選択→[ー](機能)→[消去]を選択→[ー](はい)**

補足
- メールの1件表示画面で[ー](**機能**)を押し、[消去]を選択しても消去できます。

### メール一覧画面で指定した複数のメールを消去する

**1** **メール一覧画面でメールを選択→[ー](機能)→[複数にマーク]を選択**

**2** **メールを選択→[ー](マーク)**

- 複数のメールを選択するときは、操作2を繰り返します。選択を解除するときは[ー](**マーク解除**)を押します。
- [ー](**機能**)を押して[全メールにマーク]または[全メールのマーク解除]を選択すると、メールボックス内のすべてのメールを選択または選択解除できます。

**3** **[ー](機能)→[メール消去]を選択→[ー](はい)**

## メールボックス内のメールをすべて消去する

**1** **メール一覧画面で[ー](機能)→[全メール消去]を選択→[ー](はい)**

- 受信メールボックスのメールをすべて消去する場合は、メール一覧画面で[ー](**機能**)→[全メール消去]→[全件]を選択→[ー](**はい**)を押します。

### 受信メールボックスの既読メールをすべて消去する

**1** **メール一覧画面で[ー](機能)→[全メール消去]→[全既読メール]を選択→[ー](はい)**

# メール内の電話番号／E-mailアドレス／URLの利用

**電話番号／E-mailアドレス／URLとして選択できる文字メッセージ**

電話番号：数字のみ
　例：090123XXXX1
E-mailアドレス：「@」と前後に入力されている英数字
　例：abc@XXXX.ne.jp
URL：「http://」／「https://」で始まる英数字
　例：http://www.XXXX.ne.jp/

- 使用されている文字や記号によっては、正しく認識されないことがあります。

## 電話帳に登録する

メールの宛先や送信元、文字メッセージ中の電話番号（半角16文字以内）、E-mailアドレス（半角50文字以内）を電話帳データに登録します。
電話番号またはE-mailアドレスが最大文字数を超える場合は、末尾が超過分消去されます。

例：1件表示画面の電話番号を登録する場合

**1** **1件表示画面で電話番号を選択**

**2** **[－]（機能）→[アクション XXXX（XXXX：電話番号）]→[電話帳登録]→[新規登録]を選択**

■ **E-mailアドレスを登録するには**

1件表示画面でE-mailアドレスを選択→[－]（**機能**）→[Eメール保存]→[新規登録]を選択

補足

- 詳細画面（☞P.20-4）でE-mailアドレスを選択し、[－]（**機能**）を押して[Eメール保存]を選択しても登録できます。
- 電話帳選択（☞P.5-3）を[USIM電話帳]に設定している場合は、E-mailアドレスを登録できません。

# 電話発信／メール送信／インターネットアクセスを行う

## 電話をかける

メールの宛先や送信元、文字メッセージ中の電話番号へ電話をかけます。

例：1件表示画面の電話番号へかける場合

**1 1件表示画面で電話番号を選択→[ー](発信)**

- TVコールをかける場合は、[文字]を押してください。

補足

- 詳細画面(☞P.20-4)で電話番号を選択して[ー](**発信**)を押しても電話をかけられます。
- メールの宛先、送信元によっては電話がかけられません。

### ■ 受信メールボックスから送信元へ電話をかけるには

受信メールの1件表示画面／メール一覧画面でメールを選択→[ー](**機能**)→[電話をかけるXXXX(XXXX：電話番号)]を選択

## メールを送信する

メールの宛先や送信元、文字メッセージ中の電話番号、E-mailアドレスへメールを送信します。

例：1件表示画面の電話番号へ送信する場合

**1 1件表示画面で電話番号を選択**

**2 [ー](機能)→[アクションXXXX(XXXX：電話番号／名前)]→[メール作成]を選択**

**3 [SMS]／[MMS]を選択→メールを作成→メールを送信**

- 「SMSの送信」(☞P.19-2)、「MMSの送信」(☞P.19-6)

### ■ 1件表示画面のE-mailアドレスへ送信するには

① 1件表示画面でE-mailアドレスを選択→[ー](**送信**)
② メールを作成→メールを送信

補足

- 詳細画面(☞P.20-4)で電話番号またはE-mailアドレスを選択し、[ー](**機能**)を押して[メール作成]を選択するか、[ー](**送信**)を押しても送信できます。

## インターネットにアクセスする

文字メッセージ中のURLからウェブページへジャンプします。

**1 1件表示画面でURLを選択→[ー](開く)**

# 添付ファイルの利用

## データフォルダに保存する

MMSに添付されたアイテム（静止画やアニメーション、動画、サウンド）のファイルをデータフォルダのそれぞれのフォルダに保存します。

**1** **1件表示画面でアイテムを選択**

**2** **[ー]（画像／ムービー／サウンド）→［画像保存］／［ムービー保存］／［サウンド保存］を選択**

**3** **名前を入力→[ー]（OK）**

補足

- アイテムを選択して[ー]（**画像**／**ムービー**／**サウンド**）を押すと、ファイルの詳細の確認や表示、再生ができます。
  **［再生］**：ムービー／サウンドを再生
  **［表示］**：静止画／アニメーションを表示
  **［情報］**：ファイルの詳細を確認
- 受信メールボックスまたは送信済みメールボックスのメール一覧画面でメールを選択→[ー]（**機能**）→［アイテム保存］を選択しても、アイテムのファイルを保存できます。

## 壁紙／スクリーンセーバー／着信音に登録する

MMSに添付されたアイテム（画像やサウンド）のファイルを壁紙やスクリーンセーバー、着信音に登録します。

### 静止画やアニメーションを壁紙／スクリーンセーバーに登録する

**1** **1件表示画面でアイテムを選択**

**2** **[ー]（画像）→［壁紙に設定］／［スクリーンセーバー］を選択**

### サウンドを着信音に登録する

**1** **1件表示画面でアイテムを選択**

**2** **[ー]（サウンド）→［着信音に設定］を選択**

補足

- ファイルのサイズなどによっては壁紙やスクリーンセーバー、着信音に登録できません。

# メールサーバ

# メールリストの取得

受信したMMSはサービスセンターのサーバ受信メールボックスに一時的に保存され、MMSの受信通知が802SEに送信されます。

## サーバ受信メールボックスのメール一覧画面を表示する

**1 メインメニューから[（メール）]→[受信メール]を選択**

**2 [—]（機能）→[サーバー受信メール]を選択**

補足

- サーバ受信メールボックスでは1件表示画面を表示できません。
- サーバ受信メールボックスのメール一覧画面での操作は、受信メールボックスでの操作と同じです。
  - 返信する（☞P.20-6）
  - 送信元へ電話をかける（☞P.20-11）
  - 転送する（☞P.20-6）
  - 詳細を表示する（☞P.20-4）
  - 表示を変更する（☞P.20-5）

## MMSをダウンロードする

サーバ受信メールボックスのMMSを受信メールボックスにダウンロードします。

### メール一覧画面から1件ずつダウンロードする

**1 サーバ受信メールボックスのメール一覧画面でMMSを選択→[—]（ダウンロード）**

### メール一覧画面で指定した複数のMMSをダウンロードする

**1 サーバ受信メールボックスのメール一覧画面でMMSを選択→[—]（機能）→[複数にマーク]を選択**

**2 MMSを選択→[—]（マーク）**

- 複数のMMSを選択するときは、操作2を繰り返します。選択を解除するときは[—]（**マーク解除**）を押します。
- [—]（**機能**）を押して[全メールにマーク]または[全メールのマーク解除]を選択すると、サーバ内のすべてのMMSを選択または選択解除できます。

**3 [—]（機能）→[ダウンロード]を選択→[—]（はい）**

補足

- ダウンロードしたMMSは、サーバ受信メールボックスのメール一覧から消去されます。

## サーバ内のMMS転送

受信メールボックスのMMSの受信通知を使って、サーバから受信していないMMSを転送します。

**1** **受信メールのメール一覧画面で受信通知を選択→[ー](機能)→[転送]を選択**

**2** **宛先を指定→MMSを送信**

- 「MMSの送信」(☞P.19-6)

## サーバ内のMMS消去

サーバ受信メールボックスのMMSを1件ずつ消去します。

**1** **サーバ受信メールボックスのメール一覧画面でMMSを選択→[ー](機能)→[消去]を選択→[ー](はい)**

# メールのその他設定

# SMS／MMS共通設定

## メールの有効期間を設定する

お買い上げ時 指定しない

サービスセンターにメールが保管される期間を設定します。

**1 メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[SMS]／[MMS]を選択**

**2 [有効期間]を選択→[－](編集)→期間を選択**

補足

- 現在、SMSの有効期間は最大72時間です。72時間(3日)を超える期間を設定しても、保管されたSMSは72時間経過すると消去されます。
- MMSの有効期間で[指定しない]を選択すると、最大で30日間保管されます。MMSの受信通知は最大24時間まで繰り返し配信されます。「リトライ機能」(☞P.17-2)

## メールの配信確認を設定する

お買い上げ時 OFF

送信したメールが相手に届いたかどうかを確認できます。メールが配信されるとレポートが表示されます。

**1 メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[SMS]／[MMS]を選択**

**2 [配信確認]を選択→[－](編集)→[ON]を選択**

# SMS設定

## SMSセンター番号を変更する

通常はUSIMカードにSMSのサービスセンター番号の設定が保存されています。

### 番号を追加する

**1 メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[SMS]を選択**

**2 [サービスセンター]を選択→[－](編集)**

**3 [新規サービスセンター]を選択→[－](追加)**

**4 番号を入力→[－](保存)→[－](はい)**

SMSセンター番号に設定されます。

### SMSセンター番号を設定する

SMSセンター番号として使用する番号を選択します。

**1 メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[SMS]を選択**

**2 [サービスセンター]を選択→[－](編集)→番号を選択**

補足

- サービスセンター設定画面で番号を選択して[－](機能)を押すと、番号の編集や消去ができます。

## SMSタイプを設定する

お買い上げ時 テキスト

SMSの送信先に合わせてSMSの種類を設定できます。

**1** **メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[SMS]を選択**

**2** **[SMSタイプ]を選択→[－](編集)→SMSの種類を選択**

## 返信依頼を設定する

お買い上げ時 OFF

返信を求めるメッセージを相手に表示できます。

**1** **メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[SMS]を選択**

**2** **[返信要求]を選択→[－](編集)→[ON]を選択**

# MMS設定

## 署名を設定する

お買い上げ時 署名なし

### ■ 署名を作成する

MMSで使用する署名を作成します。

**1** **メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[MMS]を選択**

**2** **[署名]を選択→[－](編集)**

**3** **[新規署名の追加]を選択→[－](追加)→署名を作成**

- 「MMSを作成する」(☞P.19-6)

**4** **[－](機能)→[署名保存]を選択**

### ■ 署名の挿入を設定する

送信するすべてのMMSに署名を自動的に挿入するかどうかを設定します。

**1 メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[MMS]を選択**

**2 [署名]を選択→[ー](編集)→[署名]／[署名なし]を選択**

補足
- 署名設定画面で[署名]を選択して[ー](**機能**)を押すと、署名のプレビューや編集、消去ができます。
  **[署名編集]**：選択した署名を編集(☞P.22-3)
  **[署名消去]**：選択した署名を消去
  **[署名プレビュー]**：署名のプレビュー画面を表示
- [署名なし]を選択した場合でも、MMSのページの作成中に署名を挿入できます(☞P.19-8)。

## MMSサイズ制限を設定する

お買い上げ時 | 確認して送信

**1 メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[MMS]を選択**

**2 [メールサイズ制限設定]を選択→[ー](編集)→MMSサイズ制限を選択**

**[制限なし]**：MMSのサイズを制限しないで送信
**[確認して送信]**：送信できるサイズを超えたMMSをリサイズして送信
**[制限あり]**：送信できるサイズを超えたMMSを送信しない

## 静止画／アニメーションの大きさを設定する

お買い上げ時 | OFF

MMSに添付する静止画やアニメーションの大きさを設定します。

**1 メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[MMS]を選択**

**2 [画像リサイズ設定]を選択→[ー](編集)→静止画／アニメーションの大きさを選択**

**[OFF]**：元の大きさのまま配置

## 自動取得を設定する

お買い上げ時 常に確認

MMSの続きの受信方法を設定します。

**1** **メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[MMS]を選択**

**2** **[自動取得]を選択→[ー](編集)**

**3** **項目を選択**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 常に許可 | ダウンロードの確認画面を表示せず、常に許可 |
| ローミング時に確認 | ローミングサービス利用時のみダウンロードの確認画面を表示し、それ以外では確認画面を表示せずにダウンロード |
| ローミング時受信せず | ローミングサービス利用時のみダウンロードせず、それ以外ではダウンロードの確認画面を表示しない |
| 常に確認 | ダウンロードの確認画面を表示 |
| OFF | 常にダウンロードしない |

## メールの受信を設定する

お買い上げ時 設定なし

広告メールや匿名メールを受信できるよう設定します。

**1** **メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[MMS]を選択**

**2** **[メール受信許可]を選択→[ー](編集)**

**3** **受信を許可する種類を選択→[ー](マーク)**

**[広告メール]**:広告メールを受信

**[匿名メール]**:匿名メールを受信

- 複数の種類を選択するときは、操作3を繰り返します。選択を解除するときは、[ー](**マーク解除**)を押します。

**4** **[ー](保存)**

# テンプレートを利用する

よく使うメッセージのひな形を登録してメールを作成できます。

## テンプレートを作成する

SMSまたはMMSのテンプレートを作成できます。

例：SMSのテンプレートを作成する場合

**1 メインメニューから[ (メール)]→[テンプレート]を選択**

**2 [新規テンプレート]を選択→[−](追加)**

**3 [テキスト]を選択→テンプレートを作成**

- 「SMSを作成する」(☞P.19-2)

**4 [−](OK)**

**5 タイトルを入力→[−](OK)**

■ **MMSのテンプレートを作成するには**

① **テンプレート追加画面で[MMS]を選択→テンプレートを作成**

- 「MMSを作成する」(☞P.19-6)

② **[−](機能)→[テンプレート保存]を選択**

## テンプレートからメールを作成する

例：SMSのテンプレートから作成する場合

**1 メインメニューから[ (メール)]→[テンプレート]を選択**

**2 テンプレートを選択→[−](アクション)**

**3 [SMS]／[MMS]を選択→メールを作成**

- 「SMSの送信」(☞P.19-2)、「MMSの送信」(☞P.19-6)

補足

- MMSのテンプレートから作成する場合は、MMSのみを作成できます。
- テンプレート一覧画面でテンプレートを選択→[−](機能)→[プレビュー]を選択すると、テンプレートの内容を確認できます。

## テンプレートを編集／消去する

例：テンプレートを編集する場合

**1 メインメニューから[ (メール)]→[テンプレート]を選択**

**2 テンプレートを選択→[ー](機能)→[メールテンプレート設定]を選択**

**3 テンプレートを編集**

・「テンプレートを作成する」(☞P.22-6)

■ **テンプレートを消去するには**

テンプレート一覧画面でテンプレートを選択→[ー](**機能**)→[消去]を選択→[ー](**はい**)

# 自動配信メール設定

## 自動配信メールの受信を許可する

お買い上げ時 | 常に確認

サービスセンターから自動的に配信されるメールを受信するかどうかを設定できます。

**1 メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[自動配信メール設定]→[自動配信メール許可]を選択**

**2 許可方法を選択**

**[常に許可]**：受信時に確認画面を表示しない
**[常に確認]**：受信時は常に確認画面を表示
**[許可しない]**：受信しない

## 受信する自動配信メールを設定する

お買い上げ時 | 特定自動配信メール

どのサービスセンターから配信されるメールを受信するかを設定できます。

**1 メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[自動配信メール設定]→[メールを許可]を選択**

**2 項目を選択**

**[すべての送信者]**：すべての自動配信メールを受信
**[特定自動配信メール]**：自動配信メールを受信するサービスセンターを選択

## サービスセンター番号を登録する

[特定自動配信メール]を選択したときに、自動配信メールを受信するサービスセンターの番号を登録します。

**1** **メインメニューから[ (メール)]→[設定]→[自動配信メール設定]→[メールを許可]を選択**

**2** **[特定自動配信メール]を選択→[ー](編集)**

**3** **[新規サービスセンター]を選択→[ー](追加)**

**4** **番号を入力→[ー](OK)**

22

メールのその他設定

# ウェブの基本操作

# ウェブをご利用になる前に

## ウェブページ

### ■ 画面表示

- 画面が上下に続いている場合は、(ナビゲーションキー)で画面をスクロールできます。
- 戻るを押すと前のページに戻ります。前のページがない場合は、ウェブページを終了するかどうかを選択できます。

### ■ サウンドが含まれているページ

ウェブページを表示するとサウンドが自動的に再生されることがあります。
＋または－を押すと、音量を調節できます。

補足
- ウェブページ側で音量が設定されている場合は、その音量以上では再生できません。

### ■ SSL／TLS

SSL(Secure Sockets Layer)／TLS(Transport Layer Security)とは、インターネット上で情報を暗号化して送受信する通信方法です。一般的にクレジットカード番号や個人情報などの大切な情報を送受信するときに使用します。
802SEには、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書(☞P.25-3)が登録されています。

**SSL／TLS利用に関するご注意**

当社および当社が指定する認証機関は、お客様に対しSSL(Secure Sockets Layer)／TLS(Transport Layer Security)通信の安全性に関し何ら保証を行うものではなく、お客様は、ご自身の判断と責任においてSSL／TLS通信を利用するものとします。
認証会社：VeriSign, Inc.／Entrust.net／RSA Data Security, Inc.／GTE Corporation

## ウェブページの保存

ウェブページによっては表示されたページがキャッシュメモリに保存されます。また、データフォルダのお気に入りフォルダ(☞P.12-2)にも保存できます。保存したページはウェブを終了したり電源を切ったりしても消去されません。

### ■ キャッシュメモリについて

ウェブで表示したページは一時的にキャッシュメモリに保存され、次回からすぐにウェブページを表示できます。メモリがいっぱいになると、古い情報から自動的に消去されます。

- 有効期限が指定されている情報は、期限を過ぎるとメモリから消去されます。また、キャッシュメモリに保存されている情報は手動で消去できます(☞P.25-4)。
- キャッシュメモリにウェブページが保存されている場合は、ウェブへアクセスせずに保存されたページを表示することがあります。最新の内容を見るには、ウェブページを表示し直してください(☞P.24-6)。

### ■ お気に入りフォルダについて

データフォルダのお気に入りフォルダに保存したページ（☞P.24-6）は、自分で消去しない限り消去されません。802SEのメモリがいっぱいの場合は、不要なページを消去してください（☞P.12-7）。

**補足**
- DRM（デジタル著作権管理）によって保護されている情報は保存できません。

# ウェブにアクセスする

ウェブページの表示方法と基本操作を説明します。

## メニューからアクセスする

Vodafone live!のメニューからサービスを選択してウェブページを表示します。

**1 メインメニューから[ (Vodafone live!)]を選択**

**2 サービス項目を選択**

ウェブページが表示されます。

**補足**
- 通信中に802SEを閉じても通信は中断されません。ー（**中止**）を押してください。
- ウェブを終了するときは、ー（**機能**）を押して[終了]を選択します。

### ■ 履歴を利用する

これまでに表示したウェブページを表示できます。履歴は10件まで記録されています。

**1 メインメニューから[ (Vodafone live!)]を選択**

**2 ー（機能）→[履歴]→履歴を選択→ー（接続）**

## URLを入力してアクセスする

ウェブページのURLアドレスを入力してアクセスします。

**1 メインメニューから[ (Vodafone live!)]を選択**

**2 [−](機能)→[URL入力]→[新規URL]を選択→[−](入力)**

**3 URLを入力→[−](接続)**

ウェブページが表示されます。

**補足**
- ウェブページによっては、ページを表示できなかったり、パソコンなどで見る内容と異なったりすることがあります。

### 以前入力したURLを利用する

以前入力したURLの履歴が10件まで記録されています。

**1 メインメニューから[ (Vodafone live!)]を選択**

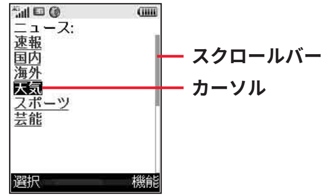
**2 [−](機能)→[URL入力]→URLを選択→[−](接続)**

**補足**
- URL入力画面でURLを選択して[−](**機能**)を押すと、履歴の編集やブックマークへの登録や消去ができます。
  **[URL編集]**：URLを編集してアクセス
  **[ブックマークに追加]**：選択したURLをブックマークに登録（☞P.24-5）
  **[URL消去]**：選択したURLを消去
  **[全件消去]**：すべてのURLの履歴を消去

# ウェブページの操作のしかた

### カーソルを移動する

ウェブページではカーソルを移動して項目を選択します。選択できる項目にはアンダーラインが表示されます。選択できる項目がない場合は、カーソルが表示されません。

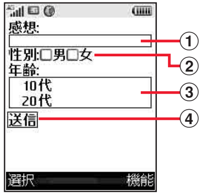



- [◎]でカーソルを1項目ずつ上下に移動できます。項目が左右に並んでいる場合は、[◎]で移動させます。

**補足**
- 画面の右にスクロールバーが表示された場合は、[◎]で続きの画面を表示できます。

## ウェブページで入力／選択する

表示したウェブページによっては、入力したり選択したりした情報を送信できます。




① **文字入力欄**
枠を選択して文字を入力できます。
② **チェックボックス／ラジオボタン**
□（チェックボックス）／○（ラジオボタン）を選択すると、☑／◉ に変わります。
③ **メニュー**
選択すると、メニューの項目が選択できます。
④ **ボタン**
選択すると、入力したり選択したりした情報の送信やリセットなどができます。

**補足**
- ウェブページによっては、入力したパスワードが保存されることがあります。

**ウェブページ表示中の通話について**

- ウェブページの表示中に電話がかかってきたときは、[−]（**はい**）を押すとそのまま電話に出られます。通話を終了するときは、[−]（**機能**）を押して[通話終了]を選択してください。
- ウェブページの表示中に電話をかけるときは、[−]（**機能**）→[電話をかける]を選択→電話番号を入力→[−]（**発信**）を押します。
  - 電話番号を入力する前に[−]（**検索**）を押すと、すでに電話帳に登録されている電話番号から選択できます。
- メールを受信したときは、メール着信音などでお知らせします。画面に「✉」（SMS）または「✉」（MMS）が表示されます（☞P.18-2）。

## ウェブページ内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する

ウェブページに電話番号やE-mailアドレス、URLが記載してある場合は、その項目を選択すると電話発信やメール送信、インターネットアクセスができます。

**補足**
- アンダーラインが表示された項目以外は利用できません。
- 項目によっては、電話番号やE-mailアドレス、URLが記載されていても利用できないものがあります。

# 情報の利用

# 静止画／アニメーションファイルの利用

## データフォルダに保存する

ウェブページから静止画やアニメーションをダウンロードして、データフォルダのピクチャーフォルダに保存します。

例：ウェブページ上の静止画／アニメーションを保存する場合

**1 ウェブページ上の静止画／アニメーションを選択→[−]（機能）→[保存]→[画像保存]を選択**

**2 リストから静止画／アニメーションを選択→[−]（保存）**

**3 名前を入力→[−]（OK）**

■ **ダウンロードファイルから保存するには**

ウェブページで静止画／アニメーションダウンロードの項目を選択

補足

- DRMによって保護されているファイルは保存できません。
- 802SEのメモリがいっぱいの場合は、不要なファイルを消去してから新しいファイルを保存してください。

## 壁紙／スクリーンセーバーに設定する

静止画やアニメーションのダウンロードが終了すると、ダウンロードした静止画またはアニメーションを壁紙やスクリーンセーバーなどに設定するかどうかの確認画面が表示されます。

**1 確認画面で[−]（はい）**

**2 項目を選択**

**[表示]**：ダウンロードした静止画／アニメーションを表示
**[壁紙設定（メイン）]**：☞P.8-2
**[壁紙設定（サブ）]**：☞P.8-2
**[スクリーンセーバー設定]**：☞P.8-3
**[ウェイクアップ画面]**：☞P.8-2
**[電話帳に登録]**：☞P.5-3

# サウンドファイルの利用

## サウンドを再生する

ストリーミングを利用して、ウェブページからサウンドを直接再生できます。

**1 ウェブページでストリーミングの項目を選択**

メディアプレイヤーが起動し、サウンドを再生します。

補足

- ストリーミング再生中に一時停止した場合でも、ファイルのダウンロードは行われているため通信中の状態のままとなります。

## データフォルダに保存する

ウェブページからサウンドをダウンロードして、データフォルダの着信メロディ＆サウンドフォルダに保存します。

**1 ウェブページでサウンドダウンロードの項目を選択**

ウェブページに表示されるダウンロードの手順に従って操作してください。

補足

- DRMによって保護されているファイルは保存できません。

## 着信音／アラーム音／指定着信音に設定する

サウンドのダウンロードが終了すると、ダウンロードしたサウンドを着信音やアラーム音、指定着信音として設定するかどうかの確認画面が表示されます。

**1 確認画面で[ー](はい)**

**2 項目を選択**

**[再生]**：ダウンロードしたサウンドを再生
**[着信音に設定]**：☞P.9-2
**[アラーム音]**：☞P.15-8
**[電話帳に登録]**：☞P.5-3

# 動画ファイルの利用

## 動画を再生する

ストリーミングを利用して、ウェブページから動画を直接再生できます。

**1 ウェブページでストリーミングの項目を選択**

メディアプレイヤーが起動し、動画を再生します。

補足
- ストリーミング再生中に一時停止した場合でも、ファイルのダウンロードは行われているため通信中の状態のままとなります。

## データフォルダに保存する

ウェブページから動画をダウンロードして、データフォルダのムービーフォルダに保存します。

**1 ウェブページで動画ダウンロードの項目を選択**

ウェブページに表示されるダウンロードの手順に従って操作してください。

補足
- DRMによって保護されているファイルは保存できません。

# 画像や各種ファイルのアップロード

静止画ファイルなどをアップロードして、ファイルをウェブ上に保存したり他のユーザと共有したりできます。

**1 アップロード用のウェブページでアップロード用アイコンを選択**

**2 ファイルを選択→[送信]を選択**

# ブックマーク

よく表示するウェブページのURLをブックマークに登録しておくと、すばやくアクセスできます。ブックマークは25件まで登録できます。

## ブックマークに登録する

**1 ウェブページで[ー](機能)→[ブックマーク]→[新規ブックマーク]を選択→[ー](追加)**

**2 [タイトル]／[URL]を選択→[ー](編集)→タイトル／URLを入力**

- 操作2を繰り返して、タイトルとURLの両方を入力してください。

**3 [ー](保存)**

## ブックマークからアクセスする

**1 ウェブページで[ー](機能)→[ブックマーク]を選択**

**2 ブックマークを選択→[ー](接続)**

## ブックマークを編集／消去／送信する

**1 ウェブページで[ー](機能)→[ブックマーク]を選択**

**2 ブックマークを選択→[ー](機能)→項目を選択**

**[ブックマーク編集]**：ブックマークの設定を変更

**[ブックマーク消去]**：ブックマークを消去

**[ブックマークエクスポート]**：

SMS(☞P.19-2)／MMS(☞P.19-6)／Bluetooth通信(☞P.13-4)／赤外線通信(☞P.13-2)を利用してブックマークを送信

**[ホームページに設定]**：

ホームページに設定

- 海外で他の通信事業者をご利用の場合のみ有効です。

**ウェブページのURLを送信するには**

表示しているウェブページのURLをSMSやMMS、Bluetooth通信、赤外線通信を利用して送信できます。

**1 ウェブページで[ー](機能)→[URL送信]を選択**

**2 送信方法を選択**

# お気に入りフォルダ

ウェブページをデータフォルダのお気に入りフォルダに保存します。保存したウェブページはウェブ上のページと同様に更新したりファイルを利用(☞P.24-2～24-4)したりできます。

## ウェブページを保存する

**1** ウェブページで[ー](機能)→[保存]→[お気に入りへ]を選択

補足
・DRMによって保護されているページは保存できません。

## ウェブページを表示する

**1** メインメニューから[ (データフォルダ)]→[お気に入り]を選択

**2** ウェブページを選択→[ー](表示)

# ウェブページ表示中の各種設定

## 最新の情報に更新／再表示する

履歴などから表示したウェブページを更新したり、受信に失敗したウェブページを再表示したりします。

**1** ウェブページで[ー](機能)→[更新]を選択

補足
・お気に入りフォルダ(☞P.12-2)に保存したページも更新できます。

## 情報を確認する

ウェブページの詳細を確認できます。

**1** ウェブページで[ー](機能)→[情報]を選択

補足
・ウェブページによっては情報を確認できません。

## サーバ証明書を表示する

SSL／TLS対応のウェブページから「サーバ証明書」を表示します。

**1** ウェブページで[ー](機能)→[セキュリティステータス]を選択

# ウェブのその他設定

## 画像／サウンドのダウンロード設定（テキストブラウズ）

お買い上げ時 はい

ウェブページに含まれている静止画やアニメーション、サウンドをダウンロードするかどうかを選択できます。画像とサウンドをそれぞれ個別に設定できます。

**1** **ウェブページで［ー］（機能）→［テキストブラウズ設定］→［画像表示］／［サウンド再生］を選択**

**2** **［はい］／［いいえ］を選択**

## セキュリティの設定

802SEではHTTP接続でセキュリティを利用できます。「https://」で始まるURLが保護されています。

### ユーザIDを通知する

ウェブにアクセスしてIMEI番号（製造番号）の送信を要求されたときに、IMEI番号を通知するかどうかを設定します。

**1** **メインメニューから［ （接続）］→［インターネット設定］→［IMEI送信］を選択**

**2** **［はい］／［いいえ］を選択**

## SSL／TLS証明書を確認する

SSL／TLSをセキュリティとして利用するには、802SEに電子的な証明書が登録されている必要があります。通常はお買い上げ時に登録されています。

**1** **メインメニューから[ （接続）]→[インターネット設定]→[セキュリティ]を選択**

**2** **証明書の種類を選択**

発行元の一覧が表示されます。

**3** **確認する証明書を選択→[ー]（表示）**

## Cookieを設定する

お買い上げ時｜はい

ウェブでサーバ側が利用者を識別するための情報（Cookie）を802SEから送信するかどうかを設定します。

**1** **メインメニューから[ （接続）]→[インターネット設定]→[Cookie]を選択**

**2** **[Cookieを許可]→[はい]／[いいえ]を選択**

# ウェブで保存した情報を消去する

## インターネットモードを消去する

**1** **メインメニューから[ （接続）]→[インターネット設定]→[インターネットモード設定]を選択**

**2** **モードを選択→[ー]（機能）→[モード消去]を選択→[ー]（はい）**

## セキュリティを消去する

セキュリティの証明書を消去します。

**1** **メインメニューから[ （接続）]→[インターネット設定]→[セキュリティ]を選択**

**2** **証明書の種類を選択**

**3** **証明書を選択→[ー]（消去）→[ー]（はい）**

## Cookieを消去する

記録したCookieを消去します。

**1** **メインメニューから[ （接続）]→[インターネット設定]→[Cookie]を選択**

**2** **[Cookie消去]を選択→[ー]（はい）**

## パスワードを消去する

ウェブページに入力して保存されたパスワードを消去します。

**1 メインメニューから[ (接続)]→[インターネット設定]→[パスワード消去]を選択**

**2 [－](はい)**

## ウェブページのキャッシュを消去する

キャッシュメモリ(☞P.23-2)に保存した情報を消去します。

**1 メインメニューから[ (接続)]→[インターネット設定]→[ウェブキャッシュクリア]を選択**

**2 [－](はい)**

# Vアプリの基本操作

# Vアプリをご利用になる前に

## ■ Vアプリについて

Vアプリはボーダフォン携帯電話専用に開発されたJava™アプリケーションです。これにより、ゲームや各種の実用的なアプリケーションを楽しめます。また、Vアプリによっては、インターネット（ウェブ）への接続や起動をする前に許可を求めてくるものがあります。
許可には次の４種類がありますが、選択できる許可の種類はVアプリによって異なります。

**[許可しない]**：接続を許可しない

**[常に確認]**：接続時は常に確認

**[初回のみ確認]**：Vアプリ起動後の最初の接続時のみ確認

**[確認しない]**：接続時に確認しない

補足
- 信頼されない（Untrusted）Vアプリの動作は保証されていません。Vアプリの情報（☞P.26-4）を確認してください。

## ■“メモリースティック Duo”をご利用の場合

802SEで“メモリースティック Duo”に保存されたVアプリは、お客様のUSIMカードを取り付けた802SEまたは機種交換されたボーダフォン携帯電話以外ではご利用できません。

# Vアプリのダウンロード

ダウンロードは電波状態の良い場所で行ってください。Vアプリはお好みでVアプリフォルダまたはアプリケーションフォルダに保存できます。

**1 メインメニューから[ （Vアプリ）]→[Vアプリダウンロード]を選択→[－]（接続）**

**2 Vアプリの項目を選択**

Vアプリの情報表示画面が表示されます。

**3 [－]（はい）**

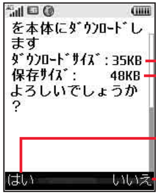
**4 [Vアプリライブラリ]／[アプリケーション]を選択→[－]（はい）**

ダウンロードが開始されます。

補足
- Vodafone live!のメニューや[Vアプリダウンロード]以外からアクセスしたウェブページでも、同様にダウンロードできます。

## 情報表示画面

Vアプリをダウンロードする前に、サイズなどのVアプリ情報が受信されます。情報を確認したあとにVアプリをダウンロードできます。




ダウンロードサイズ

保存ファイルサイズ

[－]（はい）：ダウンロードを継続

[－]（いいえ）：ダウンロードを中止

# Vアプリの起動

Vアプリが保存されているフォルダ（☞P.26-2）を表示して起動します。

例：Vアプリフォルダから起動する場合

**1** **メインメニューから[ （Vアプリ）]を選択**

**2** **Vアプリを選択→[－]（起動）**

**補足**

- メインメニューから[ （ツール）]→[アプリケーション]を選択して起動したり、データフォルダから起動したりできます（☞P.12-2）。
- Vアプリの利用中に電話がかかってきたり、メールを受信したりした場合は、Vアプリは一時停止します。通話や新着メールの確認を終了するとVアプリに戻ります。
- 期間、利用回数、コピー、転送などを制限されているVアプリには、「 」が表示されます。

# Vアプリの終了

**1** 戻る(1秒以上)→ー(はい)

補足
- それぞれのVアプリを操作しても終了できます。

# Vアプリの管理

## 情報を確認する

**1** メインメニューから[ (Vアプリ)]を選択

**2** Vアプリを選択→ー(機能)→[情報]を選択

補足
- 「ベンダ」欄には、Vアプリの開発元または販売元、提供者が表示されます。

## Vアプリを消去する

1件ずつ、またはフォルダ内のVアプリをすべて消去できます。

**1** メインメニューから[ (Vアプリ)]を選択

**2** Vアプリを選択→ー(機能)→[消去]／[全件消去]を選択→ー(はい)

# Vアプリの利用

# Vアプリスクリーンセーバー設定

Vアプリによってはスクリーンセーバー(☞P.8-3)に設定できます。また、Vアプリのスクリーンセーバーの表示時間も設定できます。

**1 メインメニューから[ (Vアプリ)]を選択**

**2 Vアプリを選択→[－](機能)→[スクリーンセーバー]を選択**

**3 表示時間を選択**

補足

- スクリーンセーバー表示に対応した信頼できる(Trusted)Vアプリ以外は設定できません。

# Vアプリ設定

Vアプリには開発元または販売元、提供者によって異なるセキュリティが設定されています。安全で動作の保証されたVアプリは信頼できる(Trusted)Vアプリ、それ以外は信頼されない(Untrusted)Vアプリと呼ばれます。
信頼できるVアプリはネットワーク接続やメール送信、撮影をユーザの許可なしで行うことができます。信頼されないVアプリがネットワーク接続などをする場合は、その機能の使用を許可するかどうかを確認する必要があります。許可の確認方法についてはそれぞれのVアプリで設定できます。

## ネットワークに自動接続する

ネットワーク接続型Vアプリのネットワーク接続を許可するかどうかを設定します。Vアプリがウェブを利用するために必要な接続の情報は、お買い上げ時にすでにインターネットプロファイルに保存されています。また、インターネットプロファイルは、必要に応じて変更したり切り替えたりできます。

### ■ ネットワーク接続を設定する

お買い上げ時 | 初回のみ確認

**1 メインメニューから[ (Vアプリ)]を選択**

**2 Vアプリを選択→[－](機能)→[許可]→[インターネットアクセス]を選択**

**3 許可方法を選択**

- 「Vアプリについて」(☞P.26-2)

27 Vアプリの利用

## メール送受信を行う

お買い上げ｜常に確認

Vアプリでのメールの送受信を許可するかどうかを設定します。

**1 メインメニューから[ （Vアプリ）]を選択**

**2 Vアプリを選択→[−]（機能）→[許可]→[メール]を選択**

**3 許可方法を選択**

- 「Vアプリについて」（☞P.26-2）

## 自動起動する

お買い上げ時｜初回のみ確認

Vアプリの自動起動を許可するかどうかを設定します。

**1 メインメニューから[ （Vアプリ）]を選択**

**2 Vアプリを選択→[−]（機能）→[許可]→[自動起動]を選択**

**3 許可方法を選択**

- 「Vアプリについて」（☞P.26-2）

## 撮影／録音を行う

お買い上げ｜常に確認

Vアプリでのメディアプレイヤーとサウンド録音の使用を許可するかどうかを設定します。

**1 メインメニューから[ （Vアプリ）]を選択**

**2 Vアプリを選択→[−]（機能）→[許可]→[撮影／録音]を選択**

**3 許可方法を選択**

- 「Vアプリについて」（☞P.26-2）

## ユーザデータの読み取り

Vアプリでのユーザデータの読み取りを許可するかどうかを設定します。

**1 メインメニューから[ （Vアプリ）]を選択**

**2 Vアプリを選択→[−]（機能）→[許可]→[ユーザデータの読み取り]を選択**

**3 許可方法を選択**

- 「Vアプリについて」（☞P.26-2）

# Vアプリの再生音量調節

お買い上げ時 5

Vアプリを起動するとサウンドが自動的に再生されることがあります。
[+]または[-]を押すと、音量を調節できます。

**補足**
- Vアプリ側で音量が設定されている場合は、その音量以上では再生できません。

# Vアプリ起動中のディスプレイ設定

お買い上げ時 初期設定

Vアプリ画面の大きさが正しく表示されない場合は、表示範囲を調整します。

**1 メインメニューから[（Vアプリ)]を選択**

**2 Vアプリを選択→[ー](機能)→[画面表示設定]を選択**

**3 表示範囲を選択**

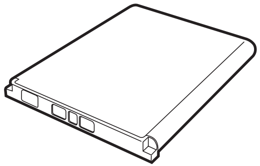
**[初期設定]**：Vアプリに合わせて表示

**[ユーザ定義]**：幅（100〜176)と高さ（100〜220)を入力して設定
[幅]／[高さ]を選択→[ー](**編集**)→表示範囲を入力→[ー](**OK**)→[ー](**保存**)

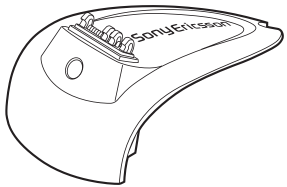
# Abridged English Manual

# Accessories

**Battery** (SEBA01)



**Desktop Holder** (SEEA01)




**USB Cable**

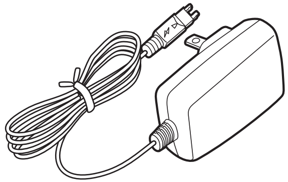
**"Memory Stick Duo" (sample)**

**Memory Stick Duo Adapter**

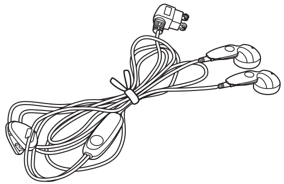
**Cleaning Pad**

**CD-ROM**

**Rapid Charger** (SECA01)



**Portable Stereo Handsfree Headset** (SELA01)



- Contact Customer Service (☞P 28-45) for accessory and optional item inquiries.

# Safety Precautions

- **For safe and proper use of handset, please read the "Safety Precautions" prior to use. Keep the manual for future reference.**
- **ALWAYS observe the safety precautions since they intend to prevent personal injury or property damage.**
- **The following symbols indicate the different levels of injury or damage that may result if the guidelines are not observed and handset is used improperly.**

| Level | Meaning |
|---|---|
| **DANGER** | Failure to observe these guidelines may immediately result in death or serious injury. |
| **WARNING** | Failure to observe these guidelines may result in death or serious injury. |
| **CAUTION** | Failure to observe these guidelines may result in injury and property damage. |

- **The following symbols indicate specific directions.**

| Symbol | Description |
|---|---|
| Prohibited | **Prohibited**<br>Indicates prohibited actions. |
| No Disassembly | **No Disassembly** |
| No liquids | **No liquids** |
| No wet hands | **No wet hands** |

| Symbol | Description |
|---|---|
| Compulsory | **Compulsory**<br>Indicates compulsory actions in accordance with instructions. |
| Unplug | **Unplug**<br>Indicates to remove the power plug from the outlet. |

## ⚠ DANGER

### Handling 802SE, Battery and Charger

**Use only the battery and charger specified for 802SE.**
The use of non-specified products may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite.
Battery: SEBA01, Desktop Holder: SEEA01, Rapid Charger: SECA01, In-Car Charger: SEJA01

Compulsory

**Do not get the battery and charger wet.**
If liquids such as water or pet urine get into the battery and charger, it may cause overheating, electric shock or malfunction. Be careful where and how you use handset.

No liquids

**Do not disassemble or modify handset.**
Doing so may cause accident such as fire, injury or electric shock, or malfunction.

No Disassembly

### Handling the Battery

■ **Check the type of the battery by referring to the label on the battery.**

| Display | Type of Battery |
|---|---|
| Li-ion | Lithium ion battery |

## ⚠ DANGER

**Do not throw the battery into fire.**
Doing so may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite.

Prohibited

**Do not drive a nail into the battery, hit it with a hammer or step on it.**
Doing so may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite.

Prohibited

**Do not forcibly attach the battery when inserting to handset. (Confirm that battery is inserted in the correct direction.)**
Doing so may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite.

Prohibited

**Do not use or leave the battery in a place with high temperature such as close to fire or heater.**
Doing so may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite.

Prohibited

**Do not connect the battery terminal to metal objects such as wires. Also, do not carry or keep the battery together with metal objects such as a necklace.**
Doing so may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite.

Prohibited

**If the battery fluid gets into your eyes, do not rub. Rinse with clean running water and get medical treatment immediately.**
Failure to do so may cause blindness.

Compulsory

## ⚠ WARNING

### Handling 802SE, Battery and Charger

**Do not place 802SE, battery or charger inside cooking appliances, such as microwave ovens or high-pressure containers.**

Prohibited

Doing so may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite or handset and charger to overheat, smoke, ignite or damage the circuit parts.

**Do not subject 802SE, battery or charger to excessive force or strong shocks.**

Prohibited

Doing so may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite or cause the equipment to malfunction or catch fire.

**Do not use or leave handset, battery or charger in a place subject to high temperature, such as under direct sunlight or in a car on an extremely hot day.**

Prohibited

Doing so may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite. The handset may become deformed or damaged as a result. Also, part of the case may heat up and cause burns.

**Do not use 802SE in a place where a fire or explosion could occur, such as petrol stations.**

Prohibited

The use of handset in a place where flammable gases such as propane or gasoline, or dust exist may cause explosion or fire.

## ⚠ WARNING

### Handling 802SE

**Do not use handset while driving a vehicle.**

Prohibited

Doing so may interfere with safe driving and cause an accident. Stop the vehicle to park in a safe place before using handset. Prohibited acts such as handset usage while driving may be punished by law.

**Turn handset power off near electronic equipment operating on high precision control or weak signals.**

Compulsory

Failure to do so may interfere with the operation of electronic equipment.

- The following are some electronic equipment that you should be careful of: Hearing aids, implantable cardiac pacemaker, implantable cardioverter defibrillator, other electronic medical equipment, fire detector, automatic door and other automatically controlled equipment. If you use an implantable cardiac pacemaker, implantable cardioverter defibrillator or other electronic medical equipment, check with the relevant medical electronic equipment manufacturer or vendor whether the operation can be affected by radio waves.

**Do not turn on the light with the lighting part close to eyes.**

Prohibited

Doing so may cause eye injury or accident by dazzling eyes or causing surprise.

**Do not turn up the headphone volume to a level where you cannot hear the sounds around you while you are walking. Also, look out for the surrounding traffic and road surface conditions.**

Prohibited

Doing so may cause an accident.

## WARNING

**Turn handset power off in a place where the use is prohibited such as in airplane or hospital.**

Handset may affect electronic equipment and electronic medical equipment. If handset has the automatic power-on function, cancel the setting before turning handset power off. Follow the instructions of each medical facility for the use of handsets on their premises. Prohibited acts such as handset usage on board an airplane may be punished by law.

Compulsory

**Do not put 802SE in your breast pocket or inside pocket if you are wearing any electronic medical equipment.**

If 802SE is used close to electronic medical equipment, it may cause malfunction due to exposure to radio waves.

Prohibited

**If you have a weak heart, set the vibrating alert and ring volume carefully.**

Compulsory

**Do not aim the infrared port at eyes when using the infrared communication.**

Doing so may affect eyes. Also, aiming it towards other infrared devices may interfere with the operation of these devices.

Prohibited

## WARNING

### Handling the Charger

**Do not use the charger if the cord of the charger or the power cord is damaged.**

Doing so may cause electric shock, overheating or fire.

Prohibited

**Place the charger or the desktop holder on a stable platform while charging. Do not cover or wrap the charger or the desktop holder with a cloth or bedding.**

802SE may fall off the charger or heat up and cause fire or malfunction.

Compulsory

**Do not use the charger or the desktop holder in a very humid or steamy place such as a bathroom.**

Doing so may cause electric shock.

Prohibited

**Do not touch the cord of the charger or the power outlet with wet hands.**

Doing so may cause electric shock.

No wet hands

**Use the charger only on the specified power supply and voltage.**

Failure to do so may cause fire or malfunction.

Rapid Charger: AC 100 V to 240 V

In-Car Charger: DC 12 V/24 V (exclusively used for vehicles with a negative ground)

Compulsory

**Do not touch 802SE and the charger if you hear thunder.**

Doing so may cause injury or electric shock from the lightning.

Compulsory

## ⚠ WARNING

**Do not short-circuit the charging terminal of the charger while the power plug is connected to the power outlet or cigarette lighter socket. Do not touch the charging terminal with your hands, fingers or any part of your body.**
Doing so may cause fire, malfunction, electric shock or injury.

Prohibited

**In-Car Charger is for use in vehicles with a negative ground. Never use them in vehicles with a positive ground.**
Doing so may cause fire.

Prohibited

**When you connect the charger to the power outlet, make sure that it does not come in contact with metal objects such as wires and insert it firmly.**
Failure to do so may cause electric shock, short circuit or fire.

Compulsory

**Remove the power plug from the power outlet when not used for a long period of time.**
Failure to do so may cause electric shock, fire or malfunction.

Unplug

**If the fuse of the In-Car Charger is blown, replace it with the specified fuse.**
The use of an incorrect fuse may cause fire or malfunction. See the user's manual supplied with the charger or adapter for the specified fuse.

Compulsory

**If liquid such as water gets into the charger, immediately remove it from the power outlet or cigarette lighter socket.**
Failure to do so may cause electric shock, smoking or fire.

Unplug

## ⚠ WARNING

**Clean dust from the plug.**
Failure to do so may cause fire.

Compulsory

### Handling the Battery

**Stop charging if 802SE is not charged within the specified charging time.**
Failure to do so may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite.

Compulsory

**If the battery leaks or emits an unusual odour, immediately move it away from fire.**
The leaking liquid and catching fire may ignite or explode.

Compulsory

**If you notice anything unusual about the battery such as an unusual odour, overheating, discolouration or deformation during operation, charging or storage, immediately remove the battery from 802SE and do not use the battery.**
Failure to do so may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite.

Prohibited

**If the battery fluid gets on your skin or clothes, immediately rinse with clean running water and stop using the battery.**
Failure to do so may cause injury on your skin.

Compulsory

# ⚠ WARNING

## Handling 802SE Near Electronic Medical Equipment

■ **The following instructions observe the guidelines of the Electromagnetic Compatibility Conference Japan to protect electronic medical equipment from radio waves from handsets.**

**If you use an implantable cardiac pacemaker or implantable cardioverter defibrillator, keep a handset (0.8 W transmission output) more than 22 cm away from the implant at all times. Similarly, keep a car phone and shoulder phone (2.0 W transmission output) more than 30 cm away from the implant.**
The radio waves from handset may affect the operation of implantable cardiac pacemaker or implantable cardioverter defibrillator.

Compulsory

**Please observe the following guidelines in medical facilities.**

- Do not take handset into the operating rooms, ICU (Intensive Care Unit) or CCU (Coronary Care Unit).
- Turn handset power off inside hospital wards.
- Turn handset power off in the lobby and other places if there is any electronic medical equipment operating in the vicinity.
- Follow the instructions of each medical facility in areas where it is forbidden to use and carry a handset.
- If handset has the automatic power-on function, cancel the setting before turning handset power off.

Compulsory

**Turn handset power off in crowded places such as rush-hour trains. There may be a person with an implantable cardiac pacemaker or implantable cardioverter defibrillator near you.**
The radio waves from handset may affect the operation of implantable cardiac pacemaker or implantable cardioverter defibrillator.

Compulsory

# ⚠ WARNING

**If you need to use electronic medical equipment other than implantable cardiac pacemaker or implantable cardioverter defibrillator at home or outside medical facilities, check with the relevant medical electronic equipment manufacturer or vendor whether the operation may be affected by radio waves.**

Compulsory

# ⚠ CAUTION

## Handling 802SE, Battery and Charger

**Do not keep in a place that is very humid, dusty or subject to high temperature.**
Doing so may cause malfunction.

Prohibited

**Keep handset, battery and charger out of the reach of babies and infants.**
Failure to do so may cause accidental swallowing or injury.

Compulsory

**If children use handset, parents or guardians should give them the proper instructions for use. Make sure that they use handset as instructed.**
Failure to do so may cause injury.

Compulsory

## ⚠ CAUTION

### Handling 802SE

**In rare cases, using 802SE may interfere with the operation of electronic equipment in some types of vehicle.**
If there is any interference, do not use 802SE when driving, for safety reasons.

Compulsory

**Do not swing 802SE around by holding the strap.**
802SE may hit you or others or the strap gets cut away from 802SE. It may cause injury, or damage to 802SE or other property.

Prohibited

**Do not place your ear too close to the speaker while the ringtone sounds or the melody is played back.**
Doing so may cause hearing impairment.

Prohibited

**Do not turn up the volume unnecessarily high when you use the headphones.**
If you use the headphones continuously for hours with the sound turned up loud, it may cause hearing impairment, or your ears may be injured with the sudden emission of a loud sound.

Prohibited

**If you hear thunder while using handset outdoors, turn handset power off immediately and take shelter in a safe place.**
Failure to do so may cause injury or electric shock from the lightning.

Compulsory

**Do not place metal objects such as magnetic cards or floppy disks near or between 802SE.**
Magnetic data on bank cards, credit cards, telephone cards, floppy disks, etc. may be erased.

Prohibited

## ⚠ CAUTION

**The use of 802SE may cause itching, rashes, eczema or other symptoms depending on the user's physical condition. Immediately stop using and get medical treatment in such a case.**
The following materials are used for parts in 802SE.

Compulsory

| Handset | Material Used | Surface Finishing |
|---|---|---|
| Casing (Main display side) | Magnesium | – |
| Casing (other) | PC resin/ABS resin | UV coating |
| Display | Acrylic resin | – |
| Battery casing | PC resin | UV coating |
| Operation keys (other than plating keys) | PC resin | UV coating |
| Operation keys (plating keys) | ABS resin | Chrome plating |
| USB port cover | Elastomer resin | – |
| Loud speaker plate | Stainless steel | – |
| Speaker rubber | Polyurethane | – |

**Do not expose the camera lens to strong light such as sunlight for hours.**
Doing so may cause fire or malfunction due to the light concentration by lens.

Prohibited

**Do not touch broken glass if the display or the camera lens is broken.**
The display and the camera lens are designed not to be shattered when broken. But it may cause injury if you mistakenly touch a cut surface.

Prohibited

# ⚠ CAUTION

## Handling the Charger

**Do not place any heavy objects on the cord of the charger or the power cord.**
Doing so may cause electric shock or fire.

Prohibited

**Before cleaning, remove the power plug from the power outlet or cigarette lighter socket.**
Failure to do so may cause electric shock.

Unplug

**Hold the plug, not the cord of the charger or the power cord, when you remove the charger from the power outlet or cigarette lighter socket.**
Pulling the cord may damage it and cause electric shock or fire.

Compulsory

**Charge the battery that is not wet.**
Failure to do so may cause overheating, ignition or explosion.

Compulsory

## Handling the Battery

**Do not dispose of the battery together with other garbage.**
The battery may become the source of fire or environmental destruction. Affix a tape on the terminal of a used battery to insulate it and bring it to Vodafone Shop or follow the instructions of the local authorities that collect and dispose of the battery.

Prohibited

# General Notes

## General Use

- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/ alteration of handset data/data saved in "Memory Stick Duo". Please keep a backup copy of Phonebook data, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near fixed-line phones, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
  Digital signals reduce interception, however transmissions may be overheard. Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

## In Automobiles

- Do not use handset while driving. Doing so is dangerous.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect an automobile's electronic equipment.

## Aboard Aircraft

- Never use handset aboard aircraft. (Keep handset power off.)
  Handset use may impair aircraft operation.

## Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5˚C - 35˚C and 35% - 85% humidity. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- 802SE may become warm during use or charging. This is not a malfunction.
- Exposing lens to direct sunlight may damage colour filter and affect image colour.
- Do not drop or subject the handset to shocks.
- Soiled terminals may cause poor connection and loss of power. If the terminals are dirty, use a dry cloth or cotton swab to wipe them clean.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset displays.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the display.
- Open-air type stereo headphones result in noise emission. Avoid disturbing others.
- **802SE is not waterproof. Keep it away from fluids and high humidity.**
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid dropping handset in a wet area (restroom, bathroom, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- **Heavy objects or excessive pressure should be avoided.**
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Do not remove faceplate. If removed, handset may not be repaired.
- Turn handset power off before removing battery. Turn handset power off before removing the Rapid Charger. If battery is removed while saving or sending, data may be lost or altered.
- Power On/Off key, Dial keys and battery may become warm during a call or charging. This is not a malfunction.
- Although the LCD display is manufactured with highly precise technology, some pixels may be missing or constantly illuminated.

## Copyrights

Music, images, computer programs, database, other copyrighted materials, their respective works and copyright holders are protected by copyright laws. Duplicated materials are limited to only private use or use in the home. If duplications (including conversion of data types), modifications, transfer of duplicates or distribution on networks are made without permission of copyright holders this constitutes “Literary Piracy” and “Infringement of Copyright Holder Rights” and a criminal action for reparations and criminal punishment may be filed. If duplicates are made using the handset, please observe the copyright laws. 802SE is equipped with a camera. Materials captured with the camera are also subject to the above.

# FCC Statement

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and

(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

## Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

This mobile phone model 802SE has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the safety chapter in the User's Guide. SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):

The highest SAR value for this model phone tested by Sony Ericsson for use at the ear is 1.05 W/kg (10 g).

## FCC RF Exposure Information

This phone model has been certified in compliance with the government's requirements for exposure to radio waves.

This mobile phone model 802SE has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission (FCC) of the U.S. Government. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (i.e., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value as reported to the FCC for this model phone when tested for use at the ear is 0.76 W/kg and when worn on the body 0.45 W/kg (1 g) for speech, and XXX W/kg (1 g) for data calls.

Body worn measurements are made while the phone is in use and worn on the body with an Ericsson or Sony Ericsson accessory. Accessories can significantly affect SAR compliance. The Federal Communication Commission requires that some manufacturers' accessories be tested, and Sony Ericsson has done so with respect to its products. Sony Ericsson has only tested Ericsson and Sony Ericsson original accessories in conjunction with Sony Ericsson phones. It is therefore recommended that only Ericsson and Sony Ericsson original accessories be used in conjunction with Sony Ericsson phones.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure.
SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID PY7A1021051. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) web-site at http://phonefacts.net/.

* In the United States and Canada, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

The information can also be found, together with more information on radio frequency exposure and SAR, on: www.SonyEricsson.com/ <http://www.SonyEricsson.com/>.

# Minding Mobile Manners

Please take care not to disturb others when using your handset.

- Turn handset power off in theatres, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using handset in restaurants, hotel lobbies, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or automobile traffic.

**Manner-Related Functions**

- Manner Mode
  Press the Manner key to automatically silence all ringtones for incoming calls and messages.
- Vibrating Alert
  Vibrate handset to notice incoming calls, messages, etc. in public places.
- Volume
  Lower or silence ring volume for incoming calls.
- Message Alert
  Set your handset not to ring when message is received.
- Mode Settings
  Set ringtone or the volume according to conditions such as driving.

## Manner Mode

Activate Manner Mode to use handset without disturbing others.

**Press and hold [#] in Standby**

Manner icon appears and Manner Mode is activated.

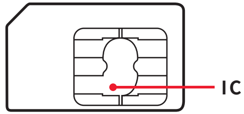
- Press and hold [#] again to deactivate Manner Mode.
  Manner icon disappears and Manner Mode is deactivated.

Note: Video and sound files sound during playback, even when Manner Mode is On.

# USIM Card

USIM card is an IC card that contains your information such as phone number. USIM card must be installed before using a USIM card compatible Vodafone handset. Without USIM card, calling and network connections for message and Web page are unavailable.

- Use information saved on USIM card with other compatible Vodafone handsets.
- Do not insert USIM card into any other IC card device. Vodafone isn't liable for resulting damages.
- Use a dry, soft cloth to clean USIM card.
- Do not attach labels to USIM card. Doing so may result in malfunction.




USIM Card

**Other Cautions**

- USIM card is the property of Vodafone.
- USIM card will be reissued for a fee if the card is lost or damaged.
- Return USIM card to Vodafone when you cancel your subscription.
- Returned USIM cards are recycled for environmental conservation.
- The specifications and performance of USIM card are subject to change without prior notice.
- Keep a backup copy of files saved on USIM card. Vodafone isn't liable for lost files.

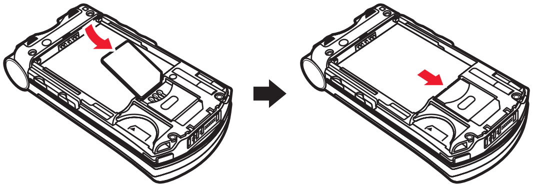
## Inserting/Removing USIM Card

Turn handset power off and remove battery before inserting/removing USIM card.

### Inserting USIM Card

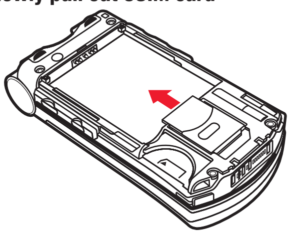
**1** **Insert USIM card into the slot with IC chip facing down**

**2** **Slide in**



### Removing USIM Card

**Slide and slowly pull out USIM card**



**Note** Avoid touching USIM card IC chip.

## USIM PINs

### PIN 1 & PIN 2

| PIN 1 | Prevent unauthorized use of Vodafone handset |
|---|---|
| PIN 2 | Required for settings of ***Call costs*** |

- PIN 1 & PIN 2 are “9999” by default.
- PIN 1 & PIN 2 can be changed.
- When ***USIM lock*** is ***On***, PIN 1 is required when handset power is turned on.

### Personal Unblocking Key (PUK)

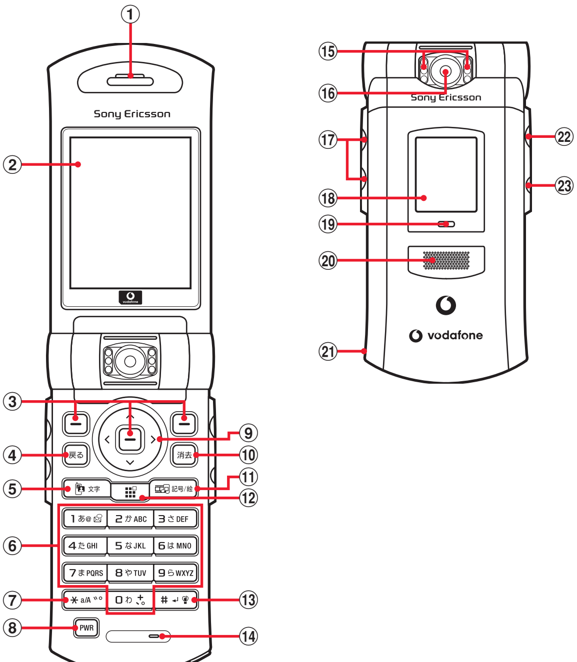
If PIN1 or PIN2 is incorrectly entered three times consecutively, PIN Lock is activated. Unlock PIN Lock by entering the Personal Unblocking Key (PUK).

- For more information about PUK, contact Customer Service (☞P 28-45).

**Note**
- If Personal Unblocking Key is incorrectly entered ten times consecutively, USIM card is locked and handset is disabled. Make a note of Personal Unblocking Key.
- For procedures required to unlock USIM card, contact Customer Service (☞P 28-45).

# Handset Parts & Functions

## Handset




① **Speaker**

② **Display**

③ **Selection keys**
Select items in Guide Area.

④ **Back key**
Return to previous screen. Press and hold to return to Standby.

⑤ **Video Call/Character key**
Make video calls. Press in text entry screen to switch text entry mode.

⑥ **Dial keys**

⑦ **Star key**
Press and hold to enter pause when entering phone number.

⑧ **Power On/Off key**
Press and hold to turn handset power on/off.

⑨ **Navigation key**
Select items or move cursor. Shortcut to certain functions.

⑩ **Clear key**
Delete entries, text and selected data.

⑪ **Media Player/Symbol/ Pictogram key**
Use Media Player. Enter symbols and pictograms.

⑫ **Menu key**
Display Main Menu.

⑬ **#/Manner key**
Press and hold to activate/deactivate Manner Mode.

⑭ **Microphone**

⑮ **Light**
Used for Video call and Camera.

⑯ **Camera lens**
Capture still images and videos.

⑰ **Volume keys**
Adjust the volume.

⑱ **External display**
View 802SE information such as time and remaining battery strength.

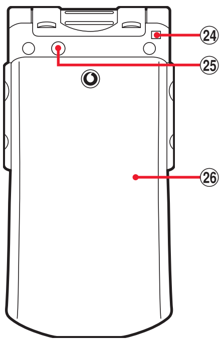
⑲ **Charging lamp**
Illuminate while charging. Illuminate green within the service area.

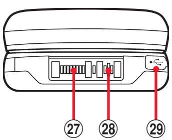
⑳ **Loud speaker**

㉑ **Infrared port**

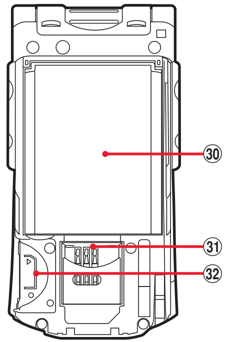
㉒ **Camera key**
Press and hold to activate Camera.

㉓ **Light key**



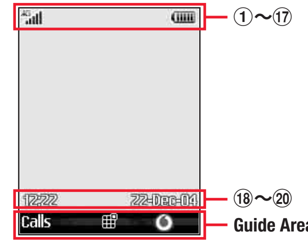




- ㉔ **Strap eyelet**
- ㉕ **External antenna terminal (RF terminal)**
- ㉖ **Battery cover**
- ㉗ **Handsfree terminal**
- ㉘ **Charging terminal**
- ㉙ **USB port**



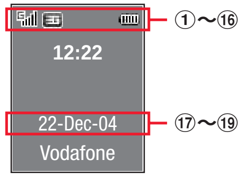

- ㉚ **Battery**
- ㉛ **USIM card slot**
- ㉜ **"Memory Stick Duo" slot**

## Display Indicators




- ① GPRS area radio reception status (5 levels)
  - RSSI area radio reception status (5 levels)
  - Out-of-GPRS range
  - Out-of-RSSI range
- ② 3G network range
- ③ During a call
- ④ Missed call
- ⑤ New Voice Mail
- ⑥ Restrict calls On
  - Divert always is On (Call Forwarding)
- ⑦ Speaker On
- ⑧ Manner Mode On
- ⑨ Media Player On
- ⑩ Infrared port On
- ⑪ Bluetooth communication On
- ⑫ Stopwatch
- ⑬ Appears while configuring Mode Settings
- ⑭ New SMS
  - New MMS
  - New SMS (mailbox full)
  - New MMS (mailbox full)
- ⑮ During Web connection
- ⑯ V-application activated
- ⑰ Battery strength (5 levels)
- ⑱ Call-in-progress
  - Call end
- ⑲ Alarm On
- ⑳ Timer On

## External Display



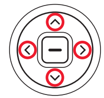

① GPRS area radio reception status (5 levels)
RSSI area radio reception status (5 levels)
Out-of-GPRS range
Out-of-RSSI range
② 3G network range
③ During a call
④ Missed call
⑤ New Voice Mail
⑥ Restrict calls On
Divert always is On (Call Forwarding)
⑦ Speaker On
⑧ Manner Mode On
⑨ Infrared port On
⑩ Bluetooth communication On
⑪ Stopwatch
⑫ Appears while configuring Mode Settings
⑬ New SMS
New MMS
New SMS (mailbox full)
New MMS (mailbox full)
⑭ During Web connection
⑮ V-application activated
⑯ Battery strength (5 levels)
⑰ Call-in-progress
Call end
⑱ Alarm On
⑲ Timer On

# Symbols Used in This Manual

"Vodafone 802SE" is referred to as "802SE" in this manual.

### Navigation Key

Use Navigation key to move cursor or scroll.

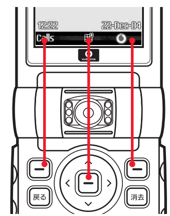


**Notation**

Up: 
Right: 
Down: 
Left: 

### Selection Keys

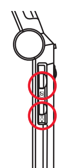
Use Selection keys to set selected items, display Sub Menu or Information, or select items in Guide Area.




**Notation**

Selection key (Left):
Selection key (Centre):
Selection key (Right):

### Camera key and Light key



**Notation**

Camera key:
Light key:

# Handset Codes

Security Code, Centre Access Code and Call Barring Password are required for handset use.

## Security Code

Security Code is the 4-digit number needed to use many handset functions. "0000" is set by default.

## Centre Access Code

4-digit number in subscription contract required to access optional services from fixed-line phones.

## Call Barring Password

Use Call Barring Password selected at initial subscription to restrict calls. If Call Barring Password is incorrectly entered three times, Call Barring settings are locked. Centre Access Code and Call Barring Password must be changed. For details, contact Customer Service (☞P 28-45).

**Note**
- Make a note of your Security Code, Centre Access Code and Call Barring Password. If lost, contact Customer Service (☞P 28-45).
- Do not disclose Security Code, Centre Access Code or Call Barring Password to others. Vodafone isn't liable for damages resulting from misuse.

# Charging Battery

## Getting Started

Charge a battery before use or after a period of disuse.

### Battery Life

- Do not use or store battery at extreme temperatures. Battery life may shorten. Ideal working temperature is between 5℃ - 35℃.
- Use specified charger only. Battery may deteriorate, ignite or overheat.
- Replace battery if operating time is noticeably shorter than normal.
- Battery life may be shortened if:
  - Handset is used in extreme temperatures
  - Handset, battery or charger terminals are soiled
  - Used in low signal strength or out-of-range areas

### Charging

- Battery must be inside handset to charge.
- Handset will charge with handset power turned on. Charging time takes longer than with handset power turned off.
- Do not use charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Charger and battery may become warm during charging.
- Move charger away from TV or radio if interference occurs.

### Precautions

- Use a dry cotton swab to keep handset, battery and charging terminal clean.
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.
- Use a case when carrying battery separately.

## When Battery Runs Out

A warning message appears and alarm sounds. Handset shuts down after a while unless operated. Charge battery.

## Battery Disposal

Do not dispose of exhausted batteries with municipal waste.
Tape over charging terminals before disposal, or take the battery to the nearest Vodafone Shop. Always follow local regulations.

# Rapid Charger

**1** **Insert Rapid Charger connector with the marked side ➘ up into charging terminal until it clicks**

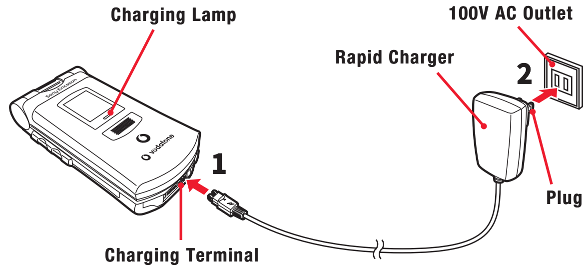
**2** **Plug in Rapid Charger**

Charging starts and charging lamp illuminates.

| Status | Charging | Charging Completed |
|---|---|---|
| Handset power on | Illuminate green | Illuminate green |
| Handset power off | Illuminate red | Illuminate green |

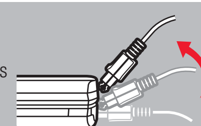
In addition, the motion of charging levels in the battery icon informs you of the handset being charged.

- When charging is completed, the battery icon changes to ▮▮▮▮.
- When charging is performed with the handset power off, ***Charging*** remains in the screen even if charging is completed. Confirm that the battery icon is ▮▮▮▮.
- Charging time is approximately 120 minutes.




**Note**

- Lift and remove Rapid Charger connector as shown.
  Do not pull, bend or twist the cord, as this may break the cord.
- Rapid Charger: 100 V - 240 V AC
- Vodafone isn't liable for any problems when charging the handset outside of Japan.



**Tip**

Purchase locally compatible plug adapter for charging handset outside of Japan.

# Basic Handset Operations

## Turning Handset Power On/Off

### Turn Handset Power On

Press and hold PWR

### Using the setup wizard

The setup wizard appears when you use 802SE for the first time or haven't made various settings with the wizard. With the setup wizard, perform the following:

- Set phone language
- Set time
- Set date
- Copy USIM numbers to Contacts

### Turn Handset Power Off

Press and hold PWR

## Phone Language

1 Press in Standby to open Main Menu

2 Use to select *設定* (Settings) and press 選択 (Select)

3 Use to select *全般* (General)

4 Use to select *Language* and press 選択 (Select)

5 Use to select *画面表示言語* (Phone language) and press 選択 (Select)

6 Use to select a language and press 選択 (Select)

## Date & Time

### Setting Date

1 Press in Standby to open Main Menu

2 Use to select *Settings* and press Select

3 Use to select *General*

4 Use to select *Time & date* and press Select

5 Use to select *Date* and press Select

6 Enter current date

7 Press Save

### Setting Time

1 Press in Standby to open Main Menu

2 Use to select *Settings* and press Select

3 Use to select *General*

4 Use to select *Time & date* and press Select

5 Use to select *Time* and press Select

6 Enter current time

7 Press Save

## Selecting Network Mode

1 Press in Standby to open Main Menu

2 Use to select *Connectivity* and press Select

3 Use to select *Mobile networks* and press Select

4 Use to select *Network mode* and press Select

5 Use to select *3G mode*, *GSM mode* or *Domestic mode* and press Select

## Initiating a Call

### Calling in Japan

1 Enter a phone number in Standby

2 Press Call

- Press End call to end the call.

### Making an International Call from Japan

1 Enter the country code, area code and phone number in Standby

- Omit the first 0 of the area code except when calling a number in Italy.

2 Press More

3 Use to select *Select prefix* and press Select

4 Use to select *Vodafone* and press Select

5 Press Call

### Making a Call from Outside of Japan

1 Press and hold 0 to enter "+" in Standby

2 Enter the country code, area code and phone number

- Omit the first 0 of the area code except when calling a number in Italy.

3 Press Call

- Press End call to end the call.

**■To call domestic fixed-line or handset phone numbers when outside of Japan**

Directly dial fixed-line or handset phone numbers.

## Redial

1 Press Calls in Standby

2 Use to select *Dialled*

3 Use to select a phone number and press Call

## Incoming Call

1 When a call arrives, open handset

2 Press [–] Yes

## Calling from Answered Calls List

1 Press [–] Calls in Standby

2 Use to select *Answered*

3 Use to select a phone number and press [–] Call

## Your Phone Number

1 Press in Standby to open Main Menu

2 Use to select *Phonebook* and press [–] Select

3 Use to select *Options* and press [–] Select

4 Use to select *Special numbers* and press [–] Select

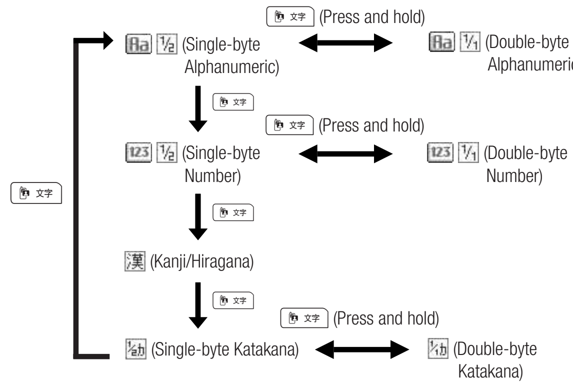
5 Use to select *My numbers* and press [–] Select

6 Use to move the cursor to *My mobile*

# Entering Characters

## Entry Modes

Press [文字] in a text entry screen to switch text entry mode. Press and hold [文字] to switch between double-byte and single-byte character.




- Press [* a/A ゛゜] in alphanumeric mode to switch between upper-case and lower-case characters.
  - Aa The first character of each word is capitalized
  - a All characters are entered in lower-case
  - A All characters are entered in upper-case

28

Abridged English Manual

# Key Assignments

| Key | Upper-case Alphanumerics | Lower-case Alphanumerics | Number |
|---|---|---|---|
| 1 | . , - ? ! ' @ : ; / ( ) 1<br>Press and hold to enter 1 | | 1 |
| 2 ABC | A B C Å Ä Æ à Ç 2 Γ<br>Press and hold to enter 2 | a b c å ä æ à ç 2 Γ<br>Press and hold to enter 2 | 2 |
| 3 DEF | D E F è É 3 Δ Φ<br>Press and hold to enter 3 | d e f è é 3 Δ Φ<br>Press and hold to enter 3 | 3 |
| 4 GHI | G H I ì 4<br>Press and hold to enter 4 | g h i ì 4<br>Press and hold to enter 4 | 4 |
| 5 JKL | J K L 5 Λ<br>Press and hold to enter 5 | j k l 5 Λ<br>Press and hold to enter 5 | 5 |
| 6 MNO | M N O Ñ Ö Ø ò 6<br>Press and hold to enter 6 | m n o ñ ö ø ò 6<br>Press and hold to enter 6 | 6 |
| 7 PQRS | P Q R S ß 7 Π Σ<br>Press and hold to enter 7 | p q r s ß 7 Π Σ<br>Press and hold to enter 7 | 7 |
| 8 TUV | T U V Ü ù 8<br>Press and hold to enter 8 | t u v ü ù 8<br>Press and hold to enter 8 | 8 |
| 9 WXYZ | W X Y Z 9<br>Press and hold to enter 9 | w x y z 9<br>Press and hold to enter 9 | 9 |
| 0 | + 0 Θ Ξ Ψ Ω<br>Press and hold to enter 0 | | 0<br>Press and hold to enter a“ + ”* |
| * a/A | Switch between upper and lower case characters | | ＊*<br>Press and hold to enter a“ p ”* |

| Key | Upper-case Alphanumerics | Lower-case Alphanumerics | Number |
|---|---|---|---|
| # | ↵ (line break) □ (space) ¶ (new paragraph)<br>Press and hold to select language | | #*<br>Press and hold to select language |
| 消去 | Press to delete one character to the left of the cursor<br>Press and hold to delete all characters to the left of the cursor | | |
| 文字 | Press to switch text entry mode<br>Press and hold to switch between double-byte and single-byte characters | | |

■: Shaded characters are available when ***Standard abc*/*Spanish*/*Portuguese*** are selected for writing language.

＊ In a phone number field

# Phonebook

Save up to 500 phone numbers in the handset memory as Contacts. In addition, save some phone numbers on the USIM card as USIM numbers. Save the following items for each Contacts/USIM numbers entry:

**■ Contacts**

| Category | Item | Description |
|---|---|---|
| | Name | Save up to 30 characters<br>• A name must be entered to create a Phonebook entry |
| | Reading | Save up to 30 single-byte characters |
| | New number | Save up to 5 phone numbers<br>Use the following icons to categorize numbers by type:<br>***Mobile***, ***Home***, ***Work***, ***Fax*** and ***Other***<br>Save up to 80 digits for each |
| | Email | Save up to 50 single-byte characters |
| | Web address | Save up to 120 single-byte characters |
| | Picture | Set a still image for incoming/outgoing call |
| | Ringtone | Customise ringtone by caller |
| | Voice Commands | Set Voice Commands to make/receive a call by voice<br>• A phone number must be entered to save a Voice Command |
| | Title | Save up to 15 characters |
| | Company | Save up to 30 characters |
| | Zip code | Save up to 25 characters |
| | Country | Save up to 25 characters |
| | State | Save up to 25 characters |
| | City | Save up to 25 characters |
| | Street | Save up to 25 characters |
| | Location | Display position information |
| | Info | Save up to 50 characters |

**■ USIM numbers**

| Item | Description |
|---|---|
| Name | Save up to 16 characters |
| Number | Save up to 80 digits<br>• A phone number must be entered to create a Phonebook entry |

**Note** Always keep a backup copy of important Contacts/USIM numbers data. If the battery is removed for a long period or is left uncharged, information saved in Contacts/USIM numbers may be lost or corrupted. Accidents or malfunctions can also result in the loss or corruption of the information. Vodafone isn't liable for any damages or loss due to loss or corruption of Contacts/USIM numbers information.

## Switching between Contacts and USIM Numbers

**Default** **Contacts**

1. **Press** (center key) to open Main Menu
2. **Select** ***Phonebook*** **and press** (−) Select
3. **Select** ***Options*** → ***Advanced*** → ***Default phonebook*** **and press** (−) Select
4. **Select** ***Contacts*** **or** ***USIM numbers*** **and press** (−) Select

# Saving Information to Phonebook

## Saving Information to Contacts

**1** **Press ◉ ▦ to open Main Menu**

**2** **Select *Phonebook* and press [–] Select**

**3** **Select *New contact* and press [–] Add**

**4** **Select *Name* and press [–] Add**

**5** **Enter a name and press [–] OK**

- An entry can't be saved in Contacts when no name is entered.

**6** **Select *New number* and press [–] Add**

**7** **Enter a phone number and press [–] OK**

**8** **Select a phone type and press [–] Select**

**9** **Use ◎ to select a category and use ◎ to select an item, then press [–] Add/Edit**

**10** **Enter other items**

**11** **Press [–] Save**

## Saving Information to USIM Numbers

**1** **Press ◉ ▦ to open Main Menu**

**2** **Select *Phonebook* and press [–] Select**

- If ***USIM numbers*** is set as default phonebook (☞ P 28-25), skip ahead to Step 4.

**3** **Select *Options* → *USIM numbers* and press [–] Select**

**4** **Select *New number* and press [–] Add**

**5** **Select *Name* and press [–] Add**

**6** **Enter a name and press [–] OK**

**7** **Select *Number* and press [–] Add**

**8** **Enter a phone number and press [–] OK**

- An entry can't be saved in USIM numbers when no phone number is entered.

**9** **Press [–] Save**

## Dialling a Phone Number from Phonebook

**1** **Press (navigation key) (Main Menu) to open Main Menu**

**2** **Select *Phonebook* and press (−) Select**

**3** **Select an entry and press (−) Call**

- When the entry contains multiple phone numbers, use (navigation key) to select a phone number.

### Searching by Reading

**1** **Press (navigation key) (Main Menu) to open Main Menu**

**2** **Select *Phonebook* and press (−) Select**

**3** **Enter the first character of a reading**

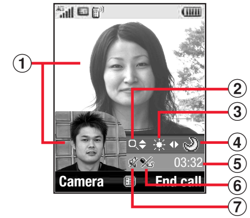
The entries corresponding to the character appear.

**4** **Select an entry and press (−) Call**

# Video Call

## Screen Display

Video calls can be made to video call compatible Vodafone handsets.




① **Caller/Your Image**

② **Zoom**
- Normal
- 2 × 200%
- 4 × 400%

③ **Brightness**
- Normal
- +1, +2 Bright
- -1, -2 Dark

④ **Night Mode**
- Night mode On

⑤ **Call Time**

⑥ **Microphone**
- Microphone Off

⑦ **Speaker**
- Speaker Off

28

Abridged English Manual

## Making a Video Call

**1** **Enter a phone number in Standby and press** [文字]

**2** **Press** [—] End call **to end a video call**

## Receiving a Video Call

**1** **When handset rings and** *Answer video call?* **appears, press** [—] Yes

**2** **Press** [—] End call **to end a video call**

# Camera

## Before Using Camera

802SE is equipped with a built-in digital camera/video camera.

- Switching between digital camera and digital video camera: ◐/◑

### File Format and Storage

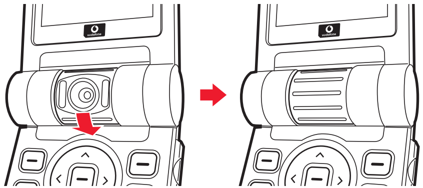
| | Size (pixel) | File Format | Saved to |
|---|---|---|---|
| Still image | 1280 X 1024 | JPEG format (.jpeg) | Data Folder (☞P 28-31)/ "Memory Stick Duo" |
| | 640 X 480 | | |
| | 160 X 120 | | |
| Video | 176 X 144 | 3GPP format (.3gp) | Data Folder (☞P 28-31)/ "Memory Stick Duo" |
| | 128 X 96 | | |

### Before Using Camera

- Fingerprints or debris on the lens cover may affect image quality. Use a soft cloth to clean the lens.
- To avoid camera shake, hold handset firmly or place it on a stable surface and use Self-timer.
- To use Camera, rotate lens and point at a subject.
- The lens has range of movement. Forcible rotating may cause malfunction.

### When Using Camera

- Colour filter may be affected if the lens is subjected to direct sunlight.
- Image quality may deteriorate when capturing/saving images while handset is hot.
- Camera is a precision instrument. However, some pixels may appear brighter or darker.
- Do not point the light close to someone's eyes. Avoid staring at the light when lit. Doing so may cause a loss of visual acuity.
- Shutter Click sounds even when Manner Mode is On.
- Rotate lens as shown when lens isn't in use.



**Closed Position**

## Capturing Still Images

**1 Press and hold [camera] in Standby**

**2 Press [navigation key left]**

Camera mode is activated.

**3 Rotate lens to display a subject on the screen and press [camera]**

**4 Press 戻る to exit**

## Recording Videos

- To record videos, keep handset within 1.5 m of the object in adequate lighting.
- To record sounds, keep handset within 50 cm of the source.

**1 Press and hold [camera] in Standby**

**2 Press [navigation key right]**

Video mode is activated.

**3 Rotate lens to display a subject on the screen and press [camera]**

**4 Press [camera] to stop**

**5 Press 戻る to exit**

# Media Player

Use Media Player function to play video clips or sounds.

## Playing

**1 Press [key] [menu] to open Main Menu**

**2 Select *Media Player* and press [key] Select**

**3 Select an item**

**4 Select a sound or video file and press [key] Play**

[key] : Pause/Play

戻る : Stop

[key] / [key] : Skip

+ / − : Volume control

# "Memory Stick Duo"

"Memory Stick Duo" can be used as a memory card for your 802SE.

"Memory Stick Duo" is the compact size of "Memory Stick".

"Memory Stick Duo" equipped with Memory Stick Duo adapter can be used with "Memory Stick" compatible devices.

Higher-capacity memory card "Memory Stick PRO Duo" can also be available.

- Data such as images captured with 802SE, images and sounds received via infrared communication/Bluetooth communication can be stored in "Memory Stick Duo".
- Images and sounds saved in your 802SE can be copied/moved to "Memory Stick Duo".

## Precautions

- Never remove "Memory Stick Duo" while data is being loaded or saved.
- Data may be damaged by removing "Memory Stick Duo" or turning handset power off while data is being loaded or saved, or using in an electrostatic or electrically noisy environment.
- Do not apply excessive pressure when writing on memo area.
- Place "Memory Stick Duo" in an attached storage case to carry or keep it.
- Do not touch the terminal area with your hands or metal objects.
- Avoid shock, bending or liquids.
- Never disassemble or modify.
- Keep away from direct sunlight or excessive heat (inside cars, etc.).
- Do not use it in a high humidity area or near corrosive substances.
- Do not affix labels to "Memory Stick Duo". The labels may interfere when inserting the card into 802SE or Memory Stick Duo adapter.

## Memory Cards Available for 802SE

"Memory Stick" available with 802SE is "Memory Stick Duo".

| Types of Media | Record/Play |
|---|---|
| "Memory Stick Duo" | Available |
| "Memory Stick Duo (compatible with MagicGate/ high-speed data transfer)" | Available[1,2] |
| "MagicGate Memory Stick Duo" | Available[1] |
| "Memory Stick PRO Duo" | Available[1,2,3] |

1 802SE doesn't support MagicGate.
- MagicGate is the generic name of a copyright protection technology based on encryption technology developed by Sony Corporation.

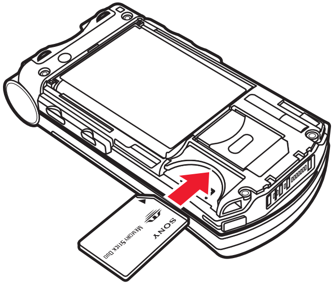
2 802SE doesn't support high-speed data transfer.

3 "Memory Stick PRO Duo" to which access restriction is placed by an access control function can't be used with 802SE.

## Inserting "Memory Stick Duo"

Insert "Memory Stick Duo" into the "Memory Stick Duo" slot.

- Insert "Memory Stick Duo" with the terminal part down.




# Data Folder

Still images/videos captured with the 802SE camera are saved to Data Folder and classified in folders by file type.

- When "Memory Stick Duo" is inserted to your 802SE, files are automatically saved on the "Memory Stick Duo".
- Files saved on "Memory Stick Duo" can be accessed from the same folder in Data Folder.
- Move or copy files between the handset memory and "Memory Stick Duo".

Indicator appearing to the left of the file name indicates the saved location.

Saved in handset

Saved in "Memory Stick Duo"

## Data Folder Structure

| Folder | | Saved Data |
|---|---|---|
| Pictures | | • Still images downloaded from Web pages |
| | Camera pictures | • Still images captured with the camera |
| Videos | | • Videos downloaded from Web pages |
| | Camera video clips | • Videos recorded with the camera |
| Sounds | | • Melodies created by MusicDJ™<br>• Voice recorded by Record Sound<br>• Sounds downloaded from Web pages |
| | Ringtones* | • Sounds preinstalled in 802SE |
| Skins | | • Images for skins preinstalled in 802SE<br>• Images for skins downloaded from Web pages |
| Web pages | | • Web pages downloaded to 802SE |
| V-applications | | • V-applications preinstalled in 802SE<br>• V-applications downloaded from Web pages |
| Applications | | • V-applications preinstalled in 802SE<br>• V-applications downloaded from Web pages |
| Other | | • Files not supported by 802SE (sending/receiving enabled) |

* Only when “Memory Stick Duo” is inserted

## Accessing a File in Data Folder

**1 Press [key] [menu] to open Main Menu**

**2 Select *Data Folder* and press [–] Select**

**3 Select a folder and press [–] Open**

**4 Select a file and press [–] View/Play/Set/Start/Send**

**28-32**

# Connectivity

The following are available for sending/receiving data to/from other devices:

### Infrared port

Using the infrared port allows you to send and receive data between your handset and another device equipped with an infrared port such as a Vodafone handset. Data saved on “Memory Stick Duo” can also be sent.

### Bluetooth™ wireless technology

Bluetooth wireless technology allows connection with other Bluetooth devices. Connect to a wireless headset or other accessory to make a handsfree call.

### USB cable

Connect your 802SE to a PC using the USB cable (included with the handset) for transferring data.

## Using Infrared Communication

Set the infrared port of the receiving device On before sending/receiving data.

### Turning Infrared Port On

**1 Press [key] [menu] to open Main Menu**

**2 Select *Connectivity* and press [–] Select**

**3 Select *Infrared port* and press [–] Select**

**4 Select *On* or *10 minutes* and press [–] Select**

When Infrared port is set to ***On***, [icon] appears on the screen.

***10 minutes***: Sets Infrared port to ***On*** for 10 minutes.

### Sending Data

1. **Select an item from *Data Folder* or a function**
2. **Press [—] More, select *Send* → *Via infrared* and press [—] Select**
3. **Place the infrared ports of sender and receiver facing each other within 20 cm**
   - Do not move communicating devices until transmission is complete.

## Using Bluetooth Wireless Technology

Before using Bluetooth communication, the sending device has to be added to the list of Bluetooth devices in the receiving device, and vice versa.

- Bluetooth devices have to be within a range of 10 m to communicate.

### Activating Bluetooth

1. **Press [●] to open Main Menu**
2. **Select *Connectivity* and press [—] Select**
3. **Select *Bluetooth* and press [—] Select**
4. **Select *Turn on* and press [—] Select**
   When Bluetooth is turned on, appears on the screen.

### Searching and Adding a Device

1. **Press [●] to open Main Menu**
2. **Select *Connectivity* and press [—] Select**
3. **Select *Bluetooth* and press [—] Select**
4. **Select *My devices* → *New device* and press [—] Add**
5. **Select a device to connect and press [—] Select**
6. **Enter the passcode and press [—] OK**

### Receiving Data

1. **Press [●] to open Main Menu**
2. **Select *Connectivity* and press [—] Select**
3. **Select *Bluetooth* and press [—] Select**
4. **Select *My devices* and press [—] Select**
5. **Select a device and press [—] Browse**
6. **Select a file from the folder and press [—] Get**

### Sending Data

1. **Select a data item from *Data Folder* or a function**
2. **Press [—] More, select *Send* → *Via Bluetooth* and press [—] Select**
3. **Select a device to send data and press [—] Select**

# Optional Services

With a Vodafone handset, the following optional services are available:

### ■ Call Forwarding

Forwards incoming calls automatically to a specified number when handset power is turned off, you aren't reachable or you can't answer incoming calls.

### ■ Voicemail (Subscription required)

Stores messages at Voicemail Service Centre when you aren't reachable or you are busy.

### ■ Call Waiting (Subscription required)

Places a caller on hold to receive another incoming call. To switch between parties is possible.

### ■ Multi Party Call (Subscription required)

Allows you to call another party while talking, switch between parties or talk with up to 5 parties simultaneously.

### ■ Call Barring

Restricts outgoing and incoming calls.

### ■ Caller ID

Displays caller's phone number on recipient's handset.

**Tip** Some services are unavailable for video calls.

# Vodafone live!

Vodafone live! is a communication service that allows use of Messaging, Web and V-applications with handsets that support Vodafone live!

# Messaging

Exchange messages on your handset from Japan or outside of Japan.

**SMS**
Exchange short text messages between Vodafone handsets. Use the subscribers' phone numbers as the address.

**MMS**
Send and receive long text messages/images/sounds with Vodafone handsets, PCs, other mobile phones supporting email, etc.

## Receiving Messages

When a new message arrives, the message alert indicates the arrival.
appears for SMS and for MMS.
Save up to a total of 200 SMS and 100 MMS for received/sent/unsent messages and five MMS Notices.

**Press [–] Yes from the incoming message screen**

View message screen appears.

- Pressing [–] No saves the message in Received Messages as an unread message.

### Downloading MMS

The initial portion of MMS is received as an MMS Notice. Perform the following steps to download the complete message.

1. **Press [–] Yes from the incoming message screen**
2. **Press [–] View in Preview screen and press [–] Yes**

   Downloading starts.

## Sending SMS

Send text messages of up to 70 characters.

### Composing SMS

1. **Press [●] to open Main Menu**
2. **Select *Messaging* and press [–] Select**
3. **Select *Create Message* and press [–] Select**
4. **Select *SMS* and press [–] Select**

   Create Message screen appears.
5. **Create a message and press [–] Continue**

   Send to screen appears.

### Entering Addresses

**Enter addresses from Send to screen**

**■To enter a phone number**

Select ***Enter phone number***, then enter a phone number.

**■To select from the Phonebook**

Select ***Phonebook look up***. Select a phone number from Contacts/USIM numbers.

- When you have multiple phone numbers in Contacts, use [○] to select a phone number.

**■To select from the sent log**

Select a phone number displayed in Send to screen.

## Adding Recipients

**1** **Press [−] More from Send message screen, select *Recipients* and press [−] Select**

**2** **Press [−] Add and select a recipient**

**3** **Press [−] Done**

## Sending Messages

**Press [−] Send from Send message screen**





# Sending MMS

Attach image and sound files to a page. The recipient can view the MMS as a slide show. Maximum size for sending MMS is 300 KB.

## Composing MMS

**1** **Press [◉] [Menu] to open Main Menu**

**2** **Select *Messaging* and press [−] Select**

**3** **Select *Create Message* and press [−] Select**

**4** **Select *MMS* and press [−] Select**

The page composing screen appears.

**5** **Compose a page**

**6** **Press [−] More, select *Send* and press [−] Select**

Add recipient screen appears.

## Composing a Page

Add a page for each still image, animation, sound, video or text message you wish to add.

**1** **Press [−] Add from the page composing screen**

**2** **Select and add item**

| Item | Description |
|---|---|
| Camera | Capture a still image/record a video and attach it |
| Picture | Attach a still image/animation |
| Text | Enter a text message |
| Sound | Attach a sound file |
| Video | Attach a video file |
| Sound recording | Record a sound file and attach it |
| Page | Add a new page |
| Signature | Add a signature page |

**3** **Press [−] More, select *Send* and press [−] Select**

Add recipient screen appears.

## Entering Addresses

Up to 20 Vodafone handset numbers and email addresses can be set to a recipient.

**Select an entry method from Add recipient screen and select/enter an address**

Send message screen appears.

■ **To enter a phone number or email address**

Select ***Enter phone number*** or ***Enter email address***, then enter a phone number/email address.

■ **To select from the Phonebook**

Select ***Phonebook look up***. Select a phone number, email address from Contact or USIM numbers.

- When you have multiple phone numbers and email addresses in a Contacts, use [navigation key] to select a phone number or email address.

■ **To select from the sent log**

Select a phone number/email address displayed in Add recipient screen.

## Adding Recipients

***To/Cc/Bcc*** can be added.

1. **Press [–] More from Send message screen, select *Recipients* and press [–] Select**
2. **Select *To*, *Cc* or *Bcc* and press [–] Add**
3. **Select a recipient**
4. **Press [–] Done**

## Sending Message

**Press [–] Send from Send message screen**

# Replying & Forwarding

## Replying to Messages

1. **Press [center key] [menu] to open Main Menu**
2. **Select *Messaging* and press [–] Select**
3. **Select *Received Messages* and press [–] Select**
4. **Select a message and press [–] More**
5. **Select *Reply* → *SMS* or *MMS* and press [–] Select**
6. **Create a message/compose a page**
   - "Sending SMS" (☞ P 28-35)
   - "Sending MMS" (☞ P 28-36)
7. **Press [–] Send from Send message screen**

## Forwarding Messages

Forward received and sent messages to other addresses.

1. **Press [center key] [Menu] to open Main Menu**
2. **Select *Messaging* and press [–] Select**
3. **Select *Received Messages* or *Sent messages* and press [–] Select**
4. **Select a message and press [–] More**
5. **Select *Forward* and press [–] Select**
6. **Edit a message/a page**
   - "Sending SMS" (☞ P 28-35)
   - "Sending MMS" (☞ P 28-36)
7. **Press [–] Send from Send message screen**

# Web

Use Web to access the Mobile Internet. Search various types of content and download images/sounds.

**Access from the Vodafone live! menu**

Select from menu items to access Web contents.

**URL entry**

Enter a URL to access a site on the Mobile Internet.

# V-Applications

A variety of applications including games and 3D images can be downloaded for use.

**Download from Web**
V-applications can be downloaded from Web pages that provide V-applications.

**Network-enabled V-applications**
Network-enabled games can be played. Information can be obtained in real time.

**Useful functions**
V-applications can be set as a screen saver. V-applications can also be set to activate at a specified time.

**Tip** 802SE may not support unofficial V-applications.

# Menu Overview & Descriptions

| Menu Item | | Description |
|---|---|---|
| V-application | | Download and play V-applications |
| Vodafone live! | | Connect to Vodafone live! |
| Media Player | | Play sound/video files |
| Camera | | Capture a still image/video |
| Messaging | | – |
| | Create Message | Create a new SMS/MMS |
| | Received Messages | Incoming messages (SMS/MMS) are saved here |
| | Unsent Messages | Draft messages (SMS/MMS) are saved here |
| | Outbox | Outgoing MMS is temporarily saved here |
| | Sent messages | Sent messages (SMS/MMS) are saved here |
| | Saved messages | Protected messages (SMS/MMS) are saved here |
| | Templates | Create/save a template for SMS/MMS |
| | Call voicemail | Access to Voicemail Service Centre |
| | Settings | SMS/MMS settings |
| Data Folder | | Save various types of files to folders |
| Tools | | – |
| | Applications | Start V-applications |
| | Calendar | Save/display a schedule |
| | Tasks | Save/display a Task |
| | Notes | Save/display a Note |
| | Alarms | Set an alarm |
| | Timer | Timer function |
| | Stopwatch | Stopwatch function |
| | Record sound | Record sounds |

| Menu Item | | | Description |
|---|---|---|---|
| Tools | MusicDJ™ | | Create an original ringtone |
| | Calculator | | Calculator function |
| | Code memo | | Memo of PIN number |
| Phonebook | | | Access Phonebook |
| Favourites | | | Display a Favourites list |
| Connectivity | | | – |
| | Bluetooth | | Settings for Bluetooth communication |
| | Infrared port | | Settings for infrared communication |
| | Mobile networks | | Settings for telecommunication carriers |
| | Data communication | | Settings for data communication |
| | Internet settings | | Settings for Internet connection |
| | Streaming settings | | Settings for streaming function |
| | Settings for Java™ | | Settings for V-applications |
| | Accessories | | Display accessories connected to 802SE |
| Calls | | | Display Call log/Incoming calls/Outgoing calls/Missed calls |
| Settings | | | – |
| | General | | – |
| | | Mode Settings | Set various modes |
| | | Time & date | Set date and time |
| | | Power save | Set Power save mode to extend battery life |
| | | Language | Set languages to display and enter |
| | | Voice control | Set a Voice Command |
| | | Shortcuts | Save a shortcut |
| | | Locks | Set USIM lock and dial lock |
| | | Setup wizard | Start the setup wizard |

| Menu Item | | | | Description |
|---|---|---|---|---|
| Settings | General | Phone status | | Confirm the status of 802SE |
| | | Format Memory Stick | | Format“ Memory Stick Duo ” |
| | | Master reset | | – |
| | | | Reset settings | Restore settings to the default |
| | | | Reset all | Restore all settings and saved contents and data to the default |
| | Sounds & alerts | | | – |
| | | Ring volume | | Set the ringtone volume |
| | | Ringtone | | Set a ringtone |
| | | Manner mode | | Set Manner mode to On/Off |
| | | Increasing ring | | Set an increasing ring to On/Off |
| | | Vibrating alert | | Set the Vibrating alert to On/Off |
| | | Message alert | | Set a message alert |
| | | Key sound | | Set a key sound |
| | Display | | | – |
| | | Main wallpaper | | Set as a wallpaper for the display |
| | | External wallpaper | | Set as a wallpaper for External display |
| | | Skins | | Change display’s appearance |
| | | Start-up screen | | Set the start-up screen |
| | | Screen saver | | Set a screen saver |
| | | Light | | Set display/dial keys backlight |
| | | Sleep mode clock | | Set clock display for Sleep mode screen |
| | Calls | | | – |
| | | Divert calls | | Set Call Forwarding |
| | | Manage calls | | – |
| | | | Call waiting | Set Call waiting |
| | | | Accept calls | Set Accept/Reject calls |

| Menu Item | | | | Description |
|---|---|---|---|---|
| Settings | Calls | Manage calls | Restrict calls | Set restrictions on outgoing/incoming calls |
| | | | International prefix | Add/edit a prefix for international calls |
| | | Time & cost | | – |
| | | | Call timers | Display the duration of last call/total calls |
| | | | Call costs | Display charges of last call/total calls |
| | | | Messages counter | Display the number of sent/received SMS/MMS |
| | | | Data counters | Display the size of the sent/received data |
| | | Show or hide number | | Set to show or hide your number |
| | | Open to answer | | Set to answer calls by opening handset |
| | | Handsfree | | Set an answering method with the handsfree device connected |

# Specifications

The specifications and appearance are subject to change.

## 802SE

Weight:

Approximately 127 g (with battery attached)

Continuous talk time:

Approximately 120 minutes (W-CDMA)

Continuous standby time (when handset closed):

Approximately 240 hours (W-CDMA)

Charging time (with handset power off):

Rapid charger: Approximately 120 minutes

In-Car charger: Approximately 130 minutes

Dimensions (W×H×D):

Approximately 49×102×23.6 mm (without protruding parts) (when handset closed)

Maximum output:

0.25 W (W-CDMA)

2 W (GSM)

**Tip**

- Values to the left are measured with the battery attached.
- Continuous talk time refers to an average operating time of a phone with a new, fully-charged battery attached when it is in a stationary state and receiving signals normally.
- Continuous standby time refers to an average operating time of 802SE with a new, fully-charged battery attached when it is closed, not used for calls or operated with keys and is in a stationary state while receiving signals normally. When the phone is in a place where signal strength is low (in a building, car or bag) or out of range, the operating time may be reduced to about less than half. The operating time may vary according to different conditions (charge status, temperature, etc.).
- The battery operating time is calculated under stable signal conditions. Phone calls in a place where signals are low or in standby with the out of range indicator on drains the battery faster, which may reduce the operating time to less than half.
- If the handset is used with display/dial keys backlight on for long periods of time, talk time and standby time may be reduced.
- While V-application is activated, talk time and standby time may be reduced.
- Talk time and standby time may be reduced depending on the operation or setting.

### Rapid Charger

Power supply: 100 - 240 V AC, 50/60 Hz

Power consumption: 0.8 W

Output voltage/output current: 4.9 V DC/850 mA DC

Charging temperature range: 5 - 35˚C

Dimensions (W×H×D): Approximately 42.4×67.2×46.9 mm (without protruding parts and cord)

### Desktop Holder

Input voltage/input current: 4.9 V DC/850 mA DC

Output voltage/output current: 4.9 V DC/850 mA DC

Charging temperature range: 5 - 35˚C

Dimensions (W×H×D): Approximately 53×32×104 mm

### Battery

Voltage: 3.6 V

Battery: Lithium ion battery

Capacity: 900 mAh

Dimensions (W×H×D): Approximately 40×50×4.5 mm

# Customer Service

If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information. For repairs, please call Customer Assistance.

**Vodafone Customer Centres**

From a Vodafone handset, dial toll free at 157 for General Information or 113 for Customer Assistance.

### From Fixed-line Phones

| Area of Subscription | Service Centre | Phone Number |
|---|---|---|
| Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui | General Information | 0088-240-157 |
| | Customer Assistance | 0088-240-113 |
| Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka | General Information | 0088-241-157 |
| | Customer Assistance | 0088-241-113 |
| Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama | General Information | 0088-242-157 |
| | Customer Assistance | 0088-242-113 |
| Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane | General Information | 0088-259-157 |
| | Customer Assistance | 0088-259-113 |
| Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi | General Information | 0088-247-157 |
| | Customer Assistance | 0088-247-113 |
| Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa | General Information | 0088-250-157 |
| | Customer Assistance | 0088-250-113 |

# Declaration of Conformity

We, **Sony Ericsson Mobile Communications AB** of Nya Vattentornet

S-221 88 Lund, Sweden

declare under our sole responsibility that our product

**Sony Ericsson type AAD-3021011-BV**

and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards 3GPP TS 51.010-1, 3GPP TS 34.121, EN 301489-7, EN 301489-24, EN 300328, EN 301489-17 and EN 60950, following the provisions of Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment directive **99/5/EC** with requirements covering EMC directive **89/336/EEC**, and Low Voltage directive **73/23/EEC**.

Lund, July 2004

CE 0682

Hiroshi Yoshioka, Head of Product Business Unit GSM/UMTS

We fulfil the requirements of the R&TTE Directive (**99/5/EC**).

# 付録

# 機能一覧

| 機能 | | 概要 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| Vアプリ | | Vアプリを起動／ダウンロード | 26-2、26-3 |
| Vodafone live! | | Vodafone live!に接続 | 23-3 |
| メディアプレイヤー | | サウンド／動画を再生 | 10-2 |
| カメラ | | 静止画／動画を撮影 | 7-5 |
| メール | | — | — |
| | 新規作成 | SMS／MMSを新規作成 | 19-2、19-6 |
| | 受信メール | 受信したSMS／MMSを保存 | 20-2 |
| | 下書き | 下書きのSMS／MMSを保存 | 20-2 |
| | 未送信メール | 送信するMMSを一時的に保存 | 20-2 |
| | 送信済みメール | 送信したSMS／MMSを保存 | 20-2 |
| | 保存メール | 保護するSMS／MMSを保存 | 20-8 |
| | テンプレート | SMS／MMSのテンプレートを作成／保存 | 22-6 |
| | 留守番電話再生 | 留守番電話サービスセンターに発信 | 16-5 |
| | 設定 | SMS／MMSの各種設定 | 22-2 |
| データフォルダ | | 各種ファイルをフォルダごとに保存 | 12-2 |
| ツール | | — | — |
| | アプリケーション | Vアプリを起動 | 26-3 |
| | カレンダー | 予定の登録／表示 | 15-10 |
| | ToDo | ToDoの登録／表示 | 15-12 |
| | メモ | メモの登録／表示 | 15-14 |
| | アラーム | アラームの設定 | 15-8 |
| | タイマ | タイマ機能 | 15-9 |
| | ストップウォッチ | ストップウォッチ機能 | 15-9 |
| | サウンド録音 | 音声を録音 | 10-4 |

| 機能 | | | 概要 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| ツール | MusicDJ™ | | オリジナル着信音を作成 | 9-4 |
| | 簡易電卓 | | 電卓機能 | 15-15 |
| | コードメモ | | 暗証番号のメモ | 15-17 |
| 電話帳 | | | 電話帳を登録／表示 | 5-2 |
| リンク | | | ウェブのリンク一覧を表示 | － |
| 接続 | | | － | － |
| | Bluetooth | | Bluetooth通信の設定 | 13-4 |
| | 赤外線通信 | | 赤外線通信の設定 | 13-2 |
| | ネットワーク設定 | | 通信事業者の設定 | 2-16 |
| | データ通信 | | データ通信の設定 | 13-8 |
| | インターネット設定 | | インターネット接続の設定 | 25-2 |
| | ストリーミング設定 | | ストリーミング機能の設定 | － |
| | Java™アプリ設定 | | Vアプリの設定 | － |
| | アクセサリ | | 802SEに接続されているアクセサリを表示 | － |
| 発着信履歴 | | | 発着信履歴／着信履歴／発信履歴／不在着信履歴を表示 | 2-10 |
| 設定 | | | － | － |
| | 全般 | | － | － |
| | | モード設定 | 各種モードを設定 | 15-15 |
| | | 日時設定 | 日付・時刻を設定 | 1-17 |
| | | パワーセーブ | 電池の消耗を抑えるパワーセーブモードを設定 | 15-18 |
| | | 言語 | 表示言語・入力言語を設定 | 4-2、8-5 |
| | | 音声コマンド | 音声コマンドを設定 | 15-4 |
| | | ショートカット設定 | ショートカットを登録 | 2-14 |
| | | ロック | USIMロック・ダイヤル操作禁止を設定 | 14-3 |
| | | セットアップウィザード | セットアップウィザードを起動 | 1-16 |

| 機能 | | | | 概要 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 設定 | 全般 | 本体ステータス | | 802SEの状態を確認 | 2-13 |
| | | メモリースティックのフォーマット | | “メモリースティック Duo”を初期化 | 11-5 |
| | | 設定リセット | | ― | ― |
| | | | 設定リセット | 各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す | 14-5 |
| | | | すべてリセット | 各機能の設定や登録内容、データをすべてお買い上げ時の状態に戻す | 14-5 |
| | 音設定 | | | ― | ― |
| | | 着信音量 | | 着信音量を設定 | 9-2 |
| | | 着信音選択 | | 音声着信音を設定 | 9-2 |
| | | マナーモード | | マナーモードのON／OFFを設定 | 3-2 |
| | | ステップアップトーン | | ステップアップトーンのON／OFFを設定 | 9-2 |
| | | バイブレータ設定 | | バイブレータのON／OFFを設定 | 9-3 |
| | | メール着信音 | | メール着信音を設定 | 9-3 |
| | | キー操作音 | | ボタン操作音を設定 | 9-4 |
| | ディスプレイ設定 | | | ― | ― |
| | | 壁紙(メインディスプレイ) | | ディスプレイの壁紙を設定 | 8-2 |
| | | 壁紙(サブディスプレイ) | | サブディスプレイの壁紙を設定 | 8-2 |
| | | スキン | | 画面全体のイメージ(スキン)を設定 | 8-3 |
| | | ウェイクアップ画面 | | ウェイクアップ画面を設定 | 8-2 |
| | | スクリーンセーバー | | スクリーンセーバーを設定 | 8-3 |
| | | バックライト | | ディスプレイの照明の明るさを設定 | 8-4 |
| | | スリープモードクロック | | スリープモード画面の時計表示のON／OFFを設定 | 8-4 |
| | 発着信通話設定 | | | ― | ― |
| | | 留守番・転送設定 | | 各種着信の転送を設定 | 16-3 |

| 機能 | | | | 概要 | 参照ページ |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設定 | 発着信通話設定 | 通話設定 | | ― | ― |
| | | | 割込通話 | 割込通話の設定 | 16-6 |
| | | | 着信許可 | 指定着信許可／拒否を設定 | 14-4 |
| | | | 通話規制 | 音声通話の発着信規制を設定 | 16-9 |
| | | | 国際電話プリフィックス | 国際電話プリフィックスの登録 | 15-2 |
| | | 通話データ | | ― | ― |
| | | | 通話時間 | 直前の通話時間や累積通話時間を表示 | 2-11 |
| | | | 通話料金 | 直前の通話料金や累積通話料金を表示 | 2-12 |
| | | | メールカウンタ | 送受信したSMS／MMSの件数を表示 | ― |
| | | | データカウンタ | 送受信したデータ量を表示 | ― |
| | | 発信者番号通知設定 | | 発信者番号の通知／非通知を設定 | 2-4 |
| | | オープン応答設定 | | 802SEを開いて電話を受ける／受けないを設定 | 2-6 |
| | | ハンズフリー | | ハンズフリー機器接続時の応答方法を設定 | 15-3 |

# 設定リセットで初期化される項目

| 機能 | | | お買い上げ時の設定 |
|---|---|---|---|
| カメラ | 画像サイズ | | 大（1280×1024） |
| | ムービーサイズ | | 大（176×144） |
| | 夜景モード | | OFF |
| | エフェクト | | OFF |
| | フレーム | | OFF |
| | パノラマ | | OFF |
| | 画質 | | 通常 |
| | セルフタイマ | | OFF |
| | 撮影時間 | | MMS用 |
| メール | SMS設定 | サービスセンター | （USIMカードに設定されている番号） |
| | | SMSタイプ | テキスト |
| | | 有効期間 | 指定しない |
| | | 返信要求 | OFF |
| | | 配信確認 | OFF |
| | MMS設定 | 有効期間 | 指定しない |
| | | 配信確認 | OFF |
| | | 署名 | 署名なし |
| | | メールサイズ制限設定 | 確認して送信 |
| | | 画像リサイズ設定 | OFF |
| | | 自動取得 | 常に確認 |
| | | メール受信許可 | （設定なし） |

| 機能 | | | お買い上げ時の設定 |
|---|---|---|---|
| メール | MMS設定 | メールサーバ | http://mms/ |
| | 自動配信メール設定 | 自動配信メール許可 | 常に確認 |
| | | メールを許可 | 特定自動配信メール |
| アラーム | アラーム（1回） | | OFF |
| | アラーム（繰返し） | | OFF |
| | アラーム音 | | Greeting |
| タイマ | | | 00:00:00 |
| ストップウォッチ | | | 00:00.0 |
| 電話帳 | 登録確認設定 | | OFF |
| | USIM自動保存設定 | | OFF |
| | 同期設定 | | 名 |
| Bluetooth | ONにする／OFFにする | | OFFにする |
| | 本体名の公開 | | 表示する |
| 赤外線通信 | | | OFF |
| ネットワーク設定 | 検索モード | | 自動 |
| インターネット設定 | Cookie | Cookieを許可 | はい |

| 機能 | | お買い上げ時の設定 |
|---|---|---|
| モード設定 | モード選択 | 通常<br>着信音量:5<br>マナーモード:OFF<br>ステップアップトーン:OFF<br>バイブレータ設定:ON(マナーモードのみ)<br>メール着信音:メール着信音1<br>キー操作音:クリック音<br>バックライト:自動<br>応答モード:通常モード |
| 日時設定 | 時刻 | 表示形式:24時間表示 |
| | 日付 | 表示形式:YY-MM-DD |
| | タイムゾーン | GTM + 9:00時 |
| | サマータイム | 標準時間 |
| | 自動タイムゾーン設定 | OFF |
| Language | 画面表示言語 | 自動 |
| | 文字入力言語 | すべて |
| 音声コマンド | 音声ダイヤル | 無効 |
| | 音声応答 | 無効 |
| | 発信者名通知 | OFF |
| | マジックワード | 無効 |

| 機能 | | お買い上げ時の設定 |
|---|---|---|
| ショートカット設定 | ナビゲーションキー上 | マナーモードON<br>モード選択<br>Bluetooth<br>赤外線通信<br>着信音選択<br>アラーム<br>バックライト |
| | ナビゲーションキー右 | カレンダー |
| | ナビゲーションキー下 | 電話帳 |
| | ナビゲーションキー左 | 新規作成(メール) |
| ロック | ダイヤル操作禁止 | OFF |
| 着信音量 | | 5 |
| マナーモード | | OFF |
| バイブレータ設定 | | ON(マナーモードのみ) |
| メール着信音 | | メール着信音1 |
| キー操作音 | | クリック音 |
| ウェイクアップ画面 | | Start-up |
| スクリーンセーバー | | なし |
| バックライト | | 100 |
| スリープモードクロック | | OFF |
| 発信者番号通知設定 | | ネットワーク初期設定(通知する) |
| オープン応答設定 | | ON |
| 文字入力 | 入力方式:T9 | OFF |
| 受話音量 | | 5 |

# 故障かな？と思ったら

**電源が入らない**
- PWRを1秒以上押していますか？
- 電池切れになっていませんか？（☞P.1-11）
- 電池パックが802SEに取り付けられていますか？（☞P.1-12）

**電源を入れたのに操作できない**
- PINコード入力画面が表示されていませんか？
  USIMロックが［ON］に設定されていると、PIN1コードの入力が必要です（☞P.1-6、14-3）。
- 操作用暗証番号入力画面が表示されていませんか？
  ダイヤル操作禁止が［ON］に設定されていると、操作用暗証番号の入力が必要です（☞P.1-23、14-3）。

**電源を入れたときや機能の操作時に「USIMカードを挿入してください」、「正しいUSIMカードを挿入してください」、「USIMカードが正しくありません」などと表示される**
- USIMカードは正しく取り付けられていますか？（☞P.1-5）
- 誤ったUSIMカードをお使いではありませんか？

**ダイヤルしてもつながらない**
- 市外局番を入れ忘れていませんか？（☞P.2-2）
- 「 」または「 」が表示されていませんか？

**「 」または「 」が表示され、電話やTVコールがかけられない**
- サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？

**通話が途切れたり、切れたりする**
- 電波の届きにくい場所にいませんか？
- 電池切れになっていませんか？（☞P.1-11）

**ダイヤルしても電話やTVコールがかけられない**
- 通話規制が設定されていませんか？（☞P.16-9）

**電話やTVコールが着信しない**
- 通話規制が設定されていませんか？（☞P.16-9）

**通話中に「プチッ」と音が入る**
- 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。

**保留ができない**
- 割込通話サービスまたは多者通話サービスをご契約されていますか？（☞P.16-6、16-7）

**充電ができない**
- 急速充電器のコネクターが802SEや卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか？（☞P.1-13、1-14）
- 急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？
- 電池パックが802SEに取り付けられていますか？（☞P.1-12）
- 802SEが卓上ホルダーに確実に取り付けられていますか？（☞P.1-14）
- 802SE、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器のコネクター、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか？
- 電池パックの寿命、または電池パックが異常です。新しい電池パックと交換してください。

**充電時間が短い**
- 電池パックに容量が残っている場合は充電時間が短くなります。

# 記号一覧

## 全角記号

■ 、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々 〆 〇 ー

― ‐ ／ ＼ ～ ∥ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『

』 【 】 ＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％ ＃

＆ ＊ ＠ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆ ⊇

⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ￢ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≒ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰

♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ

Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω А

Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы

Ь Э Ю Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц

ч ш щ ъ ы ь э ю я ─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗ ┣ ┳

┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸ ╂ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧ ㌃ ㌶ ㍑ ㍗ ㌍ ㌦ ㌣

㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝ ㎞ ㎎ ㎏ ㏄ ㎡ ㍻ 〝 〟 № ㏍ ℡ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽ ㍼ ≒

≡ ∫ ∮ ∑ √ ⊥ ∠ ∟ ⊿ ∵ ∩ ∪

- ■は全角スペースを表します。

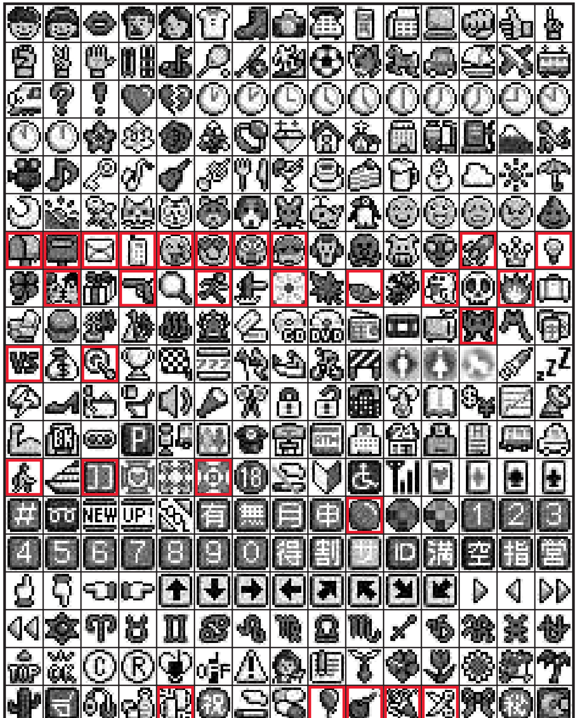
## 半角記号

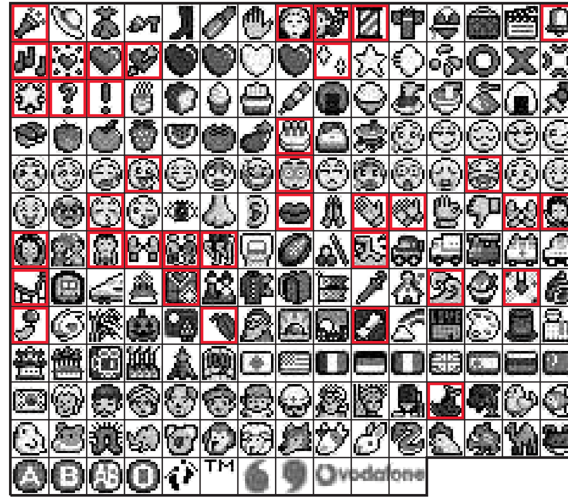
ﾞ ﾟ ､ ｡ ･ ■ . @ - _ / : ! ? ~ ( ) * # + , ^ ; < = > £ $

€ ¢ ¥ % & [ ] ’ ’ { | } ” § © ® ¤ ¿ ¡ \ ↵ ¶ 

- ■は半角スペースを表します。

# 絵文字一覧





- □部の絵文字はアニメーションです。

# 主な仕様

仕様および外観は変更することがあります。

## 802SE

質量：約127g（電池パック装着時）

連続通話時間：約120分（W-CDMA）

連続待受時間（折りたたみ時）：
　約240時間（W-CDMA）

充電時間（802SEの電源を切って充電した場合）：
　急速充電器：約120分、シガーライター充電器：約130分

サイズ（幅×高さ×奥行）：
　約49×102×23.6mm（突起部を含まず）（折りたたみ時）

最大出力：0.25W（W-CDMA）、2W（GSM）

- 上記は電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、新品の充電済みの電池パックを装着し、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 連続待受時間とは、新品の充電済みの電池パックを装着し、802SEを閉じた状態で通話や操作をせず、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や圏外では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した数値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待ち受けは電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- ディスプレイやボタンの照明が点灯している状態での利用が多いときは、連続通話時間および連続待受時間が短くなることがあります。
- Vアプリを起動させた状態では通話時間および待受時間が短くなることがあります。
- 操作や設定によっては通話時間および待受時間が短くなることがあります。

## 急速充電器

電源：AC100-240V、50／60Hz共用

消費電力：0.8W

出力電圧／出力電流：DC4.9V／850mA

充電温度範囲：5℃～35℃

サイズ（幅×高さ×奥行）：
　約42.4×67.2×46.9mm（突起部、コード除く）

## 卓上ホルダー

入力電圧／入力電流：DC4.9V／850mA

出力電圧／出力電流：DC4.9V／850mA

充電温度範囲：5℃～35℃

サイズ（幅×高さ×奥行）：約53×32×104mm

## 電池パック

電圧：3.6V

使用電池：リチウムイオン電池

容量：900mAh

サイズ（幅×高さ×奥行）：約40×50×4.5mm

# 索引

## 基本操作編

### 英数字



### あ



### か

## さ



## た

## な



## は



## ま



## や



## ら



## わ

# Vodafone live!編

## 英数字



## あ



## か

## さ



## た



## は



## ま



## ら

# 保証とアフターサービス

**保証について**

802SE本体をお買い上げいただいた場合は保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

**修理を依頼される場合**

「故障かな？と思ったら」(☞P.29-8)をお読みの上、もう一度お確かめください。

それでも異常がある場合はご契約いただいたボーダフォン各地域の故障受付または最寄りのボーダフォンショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

# お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

**ボーダフォンお客さまセンター**

| | |
|---|---|
| **総合案内** | **ボーダフォン携帯電話から157(無料)** |
| **紛失・故障受付** | **ボーダフォン携帯電話から113(無料)** |

**一般電話からおかけの場合**

**ご契約地域**

| ご契約地域 | | |
|---|---|---|
| 北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県 | 総合案内 | フリーコール 0088-240-157(無料) |
| | 紛失・故障受付 | フリーコール 0088-240-113(無料) |
| 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県 | 総合案内 | フリーコール 0088-241-157(無料) |
| | 紛失・故障受付 | フリーコール 0088-241-113(無料) |
| 大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県 | 総合案内 | フリーコール 0088-242-157(無料) |
| | 紛失・故障受付 | フリーコール 0088-242-113(無料) |
| 広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県 | 総合案内 | フリーコール 0088-259-157(無料) |
| | 紛失・故障受付 | フリーコール 0088-259-113(無料) |
| 徳島県・香川県・愛媛県・高知県 | 総合案内 | フリーコール 0088-247-157(無料) |
| | 紛失・故障受付 | フリーコール 0088-247-113(無料) |
| 福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県 | 総合案内 | フリーコール 0088-250-157(無料) |
| | 紛失・故障受付 | フリーコール 0088-250-113(無料) |

# MEMO

T9およびT9ロゴマークは、Tegic Communications社の商標または登録商標です。

MusicDJは、ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。

"メモリースティック"、"メモリースティック Duo"、"マジックゲート メモリースティック Duo"、"メモリースティック PRO Duo"、"マジックゲート"は、ソニー株式会社の商標です。

BluetoothおよびBluetoothロゴマークはBluetooth SIG, Inc.の商標であり、ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

Micorsoft、Windows、Power Pointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
（Windowsの正式名称は、Microsoft Windows operating systemです。）

JavaおよびJavaに関連するすべての商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenceに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

その他、本書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

# Vodafone 802SE 取扱説明書

2004年10月　第1版発行

**ボーダフォン株式会社**

**※ ご不明な点はお求めになられたボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。**

**機種名：Vodafone 802SE**
**製造元：ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社**

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※　回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※　プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

# Vodafone 802SE 取扱説明書

JA/LZT 108 7162 R1A

JA/SVV 107 171 R1A.